

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
課外研修活動Ⅱ	必修	52
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科2年	対面授業のみ実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
田中 史歩	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

(3) 授業概要

2年次に学校内外で実施される各種研修、イベント等を包括的に一つの科目とみなし、単位認定する。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

学校運営理念である「誠実、明朗、進取の精神をもった、チャレンジ精神旺盛な社会人を育成する」ことを到達目標とし、実施される研修、イベントのすべてがその土台となるものとする。

(5) 成績評価方法・基準

出席を最も重要視し、各内容への貢献度、参加姿勢などを加味して評価する。

(6) 使用教材・教具

(7) 授業にあたっての留意点

(8) その他

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 課外研修活動Ⅱ

W	時間	授業内容	授業方法
	1	進級生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演
	2	進級生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
	3	進級生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
	4	進級生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
	5	進級生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
	6	進級生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
	7	避難訓練	避難経路、避難場所確認
	8	大運動会	トラック、フィールド競技
	9	大運動会	トラック、フィールド競技
	10	大運動会	トラック、フィールド競技
	11	大運動会	トラック、フィールド競技
	12	大運動会	トラック、フィールド競技
	13	大運動会	トラック、フィールド競技
	14	大運動会	トラック、フィールド競技
	15	国内研修旅行	東京、イベント視察
	16	国内研修旅行	東京、イベント視察
	17	国内研修旅行	東京、イベント視察
	18	国内研修旅行	東京、イベント視察
	19	国内研修旅行	東京、イベント視察
	20	国内研修旅行	東京、イベント視察
	21	国内研修旅行	東京、イベント視察
	22	国内研修旅行	東京、イベント視察
	23	国内研修旅行	東京、イベント視察
	24	国内研修旅行	東京、イベント視察
	25	国内研修旅行	東京、イベント視察
	26	国内研修旅行	東京、イベント視察
	27	国内研修旅行	東京、イベント視察
	28	国内研修旅行	東京、イベント視察
	29	スポーツ大会	室内、球技等
	30	スポーツ大会	室内、球技等

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 課外研修活動Ⅱ

W	時間	授業内容	授業方法
	31	スポーツ大会	室内、球技等
	32	スポーツ大会	室内、球技等
	33	スポーツ大会	室内、球技等
	34	スポーツ大会	室内、球技等
	35	スポーツ大会	室内、球技等
	36	学園祭	県外施設にて研修
	37	学園祭	県外施設にて研修
	38	学園祭	県外施設にて研修
	39	学園祭	県外施設にて研修
	40	学園祭	県外施設にて研修
	41	学園祭	県外施設にて研修
	42	学園祭	県外施設にて研修
	43	学園祭	県外施設にて研修
	44	学園祭	県外施設にて研修
	45	学園祭	県外施設にて研修
	46	学園祭	県外施設にて研修
	47	万代清掃	清掃ボランティア
	48	万代清掃	清掃ボランティア
	49	万代清掃	清掃ボランティア
	50	クラスボランティア	ボランティア
	51	クラスボランティア	ボランティア
	52	クラスボランティア	ボランティア
	53		
	54		
	55		
	56		
	57		
	58		
	59		
	60		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
Excel実習	必修	72
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科1年	対面授業のみ実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
原田 勝利	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
出版社やデザイン事務所にて、20年以上に渡りアートディレクター・グラフィックデザイナーとして様々なデザイン業務に携わった。	

(3) 授業概要

<p>Excelは、先進の日本語処理機能、自由度の高い表現力、高度で表現力豊かなデータ分析能力、ワークグループやインターネットでの共同作業を支援するコラボレーション能力などを持ち、思考を妨げない操作性を備えた統合型表計算ソフトです。基本的なワークシートの作成、グラフ、データベース機能を中心に詳細な操作方法を学んでいきます。</p>
--

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<p>サーティファイ主催 Excel表計算技能認定試験3級 合格 基本的なExcel表計算処理技能を身に付ける</p>

(5) 成績評価方法・基準

<p>当授業への出席率80%以上、授業態度、貢献意欲、出席状況、検定取得状況を総合的に評価する。</p>
--

(6) 使用教材・教具

<p>Microsoft Excel 2019 クイックマスター基本編 ノートパソコン</p>

(7) 授業にあたっての留意点

<p></p>

(8) その他

<p></p>

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 Excel実習

W	時間	授業内容	授業方法
	1	Excelの基本	テキストに沿って、パソコンで実習
	2	画面の操作	〃
	3	セルの選択、Excelの終了	〃
	4	データ編集	〃
	5	データの入力、数式の入力	〃
	6	データの移動とコピー	〃
	7	表の編集	〃
	8	罫線の設定、セルの書式設定	〃
	9	列幅や行の高さの設定	〃
	10	ブックの印刷	〃
	11	表示モードの切り替え、ページ設定の変更	〃
	12	印刷の実行	〃
	13	グラフと図形の作成	〃
	14	グラフの編集	〃
	15	図形の作成	〃
	16	ブックの利用と管理	〃
	17	ワークシートの管理	〃
	18	ウィンドウの操作	〃
	19	関数	〃
	20	統計関数	〃
	21	論理関数	〃
	22	日付関数	〃
	23	データベース機能	〃
	24	リストの作成	〃
	25	データの抽出	〃
	26	テーブル機能	〃
	27	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	28	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	29	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	30	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 Excel実習

W	時間	授業内容	授業方法
	31	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	テキストに沿って、パソコンで実習
	32	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	33	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	34	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	35	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	36	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	37	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	38	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	39	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	40	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	41	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	42	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	43	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	44	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	45	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	46	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	47	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	48	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	49	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	50	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	51	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	52	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	53	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	54	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	55	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	56	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	57	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	58	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	59	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 Excel実習

W	時間	授業内容	授業方法
	61	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	テキストに沿って、パソコンで実習
	62	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	63	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	64	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	65	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	66	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	67	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	68	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	69	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	70	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	71	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	72	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	73		
	74		
	75		
	76		
	77		
	78		
	79		
	80		
	81		
	82		
	83		
	84		
	85		
	86		
	87		
	88		
	89		
	90		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
Excel実習	必修	64
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科3年	対面授業のみ実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
原田 勝利	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
出版社やデザイン事務所にて、20年以上に渡りアートディレクター・グラフィックデザイナーとして様々なデザイン業務に携わった。	

(3) 授業概要

<p>Excelは、先進の日本語処理機能、自由度の高い表現力、高度で表現力豊かなデータ分析能力、ワークグループやインターネットでの共同作業を支援するコラボレーション能力などを持ち、思考を妨げない操作性を備えた統合型表計算ソフトです。基本的なワークシートの作成、グラフ、データベース機能を中心に詳細な操作方法を学んでいきます。</p>
--

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

MOS・Excel2016の合格

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%を前提として、確認テストや模擬問題の得点とその完成度を含めて評価する

(6) 使用教材・教具

テキスト ノートパソコン

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 Excel実習

W	時間	授業内容	授業方法
	1	簡単な作表を行い、Excelの概要を理解する	簡単な作表をする(計算式、関数、書式)
	2	〃	〃
	3	〃	〃
	4	出題範囲1	講義 + 実習
	5	出題範囲1	〃
	6	出題範囲1	〃
	7	出題範囲1	〃
	8	出題範囲1	〃
	9	出題範囲1	〃
	10	出題範囲2	〃
	11	出題範囲2	〃
	12	出題範囲2	〃
	13	出題範囲2	〃
	14	出題範囲2	〃
	15	出題範囲2	〃
	16	出題範囲3	〃
	17	出題範囲3	〃
	18	出題範囲3	〃
	19	出題範囲3	〃
	20	出題範囲3	〃
	21	出題範囲3	〃
	22	出題範囲4	〃
	23	出題範囲4	〃
	24	出題範囲4	〃
	25	出題範囲4	〃
	26	出題範囲4	〃
	27	出題範囲4	〃
	28	出題範囲4	〃
	29	出題範囲4	〃
	30	出題範囲4	〃

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 Excel実習

W	時間	授業内容	授業方法
	31	出題範囲5	講義 + 実習
	32	出題範囲5	〃
	33	出題範囲5	〃
	34	出題範囲5	〃
	35	出題範囲5	〃
	36	出題範囲5	〃
	37	模擬練習問題1でのトレーニング	〃
	38	〃	〃
	39	〃	〃
	40	模擬練習問題2でのトレーニング	〃
	41	〃	〃
	42	〃	〃
	43	模擬練習問題3でのトレーニング	〃
	44	〃	〃
	45	〃	〃
	46	模擬練習問題4でのトレーニング	〃
	47	〃	〃
	48	〃	〃
	49	模擬練習問題5でのトレーニング	〃
	50	〃	〃
	51	〃	〃
	52	実力判定テスト(1回目)	〃
	53	〃	〃
	54	実力判定テスト(2回目)	〃
	55	〃	〃
	56	実力判定テスト(3回目)	〃
	57	〃	〃
	58	実力判定テスト(4回目)	〃
	59	〃	〃

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 Excel実習

W	時間	授業内容	授業方法
	61	実力判定テスト(5回目)	講義 + 実習
	62	〃	〃
	63	実力判定テスト(6回目)	〃
	64	〃	〃
	65		
	66		
	67		
	68		
	69		
	70		
	71		
	72		
	73		
	74		
	75		
	76		
	77		
	78		
	79		
	80		
	81		
	82		
	83		
	84		
	85		
	86		
	87		
	88		
	89		
	90		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
Photoshop	必修	123
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科2年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
田中 史歩	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
ATOM HEART MOTHERにてフォトデザイナーとして勤務	

(3) 授業概要

Photoshopの基本的操作が出来る ・基本機能(ファイル操作など) ・選択範囲の作成 ・画像の移動と変形 ・カラーモードと色調補正 ・レイヤー操作 ・パスとシェイプ ・テキストの入力と編集 ・フィルター ・画像の入出力
--

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

Photoshopクリエイター能力認定試験 スタンダード取得

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、平素の授業態度、貢献意欲、出席状況、イベント企画あるいは運営のクオリティを総合的に評価する。成績評価はチームとしての評価となるため一人一人の自覚と責任感が重要となる。
--

(6) 使用教材・教具

パソコン、筆記用具 (パソコンについては必要な場合、担当者から事前連絡がある)

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 Photoshop

W	時間	授業内容	授業方法
	1	オリエンテーション	授業の進め方、評価基準の説明、担当講師の自己紹介
	2	オリエンテーション	名刺作成 Canva
	3	オリエンテーション	名刺作成 Canva
	4	基本操作	サーティファイ教材使用
	5	基本操作	サーティファイ教材使用
	6	作業エリア統一	サーティファイ教材使用
	7	選択ツール 長方形、なげなわ、多角形、マグネット	サーティファイ教材使用
	8	選択ツール 長方形、なげなわ、多角形、マグネット	サーティファイ教材使用
	9	選択ツール 長方形、なげなわ、多角形、マグネット	サーティファイ教材使用
	10	選択ツール オブジェクト、自動選択ツール	サーティファイ教材使用
	11	選択ツール オブジェクト、自動選択ツール	サーティファイ教材使用
	12	選択ツール オブジェクト、自動選択ツール	サーティファイ教材使用
	13	クイックマスクモード、選択範囲の読み込み	サーティファイ教材使用
	14	クイックマスクモード、選択範囲の読み込み	サーティファイ教材使用
	15	クイックマスクモード、選択範囲の読み込み	サーティファイ教材使用
	16	画像解像度、切り抜き、トリミング	サーティファイ教材使用
	17	画像解像度、切り抜き、トリミング	サーティファイ教材使用
	18	画像解像度、切り抜き、トリミング	サーティファイ教材使用
	19	拡大縮小、ゆがみ、ワープ	サーティファイ教材使用
	20	拡大縮小、ゆがみ、ワープ	サーティファイ教材使用
	21	拡大縮小、ゆがみ、ワープ	サーティファイ教材使用
	22	色調補正	サーティファイ教材使用
	23	色調補正	サーティファイ教材使用
	24	色調補正	サーティファイ教材使用
	25	ペイント系ツール	サーティファイ教材使用
	26	ペイント系ツール	サーティファイ教材使用
	27	ペイント系ツール	サーティファイ教材使用
	28	レタッチ系ツール	サーティファイ教材使用
	29	レタッチ系ツール	サーティファイ教材使用
	30	レタッチ系ツール	サーティファイ教材使用

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 Photoshop

W	時間	授業内容	授業方法
	31	レイヤーの基本操作、機能	サーティファイ教材使用
	32	レイヤーの基本操作、機能	サーティファイ教材使用
	33	レイヤーの基本操作、機能	サーティファイ教材使用
	34	テキストの入力と編集、加工	サーティファイ教材使用
	35	テキストの入力と編集、加工	サーティファイ教材使用
	36	テキストの入力と編集、加工	サーティファイ教材使用
	37	フィルターの概要と使用	サーティファイ教材使用
	38	フィルターの概要と使用	サーティファイ教材使用
	39	フィルターの概要と使用	サーティファイ教材使用
	40	フォトレタッチ	サーティファイ教材使用
	41	フォトレタッチ	サーティファイ教材使用
	42	フォトレタッチ	サーティファイ教材使用
	43	ロゴデザイン	サーティファイ教材使用
	44	ロゴデザイン	サーティファイ教材使用
	45	ロゴデザイン	サーティファイ教材使用
	46	カード&ステーションナリー	サーティファイ教材使用
	47	カード&ステーションナリー	サーティファイ教材使用
	48	カード&ステーションナリー	サーティファイ教材使用
	49	フォトコラージュ	サーティファイ教材使用
	50	フォトコラージュ	サーティファイ教材使用
	51	フォトコラージュ	サーティファイ教材使用
	52	Webデザイン	サーティファイ教材使用
	53	Webデザイン	サーティファイ教材使用
	54	Webデザイン	サーティファイ教材使用
	55	模擬問題①実技	サーティファイ模擬問題集
	56	模擬問題①実技	サーティファイ模擬問題集
	57	模擬問題①実技	サーティファイ模擬問題集
	58	模擬問題②実技	サーティファイ模擬問題集
	59	模擬問題②実技	サーティファイ模擬問題集
	60	模擬問題②実技	サーティファイ模擬問題集

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 Photoshop

W	時間	授業内容	授業方法
	61	模擬問題③実技	サーティファイ模擬問題集
	62	模擬問題③実技	サーティファイ模擬問題集
	63	模擬問題③実技	サーティファイ模擬問題集
	64	模擬問題④実技	サーティファイ模擬問題集
	65	模擬問題④実技	サーティファイ模擬問題集
	66	模擬問題④実技	サーティファイ模擬問題集
	67	模擬問題①実践	サーティファイ模擬問題集
	68	模擬問題①実践	サーティファイ模擬問題集
	69	模擬問題①実践	サーティファイ模擬問題集
	70	模擬問題②実践	サーティファイ模擬問題集
	71	模擬問題②実践	サーティファイ模擬問題集
	72	模擬問題②実践	サーティファイ模擬問題集
	73	模擬問題③実践	サーティファイ模擬問題集
	74	模擬問題③実践	サーティファイ模擬問題集
	75	模擬問題③実践	サーティファイ模擬問題集
	76	模擬問題④実践	サーティファイ模擬問題集
	77	模擬問題④実践	サーティファイ模擬問題集
	78	模擬問題④実践	サーティファイ模擬問題集
	79	過去問題、実技実践	過去問題資料
	80	過去問題、実技実践	過去問題資料
	81	過去問題、実技実践	過去問題資料
	82	過去問題、実技実践	過去問題資料
	83	過去問題、実技実践	過去問題資料
	84	過去問題、実技実践	過去問題資料
	85	過去問題、実技実践	過去問題資料
	86	過去問題、実技実践	過去問題資料
	87	過去問題、実技実践	過去問題資料
	88	過去問題、実技実践	過去問題資料
	89	過去問題、実技実践	過去問題資料
	90	過去問題、実技実践	過去問題資料

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 Photoshop

W	時間	授業内容	授業方法
	91	過去問題、実技実践	過去問題資料
	92	過去問題、実技実践	過去問題資料
	93	過去問題、実技実践	過去問題資料
	94	過去問題、実技実践	過去問題資料
	95	過去問題、実技実践	過去問題資料
	96	過去問題、実技実践	過去問題資料
	97	過去問題、実技実践	過去問題資料
	98	過去問題、実技実践	過去問題資料
	99	過去問題、実技実践	過去問題資料
	100	過去問題、実技実践	過去問題資料
	101	過去問題、実技実践	過去問題資料
	102	過去問題、実技実践	過去問題資料
	103	過去問題、実技実践	過去問題資料
	104	過去問題、実技実践	過去問題資料
	105	過去問題、実技実践	過去問題資料
	106	過去問題、実技実践	過去問題資料
	107	過去問題、実技実践	過去問題資料
	108	過去問題、実技実践	過去問題資料
	109	過去問題、実技実践	過去問題資料
	110	過去問題、実技実践	過去問題資料
	111	過去問題、実技実践	過去問題資料
	112	過去問題、実技実践	過去問題資料
	113	過去問題、実技実践	過去問題資料
	114	過去問題、実技実践	過去問題資料
	115	過去問題、実技実践	過去問題資料
	116	過去問題、実技実践	過去問題資料
	117	過去問題、実技実践	過去問題資料
	118	過去問題、実技実践	過去問題資料
	119	過去問題、実技実践	過去問題資料
	120	過去問題、実技実践	過去問題資料

【別紙】

授業計画書

科目名 Photoshop

W	時間	授業内容	授業方法
	121	過去問題、実技実践	過去問題資料
	122	過去問題、実技実践	過去問題資料
	123	過去問題、実技実践	過去問題資料

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
Word実習	必修	64
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科1年	対面授業のみ実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
原田 勝利	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
出版社やデザイン事務所にて、20年以上に渡りアートディレクター・グラフィックデザイナーとして様々なデザイン業務に携わった。	

(3) 授業概要

<p>Wordは、先進の日本語処理機能、自由度の高い表現力、豊かな編集能力、ワークグループやインターネットでの共同作業を支援するコラボレーション能力などを持ち、思考を妨げない操作性を備えた和文・英文ワープロソフトです。基本的な編集機能、罫線機能、図形機能を中心に詳細な操作方法を学んでいきます。</p>

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<p>サーティファイ主催 Word文書処理技能認定試験3級 合格 基本的なWord処理能力を身に付ける</p>

(5) 成績評価方法・基準

<p>当授業への出席率80%以上、授業態度、貢献意欲、出席状況、検定取得状況を総合的に評価する。</p>
--

(6) 使用教材・教具

<p>各自のノートパソコン テキスト</p>

(7) 授業にあたっての留意点

<p></p>

(8) その他

<p></p>

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 Word実習

W	時間	授業内容	授業方法
	1	Wordの基本	テキストに沿って、パソコンで実習
	2	画面の操作	〃
	3	画面の表示モード	〃
	4	文字の入力と編集の基本操作	〃
	5	文字の入力と変換	〃
	6	文字列の編集とコピー	〃
	7	文書の編集	〃
	8	ページの書式編集	〃
	9	禁則処理、罫線と網掛けの設定	〃
	10	改ページの挿入	〃
	11	ヘッダーフッターの処理	〃
	12	印刷設定	〃
	13	文書の作成	〃
	14	入力オートフォーマット/あいさつ文/段落番号	〃
	15	ビジネス文書の作成例	〃
	16	表を使った文書の作成	〃
	17	表の作成	〃
	18	表の編集	〃
	19	図形や画像を使った文書の作成	〃
	20	ワードアートの挿入	〃
	21	図形の形成と編集	〃
	22	総合学習(総まとめ)	〃
	23	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	24	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	25	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	26	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	27	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	28	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	29	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	30	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 Word実習

W	時間	授業内容	授業方法
	31	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	テキストに沿って、パソコンで実習
	32	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	33	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	34	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	35	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	36	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	37	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	38	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	39	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	40	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	41	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	42	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	43	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	44	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	45	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	46	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	47	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	48	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	49	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	50	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	51	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	52	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	53	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	54	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	55	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	56	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	57	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	58	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	59	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	60	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 Word実習

W	時間	授業内容	授業方法
	61	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	テキストに沿って、パソコンで実習
	62	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	63	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	64	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	65		
	66		
	67		
	68		
	69		
	70		
	71		
	72		
	73		
	74		
	75		
	76		
	77		
	78		
	79		
	80		
	81		
	82		
	83		
	84		
	85		
	86		
	87		
	88		
	89		
	90		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
Word実習	必修	64
対象学科・学年	授業形態	
大学併修3年	対面授業のみ実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
原田 勝利	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
出版社やデザイン事務所にて、20年以上に渡りアートディレクター・グラフィックデザイナーとして様々なデザイン業務に携わった。	

(3) 授業概要

<p>Wordは、先進の日本語処理機能、自由度の高い表現力、豊かな編集能力、ワークグループやインターネットでの共同作業を支援するコラボレーション能力などを持ち、思考を妨げない操作性を備えた和文・英文ワープロソフトです。基本的な編集機能、罫線機能、図形機能を中心に詳細な操作方法を学んでいきます。</p>

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

MOS・Word2016の合格

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上、授業態度、貢献意欲、出席状況、検定取得状況を総合的に評価する。

(6) 使用教材・教具

各自のノートパソコン テキスト

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 Word実習

W	時間	授業内容	授業方法
	1	Wordの基本	テキストに沿って、パソコンで実習
	2	画面の操作	〃
	3	画面の表示モード	〃
	4	文字の入力と編集の基本操作	〃
	5	文字の入力と変換	〃
	6	文字列の編集とコピー	〃
	7	文書の編集	〃
	8	ページの書式編集	〃
	9	禁則処理、罫線と網掛けの設定	〃
	10	改ページの挿入	〃
	11	ヘッダーフッターの処理	〃
	12	印刷設定	〃
	13	文書の作成	〃
	14	入力オートフォーマット/あいさつ文/段落番号	〃
	15	ビジネス文書の作成例	〃
	16	表を使った文書の作成	〃
	17	表の作成	〃
	18	表の編集	〃
	19	図形や画像を使った文書の作成	〃
	20	ワードアートの挿入	〃
	21	図形の形成と編集	〃
	22	総合学習(総まとめ)	〃
	23	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	24	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	25	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	26	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	27	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	28	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	29	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	30	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 Word実習

W	時間	授業内容	授業方法
	31	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	テキストに沿って、パソコンで実習
	32	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	33	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	34	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	35	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	36	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	37	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	38	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	39	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	40	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	41	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	42	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	43	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	44	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	45	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	46	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	47	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	48	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	49	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	50	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	51	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	52	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	53	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	54	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	55	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	56	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	57	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	58	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	59	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	60	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 Word実習

W	時間	授業内容	授業方法
	61	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	テキストに沿って、パソコンで実習
	62	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	63	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	64	検定対策(問題演習、採点、やり直し)	〃
	65		
	66		
	67		
	68		
	69		
	70		
	71		
	72		
	73		
	74		
	75		
	76		
	77		
	78		
	79		
	80		
	81		
	82		
	83		
	84		
	85		
	86		
	87		
	88		
	89		
	90		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
グローバル・アジアビジネス戦略論	選択	64
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科4年	遠隔授業のみ実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
長谷川 慎一	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
税理士補助/経営指導、記帳代行	

(3) 授業概要

近年、グローバル化の進展によりアジア諸国は大きく変貌している。2015年末には ASEAN 諸国で AEC(ASEAN Economic Community)が誕生し、21世紀はアジアの時代が現実のものになり始めている。本科目では世界の実相を広く知り、グローバル時代における日本の立ち位置と実際の場面でのビジネス戦略について生きた知識の習得を目指す。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

- ①グローバル・アジアビジネス戦略を把握し、アジアの近代史を具体的に習得することで、日本のビジネスの進むべき方向が理解できる。
- ②グローバル・アジアビジネスの国別失敗や成功事例を数多く学ぶことで、その原因や対策が理解できる。
- ③グローバル・アジアを支援する機関や企業について把握することで、アジアビジネスの潮流が理解できる

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①最終テスト ②意欲、授業態度 を5:5の比率で総合的に評価する。

(6) 使用教材・教具

グローバルビジネスパーソンのマインドとスキル

(7) 授業にあたっての留意点

(8) その他

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 グローバル・アジアビジネス戦略論

W	時間	授業内容	授業方法
	1	はじめに	テキストを使った講義
	2	第1章 グローバル環境で働くということ	テキストを使った講義
	3	第1章 グローバル環境で働くということ	テキストを使った講義
	4	第1章 グローバル環境で働くということ	テキストを使った講義
	5	第1章 グローバル環境で働くということ	テキストを使った講義
	6	第1章 グローバル環境で働くということ	テキストを使った講義
	7	第1章 グローバル環境で働くということ	テキストを使った講義
	8	第1章 グローバル環境で働くということ	テキストを使った講義
	9	第1章 グローバル環境で働くということ	テキストを使った講義
	10	第1章 グローバル環境で働くということ	テキストを使った講義
	11	第2章 グローバルビジネスパーソンのマインド	テキストを使った講義
	12	第2章 グローバルビジネスパーソンのマインド	テキストを使った講義
	13	第2章 グローバルビジネスパーソンのマインド	テキストを使った講義
	14	第2章 グローバルビジネスパーソンのマインド	テキストを使った講義
	15	第2章 グローバルビジネスパーソンのマインド	テキストを使った講義
	16	第2章 グローバルビジネスパーソンのマインド	テキストを使った講義
	17	第2章 グローバルビジネスパーソンのマインド	テキストを使った講義
	18	第2章 グローバルビジネスパーソンのマインド	テキストを使った講義
	19	第2章 グローバルビジネスパーソンのマインド	テキストを使った講義
	20	第2章 グローバルビジネスパーソンのマインド	テキストを使った講義
	21	第3章 グローバルビジネスパーソンに求められるスキル	テキストを使った講義
	22	第3章 グローバルビジネスパーソンに求められるスキル	テキストを使った講義
	23	第3章 グローバルビジネスパーソンに求められるスキル	テキストを使った講義
	24	第3章 グローバルビジネスパーソンに求められるスキル	テキストを使った講義
	25	第3章 グローバルビジネスパーソンに求められるスキル	テキストを使った講義
	26	第3章 グローバルビジネスパーソンに求められるスキル	テキストを使った講義
	27	第3章 グローバルビジネスパーソンに求められるスキル	テキストを使った講義
	28	第3章 グローバルビジネスパーソンに求められるスキル	テキストを使った講義
	29	第3章 グローバルビジネスパーソンに求められるスキル	テキストを使った講義
	30	第3章 グローバルビジネスパーソンに求められるスキル	テキストを使った講義

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 グローバル・アジアビジネス戦略論

W	時間	授業内容	授業方法
	31	第4章 グローバルビジネスパーソンに求められる資質	テキストを使った講義
	32	第4章 グローバルビジネスパーソンに求められる資質	テキストを使った講義
	33	第4章 グローバルビジネスパーソンに求められる資質	テキストを使った講義
	34	第4章 グローバルビジネスパーソンに求められる資質	テキストを使った講義
	35	第4章 グローバルビジネスパーソンに求められる資質	テキストを使った講義
	36	第4章 グローバルビジネスパーソンに求められる資質	テキストを使った講義
	37	第4章 グローバルビジネスパーソンに求められる資質	テキストを使った講義
	38	第4章 グローバルビジネスパーソンに求められる資質	テキストを使った講義
	39	第4章 グローバルビジネスパーソンに求められる資質	テキストを使った講義
	40	第4章 グローバルビジネスパーソンに求められる資質	テキストを使った講義
	41	第5章 異文化コミュニケーションの基礎知識	テキストを使った講義
	42	第5章 異文化コミュニケーションの基礎知識	テキストを使った講義
	43	第5章 異文化コミュニケーションの基礎知識	テキストを使った講義
	44	第5章 異文化コミュニケーションの基礎知識	テキストを使った講義
	45	第5章 異文化コミュニケーションの基礎知識	テキストを使った講義
	46	第5章 異文化コミュニケーションの基礎知識	テキストを使った講義
	47	第5章 異文化コミュニケーションの基礎知識	テキストを使った講義
	48	第5章 異文化コミュニケーションの基礎知識	テキストを使った講義
	49	第5章 異文化コミュニケーションの基礎知識	テキストを使った講義
	50	第5章 異文化コミュニケーションの基礎知識	テキストを使った講義
	51	第5章 異文化コミュニケーションの基礎知識	テキストを使った講義
	52	第5章 異文化コミュニケーションの基礎知識	テキストを使った講義
	53	第5章 異文化コミュニケーションの基礎知識	テキストを使った講義
	54	第5章 異文化コミュニケーションの基礎知識	テキストを使った講義
	55	第5章 異文化コミュニケーションの基礎知識	テキストを使った講義
	56	第5章 異文化コミュニケーションの基礎知識	テキストを使った講義
	57	第5章 異文化コミュニケーションの基礎知識	テキストを使った講義
	58	第5章 異文化コミュニケーションの基礎知識	テキストを使った講義
	59	第5章 異文化コミュニケーションの基礎知識	テキストを使った講義
	60	第5章 異文化コミュニケーションの基礎知識	テキストを使った講義

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 グローバル・アジアビジネス戦略論

W	時間	授業内容	授業方法
	61	評価テスト	事例発表・レポート作成
	62	評価テスト	事例発表・レポート作成
	63	評価テスト	事例発表・レポート作成
	64	評価テスト	事例発表・レポート作成
	65		
	66		
	67		
	68		
	69		
	70		
	71		
	72		
	73		
	74		
	75		
	76		
	77		
	78		
	79		
	80		
	81		
	82		
	83		
	84		
	85		
	86		
	87		
	88		
	89		
	90		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
グローバルマーケティング	必修	33
対象学科・学年	授業形態	
イベントビジネス学科、ゲーム・eスポーツビジネス学科、事業創造学科、大学併修 事業創造学科2年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
富山 栄子	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
総合商社勤務、地元テレビ局通訳、解説、法廷通訳	

(3) 授業概要

モノ・サービスの売り方、売るために何を考えていくのかの基本的な部分を学ぶ。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

マーケティングの基礎を学び、世の中のモノ・サービスがどのように売り出されているのかを把握し、理解する。

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①最終テスト ②意欲、授業態度 を5:5の比率で総合的に評価する。

(6) 使用教材・教具

補助プリント、筆記用具

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 グローバルマーケティング

W	時間	授業内容	授業方法
	1	講義概要・進め方の説明とグローバル・マーケティングとは何か	テキスト、プロジェクターを使った講義
	2	企業活動のグローバル化	テキスト、プロジェクターを使った講義
	3	企業活動のグローバル化	テキスト、プロジェクターを使った講義
	4	グローバル・マーケティング戦略の枠組み	テキスト、プロジェクターを使った講義
	5	グローバル・マーケティング戦略の枠組み	テキスト、プロジェクターを使った講義
	6	グローバル・マーケティング戦略の枠組み	テキスト、プロジェクターを使った講義
	7	グローバル・マーケティング・リサーチ	テキスト、プロジェクターを使った講義、ワーク
	8	グローバル・マーケティング・リサーチ	テキスト、プロジェクターを使った講義、ワーク
	9	グローバル・マーケティング・リサーチ	テキスト、プロジェクターを使った講義、ワーク
	10	環境分析	テキストを使った講義、ワーク
	11	環境分析	テキストを使った講義、ワーク
	12	環境分析	テキストを使った講義、ワーク
	13	参入市場の決定	テキスト、プロジェクターを使った講義
	14	参入市場の決定	テキスト、プロジェクターを使った講義
	15	参入市場の決定	テキスト、プロジェクターを使った講義
	16	グローバル市場参入戦略	テキスト、プロジェクターを使った講義
	17	グローバル市場参入戦略	テキスト、プロジェクターを使った講義
	18	グローバル市場参入戦略	テキスト、プロジェクターを使った講義
	19	グローバル統合・調整	テキスト、プロジェクターを使った講義
	20	グローバル統合・調整	テキスト、プロジェクターを使った講義
	21	グローバル統合・調整	テキスト、プロジェクターを使った講義
	22	グローバル・マーケティングの組織	テキスト、プロジェクターを使った講義
	23	グローバル・マーケティングの組織	テキスト、プロジェクターを使った講義
	24	グローバル・マーケティングの組織	テキスト、プロジェクターを使った講義
	25	食品企業のグローバルマーケティングの事例	テキスト、プロジェクターを使った講義・ワーク
	26	食品企業のグローバルマーケティングの事例	テキスト、プロジェクターを使った講義・ワーク
	27	外食企業の国際展開における「グローバル」の視点	テキスト、プロジェクターを使った講義・ワーク
	28	外食企業の国際展開における「グローバル」の視点	テキスト、プロジェクターを使った講義・ワーク
	29	外食企業の国際展開における「グローバル」の視点	テキスト、プロジェクターを使った講義・ワーク
	30	外食企業の国際展開における「グローバル」の視点	テキスト、プロジェクターを使った講義・ワーク

【別紙】

授業計画書

科目名 グローバルマーケティング

W	時間	授業内容	授業方法
	31	評価テスト	プリント
	32	評価テスト	プリント
	33	評価テスト	プリント

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
コンサルティング実習	必修	48
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科1年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
長谷川慎一	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
税理士補助/経営指導、記帳代行	

(3) 授業概要

SNSマーケティングなどを取り入れ、実践的なコンテンツで情報・データを収集し、分析から提案を行う。その際に、仮説→検証を行いながら、随時提案を軌道修正して成果に結びつけていく過程を習得していく。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・情報やデータを収集できる ・収集した情報やデータを可視化、分析できる ・仮説→検証ができる ・課題解決を提案できる ・モニタリングしながら軌道修正などの対応ができる

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①期末テストおよび授業時に課されるレポート②グループワーク時の貢献度および授業態度 を6:4の比率で総合的に評価する。
--

(6) 使用教材・教具

パソコン、筆記用具（パソコンについては必要な場合、担当者から事前連絡がある）
--

(7) 授業にあたっての留意点

特になし

(8) その他

特になし

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 コンサルティング実習

W	時間	授業内容	授業方法
1	1	コンサルティングとは	講義・ディスカッション
	2	SNSとは	講義・ディスカッション
	3	SNSの特徴を調べる	講義・ディスカッション
2	4	SNSマーケティング事例研究	講義・ディスカッション
	5	SNSマーケティング事例研究	講義・ディスカッション
	6	SNSマーケティング事例研究	講義・ディスカッション
3	7	SNSマーケティング事例研究・発表会	発表・ディスカッション
	8	SNSマーケティング事例研究・発表会	発表・ディスカッション
	9	SNSマーケティング事例研究・発表会	発表・ディスカッション
4	10	企画ミーティング／取材	ディスカッション・現地取材
	11	企画ミーティング／取材	ディスカッション・現地取材
	12	企画ミーティング／取材	ディスカッション・現地取材
5	13	企画ミーティング／取材	ディスカッション・現地取材
	14	企画ミーティング／取材	ディスカッション・現地取材
	15	企画ミーティング／取材	ディスカッション・現地取材
6	16	企画ミーティング／取材	ディスカッション・現地取材
	17	企画ミーティング／取材	ディスカッション・現地取材
	18	企画ミーティング／取材	ディスカッション・現地取材
7	19	プレゼン資料作成	制作
	20	プレゼン資料作成	制作
	21	プレゼン資料作成	制作
8	22	プレゼン資料作成	制作
	23	プレゼン資料作成	制作
	24	プレゼン資料作成	制作
9	25	中間報告会	プレゼン資料・発表・ディスカッション
	26	中間報告会	プレゼン資料・発表・ディスカッション
	27	中間報告会	プレゼン資料・発表・ディスカッション
10	28	企画実践／取材	ディスカッション・現地取材
	29	企画実践／取材	ディスカッション・現地取材
	30	企画実践／取材	ディスカッション・現地取材

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
パソコン実務	必修	80
対象学科・学年	授業形態	
イベントビジネス学科2年、ゲームeスポーツビジネス学科2年、事業創造学科2年、大学併修事業創造学科2年	対面授業のみ実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
原田 勝利	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
出版社やデザイン事務所にて、20年以上に渡りアートディレクター・グラフィックデザイナーとして様々なデザイン業務に携わった。	

(3) 授業概要

Excelの操作技術の応用編＝ビジネスで役立つ実務レベルの作業プロセスを習得していく。現場における業務効率化、業務改善といった観点から、Excelの操作技術を学んでもらう。タイピングやショートカットといった基本的な操作技術も同時に教示する。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

Excelを使用して業務を効率化し、実地の事務作業において有用な技術を身につける。

(5) 成績評価方法・基準

出席率80%以上を前提とし、課題としての制作書類の提出、その完成度を含めて評価する

(6) 使用教材・教具

各自のノートパソコン テキスト

(7) 授業にあたっての留意点

(8) その他

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 パソコン実務

W	時間	授業内容	授業方法
	1	オリエンテーション	講義
	2	オリエンテーション	講義
	3	オリエンテーション	講義
	4	CHAPTER01 基本+便利ワザ	講義+演習
	5	CHAPTER01 基本+便利ワザ	講義+演習
	6	CHAPTER01 基本+便利ワザ	講義+演習
	7	CHAPTER01 基本+便利ワザ	講義+演習
	8	CHAPTER01 基本+便利ワザ	講義+演習
	9	CHAPTER01 基本+便利ワザ	講義+演習
	10	CHAPTER01 基本+便利ワザ	講義+演習
	11	CHAPTER01 基本+便利ワザ	講義+演習
	12	CHAPTER01 基本+便利ワザ	講義+演習
	13	CHAPTER01 基本+便利ワザ	講義+演習
	14	CHAPTER01 基本+便利ワザ	講義+演習
	15	CHAPTER01 基本+便利ワザ	講義+演習
	16	CHAPTER02 関数	講義+演習
	17	CHAPTER02 関数	講義+演習
	18	CHAPTER02 関数	講義+演習
	19	CHAPTER02 関数	講義+演習
	20	CHAPTER02 関数	講義+演習
	21	CHAPTER02 関数	講義+演習
	22	CHAPTER02 関数	講義+演習
	23	CHAPTER02 関数	講義+演習
	24	CHAPTER02 関数	講義+演習
	25	CHAPTER02 関数	講義+演習
	26	CHAPTER02 関数	講義+演習
	27	CHAPTER02 関数	講義+演習
	28	CHAPTER03 実践テク+活用ワザ	講義+演習
	29	CHAPTER03 実践テク+活用ワザ	講義+演習
	30	CHAPTER03 実践テク+活用ワザ	講義+演習

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 パソコン実務

W	時間	授業内容	授業方法
	31	CHAPTER03 実践テク+活用ワザ	講義+演習
	32	CHAPTER03 実践テク+活用ワザ	講義+演習
	33	CHAPTER03 実践テク+活用ワザ	講義+演習
	34	CHAPTER03 実践テク+活用ワザ	講義+演習
	35	CHAPTER03 実践テク+活用ワザ	講義+演習
	36	CHAPTER03 実践テク+活用ワザ	講義+演習
	37	CHAPTER03 実践テク+活用ワザ	講義+演習
	38	CHAPTER03 実践テク+活用ワザ	講義+演習
	39	CHAPTER03 実践テク+活用ワザ	講義+演習
	40	CHAPTER04 マクロ&VBA<基本編>	講義+演習
	41	CHAPTER04 マクロ&VBA<基本編>	講義+演習
	42	CHAPTER04 マクロ&VBA<基本編>	講義+演習
	43	CHAPTER04 マクロ&VBA<基本編>	講義+演習
	44	CHAPTER04 マクロ&VBA<基本編>	講義+演習
	45	CHAPTER04 マクロ&VBA<基本編>	講義+演習
	46	CHAPTER04 マクロ&VBA<基本編>	講義+演習
	47	CHAPTER04 マクロ&VBA<基本編>	講義+演習
	48	CHAPTER04 マクロ&VBA<基本編>	講義+演習
	49	CHAPTER04 マクロ&VBA<基本編>	講義+演習
	50	CHAPTER04 マクロ&VBA<基本編>	講義+演習
	51	CHAPTER04 マクロ&VBA<基本編>	講義+演習
	52	CHAPTER05 マクロ&VBA<活用編>	講義+演習
	53	CHAPTER05 マクロ&VBA<活用編>	講義+演習
	54	CHAPTER05 マクロ&VBA<活用編>	講義+演習
	55	CHAPTER05 マクロ&VBA<活用編>	講義+演習
	56	CHAPTER05 マクロ&VBA<活用編>	講義+演習
	57	CHAPTER05 マクロ&VBA<活用編>	講義+演習
	58	CHAPTER05 マクロ&VBA<活用編>	講義+演習
	59	CHAPTER05 マクロ&VBA<活用編>	講義+演習
	60	CHAPTER05 マクロ&VBA<活用編>	講義+演習

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
ビジネスコンペ対策	必修	84
対象学科・学年	授業形態	
経営マネジメント学科2年・ 経営ビジネス学科1年・IT経営ビジネス・大学科1年	対面授業のみ実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
田中 史歩	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

(3) 授業概要

様々な学生ビジョンコンテストへのエントリーをする。
ビジネスプラン、テーマへの課題点、問題点をグループで話し合い、エントリー。
企業分析を行い、経営者にインタビューし、訪問をする。
プレゼンテーション資料、発表の練習をする。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

各種ビジネスコンテスト入賞。
投資家へのプレゼンができるレベルを目標とする。

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①課題提出 ②意欲、授業態度 を6:4の比率で総合的に評価する。

(6) 使用教材・教具

パソコン、筆記用具

(7) 授業にあたっての留意点

(8) その他

【別紙】

授 業 計 画 書

 科目名 ビジネスコンペ対策

W	時間	授業内容	授業方法
	1	課題制作	グループワーク、資料作成
	2	課題制作	グループワーク、資料作成
	3	課題制作	グループワーク、資料作成
	4	課題制作	グループワーク、資料作成
	5	課題制作	グループワーク、資料作成
	6	課題制作	グループワーク、資料作成
	7	課題制作	グループワーク、資料作成
	8	課題制作	グループワーク、資料作成
	9	課題制作	グループワーク、資料作成
	10	課題制作	グループワーク、資料作成
	11	課題制作	グループワーク、資料作成
	12	課題制作	グループワーク、資料作成
	13	課題制作	グループワーク、資料作成
	14	課題制作	グループワーク、資料作成
	15	課題制作	グループワーク、資料作成
	16	課題制作	グループワーク、資料作成
	17	課題制作	グループワーク、資料作成
	18	課題制作	グループワーク、資料作成
	19	課題制作	グループワーク、資料作成
	20	課題制作	グループワーク、資料作成
	21	課題制作	グループワーク、資料作成
	22	ビジネスプランコンペエントリーシート提出	グループワーク、資料作成
	23	ビジネスプランコンペエントリーシート提出	グループワーク、資料作成
	24	ビジネスプランコンペエントリーシート提出	グループワーク、資料作成
	25	コンペ資料作成	グループワーク、資料作成
	26	コンペ資料作成	グループワーク、資料作成
	27	コンペ資料作成	グループワーク、資料作成
	28	コンペ資料作成	グループワーク、資料作成
	29	コンペ資料作成	グループワーク、資料作成
	30	コンペ資料作成	グループワーク、資料作成

【別紙】

授 業 計 画 書

 科目名 ビジネスコンペ対策

W	時間	授業内容	授業方法
	31	コンペ資料作成	グループワーク、資料作成
	32	コンペ資料作成	グループワーク、資料作成
	33	コンペ資料作成	グループワーク、資料作成
	34	コンペ資料作成	グループワーク、資料作成
	35	コンペ資料作成	グループワーク、資料作成
	36	コンペ資料作成	グループワーク、資料作成
	37	校内プレゼンテーション練習	演習
	38	校内プレゼンテーション練習	演習
	39	校内プレゼンテーション練習	演習
	40	校内プレゼンテーション練習	演習
	41	校内プレゼンテーション練習	演習
	42	校内プレゼンテーション練習	演習
	43	校内プレゼンテーション	演習、ブラッシュアップ
	44	校内プレゼンテーション	演習、ブラッシュアップ
	45	校内プレゼンテーション	演習、ブラッシュアップ
	46	校内プレゼンテーション	演習、ブラッシュアップ
	47	校内プレゼンテーション	演習、ブラッシュアップ
	48	校内プレゼンテーション	演習、ブラッシュアップ
	49	コンペ資料作成	グループワーク、資料作成
	50	コンペ資料作成	グループワーク、資料作成
	51	コンペ資料作成	グループワーク、資料作成
	52	コンペ資料作成	グループワーク、資料作成
	53	コンペ資料作成	グループワーク、資料作成
	54	コンペ資料作成	グループワーク、資料作成
	55	ビジネスプランコンペエントリーシート提出	グループワーク、資料作成
	56	ビジネスプランコンペエントリーシート提出	グループワーク、資料作成
	57	ビジネスプランコンペエントリーシート提出	グループワーク、資料作成
	58	コンペ資料作成	グループワーク、資料作成
	59	コンペ資料作成	グループワーク、資料作成
	60	コンペ資料作成	グループワーク、資料作成

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 ビジネスコンペ対策

W	時間	授業内容	授業方法
	61	コンペ資料作成	グループワーク、資料作成
	62	コンペ資料作成	グループワーク、資料作成
	63	コンペ資料作成	グループワーク、資料作成
	64	コンペ資料作成	グループワーク、資料作成
	65	コンペ資料作成	グループワーク、資料作成
	66	コンペ資料作成	グループワーク、資料作成
	67	校内プレゼンテーション練習	演習
	68	校内プレゼンテーション練習	演習
	69	校内プレゼンテーション練習	演習
	70	校内プレゼンテーション練習	演習
	71	校内プレゼンテーション練習	演習
	72	校内プレゼンテーション練習	演習
	73	校内プレゼンテーション	演習、ブラッシュアップ
	74	校内プレゼンテーション	演習、ブラッシュアップ
	75	校内プレゼンテーション	演習、ブラッシュアップ
	76	校内プレゼンテーション	演習、ブラッシュアップ
	77	校内プレゼンテーション	演習、ブラッシュアップ
	78	校内プレゼンテーション	演習、ブラッシュアップ
	79	校内プレゼンテーション	演習、ブラッシュアップ
	80	校内プレゼンテーション	演習、ブラッシュアップ
	81	校内プレゼンテーション	演習、ブラッシュアップ
	82	総まとめ	
	83	総まとめ	
	84	総まとめ	

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
ビジネスプランニング I	必修	183
対象学科・学年	授業形態	
事業創造学科1年、大学併修事業創造学科1年	対面授業のみ実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
長谷川 慎一	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
税理士補助/経営指導、記帳代行	

(3) 授業概要

<p>新しいビジネスの立ち上げや既存のビジネスの成長を計画するプロセスで、具体的には、以下の内容を履修します。</p> <p>①ビジョンと目標の設定: ビジネスプランニングでは、ビジョンや長期的な目標を設定します。これにより、ビジネスの将来の方向性や成果を明確にし、チーム全体の方針を定めることができます。</p> <p>②市場調査と競争分析: ビジネスプランニングでは、ターゲット市場の調査や競合他社の分析を行います。市場の需要や傾向、競合状況を理解することで、適切な戦略を策定することができます。</p> <p>③製品やサービスの開発: ビジネスプランニングでは、提供する製品やサービスの開発や改善を計画します。顧客のニーズに合致し、競争力を持つ製品やサービスを提供することが重要です。</p> <p>④マーケティング戦略: ビジネスプランニングでは、製品やサービスの販売やブランドの構築を支援するマーケティング戦略を策定します。ターゲット市場へのアプローチやプロモーション方法、価格設定などを計画し、競争力を維持します。</p> <p>⑤財務計画: ビジネスプランニングでは、財務面の計画も重要です。収益予測、予算策定、資金調達、収益性の分析などを行い、ビジネスの財務状況を管理します。</p> <p>⑥実行計画: ビジネスプランニングでは、具体的な実行計画を策定します。目標達成のためのアクションプランやタイムラインを作成し、スケジュールや責任を明確化します。</p> <p>ビジネスプランニングは、起業家や経営者にとって重要な活動であり、ビジネスの成功を支える基盤となります。</p> <p>上記内容を中心にビジネスプラン作成に向けて学習する。</p>

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

各種ビジネスコンテスト入賞。 投資家へのプレゼンができるレベルを目標とする。

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①課題提出 ②意欲、授業態度 を6:4の比率で総合的に評価する。

(6) 使用教材・教具

パソコン、筆記用具

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 ビジネスプランニング I

W	時間	授業内容	授業方法
1	1	ビジネスプラン作成について	講義・スライド
	2	ビジネスプラン作成について	講義・スライド
	3	ビジネスプラン作成について	講義・スライド
2	4	ビジネスプラン作成について	講義・スライド
	5	ビジネスプラン作成について	講義・スライド
	6	ビジネスプラン作成について	講義・スライド
3	7	ビジョンと目標の設定	講義・スライド
	8	ビジョンと目標の設定	講義・スライド
	9	ビジョンと目標の設定	講義・スライド
4	10	ビジョンと目標の設定	講義・スライド
	11	ビジョンと目標の設定	講義・スライド
	12	ビジョンと目標の設定	講義・スライド
5	13	市場調査	講義・スライド
	14	市場調査	講義・スライド
	15	市場調査	講義・スライド
6	16	市場調査	講義・スライド
	17	市場調査	講義・スライド
	18	市場調査	講義・スライド
7	19	競争分析	講義・スライド
	20	競争分析	講義・スライド
	21	競争分析	講義・スライド
8	22	競争分析	講義・スライド
	23	競争分析	講義・スライド
	24	競争分析	講義・スライド
9	25	マーケット分析	講義・スライド
	26	マーケット分析	講義・スライド
	27	マーケット分析	講義・スライド
10	28	マーケット分析	講義・スライド
	29	マーケット分析	講義・スライド
	30	マーケット分析	講義・スライド

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 ビジネスプランニング I

W	時間	授業内容	授業方法
11	31	製品やサービスの開発	講義・スライド
	32	製品やサービスの開発	講義・スライド
	33	製品やサービスの開発	講義・スライド
12	34	製品やサービスの開発	講義・スライド
	35	製品やサービスの開発	講義・スライド
	36	製品やサービスの開発	講義・スライド
13	37	リスク評価	講義・スライド
	38	リスク評価	講義・スライド
	39	リスク評価	講義・スライド
14	40	リスク評価	講義・スライド
	41	リスク評価	講義・スライド
	42	リスク評価	講義・スライド
15	43	資源の計画	講義・スライド
	44	資源の計画	講義・スライド
	45	資源の計画	講義・スライド
16	46	資源の計画	講義・スライド
	47	資源の計画	講義・スライド
	48	資源の計画	講義・スライド
17	49	実施計画	講義・スライド
	50	実施計画	講義・スライド
	51	実施計画	講義・スライド
18	52	実施計画	講義・スライド
	53	実施計画	講義・スライド
	54	実施計画	講義・スライド
19	55	ビジネスプラン作成(基礎)	講義・スライド
	56	ビジネスプラン作成(基礎)	講義・スライド
	57	ビジネスプラン作成(基礎)	講義・スライド
20	58	ビジネスプラン作成(基礎)	講義・スライド
	59	ビジネスプラン作成(基礎)	講義・スライド
	60	ビジネスプラン作成(基礎)	講義・スライド

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 ビジネスプランニング I

W	時間	授業内容	授業方法
21	61	ビジネスプラン作成(基礎)説明	講義・演習
	62	ビジネスプラン作成(基礎)説明	講義・演習
	63	ビジネスプラン作成(基礎)説明	講義・演習
22	64	ビジネスプラン作成(基礎)	演習
	65	ビジネスプラン作成(基礎)	演習
	66	ビジネスプラン作成(基礎)	演習
23	67	個人プランプレゼン	発表・スライド
	68	個人プランプレゼン	発表・スライド
	69	個人プランプレゼン	発表・スライド
24	70	個人プランプレゼン	発表・スライド
	71	個人プランプレゼン	発表・スライド
	72	個人プランプレゼン	発表・スライド
25	73	ビジネスプラン作成(応用)説明	講義・演習
	74	ビジネスプラン作成(応用)説明	講義・演習
	75	ビジネスプラン作成(応用)説明	講義・演習
26	76	ビジネスプラン作成(応用)	演習
	77	ビジネスプラン作成(応用)	演習
	78	ビジネスプラン作成(応用)	演習
27	79	ビジネスプラン作成(応用)	演習
	80	ビジネスプラン作成(応用)	演習
	81	ビジネスプラン作成(応用)	演習
28	82	ビジネスプラン作成(応用)	演習
	83	ビジネスプラン作成(応用)	演習
	84	ビジネスプラン作成(応用)	演習
29	85	ビジネスプラン作成(応用)	演習
	86	ビジネスプラン作成(応用)	演習
	87	ビジネスプラン作成(応用)	演習
30	88	ビジネスプラン作成(応用)	演習
	89	ビジネスプラン作成(応用)	演習
	90	ビジネスプラン作成(応用)	演習

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 ビジネスプランニング I

W	時間	授業内容	授業方法
31	91	ビジネスプラン作成(応用)	講義・演習
	92	ビジネスプラン作成(応用)	講義・演習
	93	ビジネスプラン作成(応用)	講義・演習
32	94	ビジネスプラン作成(応用)	演習
	95	ビジネスプラン作成(応用)	演習
	96	ビジネスプラン作成(応用)	演習
33	97	個人プランプレゼン	発表・スライド
	98	個人プランプレゼン	発表・スライド
	99	個人プランプレゼン	発表・スライド
34	100	個人プランプレゼン	発表・スライド
	101	個人プランプレゼン	発表・スライド
	102	個人プランプレゼン	発表・スライド
35	103	学生ビジョンコンテスト(説明)	講義・演習
	104	学生ビジョンコンテスト(説明)	講義・演習
	105	学生ビジョンコンテスト(説明)	講義・演習
36	106	学生ビジョンコンテスト(グループワーク)	演習
	107	学生ビジョンコンテスト(グループワーク)	演習
	108	学生ビジョンコンテスト(グループワーク)	演習
37	109	学生ビジョンコンテスト(グループワーク)	演習
	110	学生ビジョンコンテスト(グループワーク)	演習
	111	学生ビジョンコンテスト(グループワーク)	演習
38	112	学生ビジョンコンテスト(グループワーク)	演習
	113	学生ビジョンコンテスト(グループワーク)	演習
	114	学生ビジョンコンテスト(グループワーク)	演習
39	115	学生ビジョンコンテスト(グループワーク)	演習
	116	学生ビジョンコンテスト(グループワーク)	演習
	117	学生ビジョンコンテスト(グループワーク)	演習
40	118	学生ビジョンコンテスト(グループワーク)	演習
	119	学生ビジョンコンテスト(グループワーク)	演習
	120	学生ビジョンコンテスト(グループワーク)	演習

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 ビジネスプランニング I

W	時間	授業内容	授業方法
41	121	学生ビジョンコンテスト(グループワーク)	演習
	122	学生ビジョンコンテスト(グループワーク)	演習
	123	学生ビジョンコンテスト(グループワーク)	演習
42	124	学生ビジョンコンテスト(グループワーク)	演習
	125	学生ビジョンコンテスト(グループワーク)	演習
	126	学生ビジョンコンテスト(グループワーク)	演習
43	127	学生ビジョンコンテスト(グループワーク)	演習
	128	学生ビジョンコンテスト(グループワーク)	演習
	129	学生ビジョンコンテスト(グループワーク)	演習
44	130	学生ビジョンコンテスト(グループワーク)	演習
	131	学生ビジョンコンテスト(グループワーク)	演習
	132	学生ビジョンコンテスト(グループワーク)	演習
45	133	学生ビジョンコンテスト(グループワーク)	演習
	134	学生ビジョンコンテスト(グループワーク)	演習
	135	学生ビジョンコンテスト(グループワーク)	演習
46	136	学生ビジョンコンテスト(グループワーク)	演習
	137	学生ビジョンコンテスト(グループワーク)	演習
	138	学生ビジョンコンテスト(グループワーク)	演習
47	139	学生ビジョンコンテスト(プレゼン)	発表・スライド
	140	学生ビジョンコンテスト(プレゼン)	発表・スライド
	141	学生ビジョンコンテスト(プレゼン)	発表・スライド
48	142	学生ビジョンコンテスト(プレゼン)	発表・スライド
	143	学生ビジョンコンテスト(プレゼン)	発表・スライド
	144	学生ビジョンコンテスト(プレゼン)	発表・スライド
49	145	学生ビジョンコンテスト(プレゼン)	発表・スライド
	146	学生ビジョンコンテスト(プレゼン)	発表・スライド
	147	学生ビジョンコンテスト(プレゼン)	発表・スライド
50	148	学生ビジョンコンテスト(プレゼン)	発表・スライド
	149	学生ビジョンコンテスト(プレゼン)	発表・スライド
	150	学生ビジョンコンテスト(プレゼン)	発表・スライド

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
ビジネスモデル論	選択	64
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科4年	遠隔授業のみ実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
長谷川 慎一	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
税理士補助/経営指導、記帳代行	

(3) 授業概要

ビジネスモデルは、経営戦略を支える重要な考え方である。ネット通販、映像配信、オムニチャネル等現在成長しているビジネスには、優れたビジネスモデルがある。ビジネスモデルを簡単に言うと、誰に対して、どういう価値を、どういう商品・サービスを提供するのか、さらにいかに儲けるか、どういう仕組みを構築するかである。本科目は、ビジネスモデルの考え方とその事例を学習するものである

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

- ①ビジネスモデルの立案に当たって基本的に押さえる要素を、フレームワークとして理解することができる。
- ②身近な周辺の企業事例をビジネスモデルという面からとらえ、考えることができる。

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①最終テスト ②意欲、授業態度 を5:5の比率で総合的に評価する。□

(6) 使用教材・教具

『ビジネスモデル全史』三谷 宏治,ディスカヴァー・トゥエンティワン,2014年

(7) 授業にあたっての留意点

(8) その他

【別紙】

授業計画書

科目名 ビジネスモデル論

W	時間	授業内容	授業方法
	1	序章 お金にまつわる5つのビジネスモデル革新	テキストを使った講義
	2	序章 お金にまつわる6つのビジネスモデル革新	テキストを使った講義
	3	序章 お金にまつわる7つのビジネスモデル革新	テキストを使った講義
	4	序章 お金にまつわる8つのビジネスモデル革新	テキストを使った講義
	5	序章 お金にまつわる9つのビジネスモデル革新	テキストを使った講義
	6	序章 お金にまつわる10つのビジネスモデル革新	テキストを使った講義
	7	序章 お金にまつわる11つのビジネスモデル革新	テキストを使った講義
	8	序章 お金にまつわる12つのビジネスモデル革新	テキストを使った講義
	9	序章 お金にまつわる13つのビジネスモデル革新	テキストを使った講義
	10	序章 お金にまつわる14つのビジネスモデル革新	テキストを使った講義
	11	第1章 ビジネスモデルとは何か	テキストを使った講義
	12	第1章 ビジネスモデルとは何か	テキストを使った講義
	13	第1章 ビジネスモデルとは何か	テキストを使った講義
	14	第1章 ビジネスモデルとは何か	テキストを使った講義
	15	第1章 ビジネスモデルとは何か	テキストを使った講義
	16	第1章 ビジネスモデルとは何か	テキストを使った講義
	17	第1章 ビジネスモデルとは何か	テキストを使った講義
	18	第1章 ビジネスモデルとは何か	テキストを使った講義
	19	第1章 ビジネスモデルとは何か	テキストを使った講義
	20	第1章 ビジネスモデルとは何か	テキストを使った講義
	21	第2章 近代ビジネスモデルの創世期(1673~1969)	テキストを使った講義
	22	第2章 近代ビジネスモデルの創世期(1673~1969)	テキストを使った講義
	23	第2章 近代ビジネスモデルの創世期(1673~1969)	テキストを使った講義
	24	第2章 近代ビジネスモデルの創世期(1673~1969)	テキストを使った講義
	25	第2章 近代ビジネスモデルの創世期(1673~1969)	テキストを使った講義
	26	第2章 近代ビジネスモデルの創世期(1673~1969)	テキストを使った講義
	27	第2章 近代ビジネスモデルの創世期(1673~1969)	テキストを使った講義
	28	第2章 近代ビジネスモデルの創世期(1673~1969)	テキストを使った講義
	29	第2章 近代ビジネスモデルの創世期(1673~1969)	テキストを使った講義
	30	第2章 近代ビジネスモデルの創世期(1673~1969)	テキストを使った講義

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 ビジネスモデル論

W	時間	授業内容	授業方法
	31	第3章 近代ビジネスモデルの変革期(1970~1990)	テキストを使った講義
	32	第3章 近代ビジネスモデルの変革期(1970~1990)	
	33	第3章 近代ビジネスモデルの変革期(1970~1990)	
	34	第3章 近代ビジネスモデルの変革期(1970~1990)	
	35	第3章 近代ビジネスモデルの変革期(1970~1990)	
	36	第3章 近代ビジネスモデルの変革期(1970~1990)	
	37	第3章 近代ビジネスモデルの変革期(1970~1990)	
	38	第3章 近代ビジネスモデルの変革期(1970~1990)	
	39	第3章 近代ビジネスモデルの変革期(1970~1990)	
	40	第3章 近代ビジネスモデルの変革期(1970~1990)	
	41	第4章 世紀末、スピードとITによる創世記(1991-2001)	
	42	第4章 世紀末、スピードとITによる創世記(1991-2001)	
	43	第4章 世紀末、スピードとITによる創世記(1991-2001)	
	44	第4章 世紀末、スピードとITによる創世記(1991-2001)	
	45	第4章 世紀末、スピードとITによる創世記(1991-2001)	
	46	第4章 世紀末、スピードとITによる創世記(1991-2001)	
	47	第4章 世紀末、スピードとITによる創世記(1991-2001)	
	48	第4章 世紀末、スピードとITによる創世記(1991-2001)	
	49	第4章 世紀末、スピードとITによる創世記(1991-2001)	
	50	第4章 世紀末、スピードとITによる創世記(1991-2001)	
	51	第5章 新世紀、リアルも巻き込んだ巨人たちの戦いと小チームの勃興(2002~2014)	
	52	第5章 新世紀、リアルも巻き込んだ巨人たちの戦いと小チームの勃興(2002~2014)	
	53	第5章 新世紀、リアルも巻き込んだ巨人たちの戦いと小チームの勃興(2002~2014)	
	54	第5章 新世紀、リアルも巻き込んだ巨人たちの戦いと小チームの勃興(2002~2014)	
	55	第5章 新世紀、リアルも巻き込んだ巨人たちの戦いと小チームの勃興(2002~2014)	
	56	第6章 どうビジネスモデル変革を起こすのか？	
	57	第6章 どうビジネスモデル変革を起こすのか？	
	58	第6章 どうビジネスモデル変革を起こすのか？	
	59	第6章 どうビジネスモデル変革を起こすのか？	
	60	第6章 どうビジネスモデル変革を起こすのか？	

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 ビジネスモデル論

W	時間	授業内容	授業方法
	61	評価テスト	事例発表・レポート作成
	62	評価テスト	事例発表・レポート作成
	63	評価テスト	事例発表・レポート作成
	64	評価テスト	事例発表・レポート作成
	65		
	66		
	67		
	68		
	69		
	70		
	71		
	72		
	73		
	74		
	75		
	76		
	77		
	78		
	79		
	80		
	81		
	82		
	83		
	84		
	85		
	86		
	87		
	88		
	89		
	90		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
ビジネス会計	必修	84
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科2年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
田中 史歩	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

(3) 授業概要

小売業や卸売業(商業)における基本的な帳簿を作成でき、複式簿記の仕組みを理解し、損益計算書と貸借対照表を作成できる能力を養う。また、数字を読み取る力、一定の計算手法を習得する力を養う。検定後は、経営的な視点での財務力を習得すべく、財務3表の解釈を中心として、財務計画を立てるまでを学習する。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

経営学としての知識習得

(5) 成績評価方法・基準

当該授業への出席率80%以上を基本として、課題・演習の提出を20%とする

(6) 使用教材・教具

説明・演習用問題プリント、筆記用具、電卓

(7) 授業にあたっての留意点

特になし

(8) その他

特になし

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 ビジネス会計

W	時間	授業内容	授業方法
	1	動機づけ	講義
	2	簿記の基礎	講義・演習
	3	簿記の基礎	講義・演習
	4	日常の手続き	講義・演習
	5	日常の手続き	講義・演習
	6	日常の手続き	講義・演習
	7	商品売買Ⅰ	講義・演習
	8	商品売買Ⅰ	講義・演習
	9	商品売買Ⅰ	講義・演習
	10	商品売買Ⅱ	講義・演習
	11	商品売買Ⅱ	講義・演習
	12	現金・預金	講義・演習
	13	現金・預金	講義・演習
	14	小口現金	講義・演習
	15	小口現金	講義・演習
	16	手形取引	講義・演習
	17	手形取引	講義・演習
	18	手形取引	講義・演習
	19	その他の取引Ⅰ	講義・演習
	20	その他の取引Ⅰ	講義・演習
	21	その他の取引Ⅱ	講義・演習
	22	その他の取引Ⅱ	講義・演習
	23	その他の取引Ⅲ	講義・演習
	24	税金	講義・演習
	25	有価証券	講義・演習
	26	株式の発行	講義・演習
	27	株式の発行	講義・演習
	28	決算	講義・演習
	29	決算整理Ⅰ	講義・演習
	30	決算整理Ⅰ	講義・演習

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 ビジネス会計

W	時間	授業内容	授業方法
	31	決算整理Ⅱ	講義・演習
	32	決算整理Ⅲ	講義・演習
	33	決算整理Ⅲ	講義・演習
	34	決算整理Ⅳ	講義・演習
	35	決算整理Ⅳ／決算整理Ⅴ	講義・演習
	36	決算整理Ⅴ	講義・演習
	37	決算整理Ⅵ	講義・演習
	38	決算整理Ⅵ	講義・演習
	39	試験対策・精算表	講義・演習
	40	試験対策・精算表	講義・演習
	41	試験対策・精算表	講義・演習
	42	試験対策・精算表	講義・演習
	43	試験対策・精算表	講義・演習
	44	試験対策・精算表	講義・演習
	45	試験対策・精算表	講義・演習
	46	試験対策・帳簿組織	講義・演習
	47	試験対策・帳簿組織	講義・演習
	48	試験対策・帳簿組織	講義・演習
	49	試験対策・帳簿組織	講義・演習
	50	試験対策・帳簿組織	講義・演習
	51	試験対策・帳簿組織	講義・演習
	52	試験対策・伝票	講義・演習
	53	試験対策・伝票	講義・演習
	54	試験対策・伝票	講義・演習
	55	試験対策・伝票	講義・演習
	56	試験対策・伝票	講義・演習
	57	試験対策・伝票	講義・演習
	58	試験対策・計算	講義・演習
	59	試験対策・計算	講義・演習
	60	試験対策・計算	講義・演習

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
ビジネス文書	必修	33
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科2年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
榎 祐香	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
医療機関事務	

(3) 授業概要

教科書やプリントを使用して、講義形式にて指導。 前半は全範囲の講義を中心に行い、後半は検定対策として、模擬試験&解説を実施する。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

社会に出て、一通りのビジネス文書が作成できるレベルを目標とする。

(5) 成績評価方法・基準

授業態度、模擬試験結果、検定試験結果を参考に評価する。

(6) 使用教材・教具

ビジネス文書検定3級受験ガイド(実務技能検定協会出版)

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 ビジネス文書

W	時間	授業内容	授業方法
前期 1	1	ビジネス文書が果たす重要な役割	講義
	2	文章作成技能が求められている理由	講義
	3	ビジネス文書と現代の表記	講義
前期 2	4	I 表記技能 文字は正しく丁寧に書く	講義・演習
	5	I 表記技能 実用文に使われる常用漢字	講義・演習
	6	I 表記技能 現代仮名遣いの用い方	講義・演習
前期 3	7	I 表記技能 送り仮名の付け方	講義・演習
	8	I 表記技能 片仮名の書き方	講義・演習
	9	I 表記技能 数字の書き表し方	講義・演習
前期 4	10	I 表記技能 句読点の付け方	講義・演習
	11	I 表記技能 一般の用語	講義・演習
	12	I 表記技能 同音異義語と異字同訓語	講義・演習
前期 5	13	I 表記技能 慣用の手紙用語	講義・演習
	14	I 表記技能 横書き通信文の構成とレイアウト	講義・演習
	15	II 表現技能 よじれない文が×	講義・演習
前期 6	16	II 表現技能 類義語を使い分ける	講義・演習
	17	II 表現技能 正しく伝えるための基本	講義・演習
	18	II 表現技能 表題(件名)が付けられる	講義・演習
前期 7	19	II 表現技能 箇条書きなどを使って文章が作成できる	講義・演習
	20	II 表現技能 分かりやすくするための図表が書ける	講義・演習
	21	II 表現技能 人を指す言葉、敬称を知っている	講義・演習
前期 8	22	II 表現技能 お・御を正しく付けられる	講義・演習
	23	II 表現技能 動作の言葉に付ける尊敬語	講義・演習
	24	II 表現技能 動作の言葉に付ける謙譲語	講義・演習
前期 9	25	II 表現技能 丁寧な言葉遣い、丁寧な言い回し	講義・演習
	26	II 表現技能 手紙を書く上でのエチケットやしきたり	講義・演習
	27	III 実務技能 社内文書	講義・演習
前期 10	28	III 実務技能 社外文書	講義・演習
	29	III 実務技能 文章の取り扱い	講義・演習
	30	実践演習(模擬試験)	演習

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 ビジネス文書

W	時間	授業内容	授業方法
前期	31	実践演習(模擬試験)	演習
	32	実践演習(模擬試験)	演習
	33	実践演習(模擬試験)	演習

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
ビジネス倫理	選択	64
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科4年	遠隔授業のみ実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
長谷川 慎一	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
税理士補助/経営指導、記帳代行	

(3) 授業概要

企業の不祥事が頻発する中で、ますますビジネス倫理(企業倫理)が厳しく問われる時代を迎えている。たった1人のビジネスパーソンの倫理観の欠如が、その企業を揺るがす深刻な状況をもたらしかねない。企業・個人の倫理観を育てる取り組みに市場の厳しい目が向けられている。本科目では、ビジネス倫理がなぜ重要なのかを学習しながら、ビジネスパーソンとしての正しい行動とはどのようなものかを考え、自らの倫理観を確立する。また、企業市民として、国際社会に通用するビジネス倫理とはどのようなものかを学ぶ

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

- ①ビジネス社会におけるビジネス倫理の位置づけと概念を理解し、様々な理論や考え方を理解できる。
- ②実際の様々な問題、利益追求と倫理の関係などについて課題を提示でき、日々の仕事や家庭・個人においても自分なりのビジネス倫理観を確立し、使うことができる。

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①最終テスト ②意欲、授業態度 を5:5の比率で総合的に評価する。□

(6) 使用教材・教具

『働く人が知っておきたいビジネス倫理』齊藤 聡,産業能率大学出版部,2015年

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 ビジネス倫理

W	時間	授業内容	授業方法
	1	第1部 問題提起と基礎知識(ビジネス倫理を学ぶ前に基礎知識を再考する)	テキストを使った講義
	2	第1部 問題提起と基礎知識(ビジネス倫理を学ぶ前に基礎知識を再考する)	テキストを使った講義
	3	第1部 問題提起と基礎知識(ビジネス倫理を学ぶ前に基礎知識を再考する)	テキストを使った講義
	4	第1部 問題提起と基礎知識(ビジネス倫理を学ぶ前に基礎知識を再考する)	テキストを使った講義
	5	第1部 問題提起と基礎知識(ビジネス倫理を学ぶ前に基礎知識を再考する)	テキストを使った講義
	6	第1部 問題提起と基礎知識(ビジネス倫理を学ぶ前に基礎知識を再考する)	テキストを使った講義
	7	第1部 問題提起と基礎知識(ビジネス倫理を学ぶ前に基礎知識を再考する)	テキストを使った講義
	8	第1部 問題提起と基礎知識(ビジネス倫理を学ぶ前に基礎知識を再考する)	テキストを使った講義
	9	第1部 問題提起と基礎知識(ビジネス倫理を学ぶ前に基礎知識を再考する)	テキストを使った講義
	10	第1部 問題提起と基礎知識(ビジネス倫理を学ぶ前に基礎知識を再考する)	テキストを使った講義
	11	第2部 現状認識と正義について(現代のビジネス倫理)	テキストを使った講義
	12	第2部 現状認識と正義について(現代のビジネス倫理)	テキストを使った講義
	13	第2部 現状認識と正義について(現代のビジネス倫理)	テキストを使った講義
	14	第2部 現状認識と正義について(現代のビジネス倫理)	テキストを使った講義
	15	第2部 現状認識と正義について(現代のビジネス倫理)	テキストを使った講義
	16	第2部 現状認識と正義について(現代のビジネス倫理)	テキストを使った講義
	17	第2部 現状認識と正義について(現代のビジネス倫理)	テキストを使った講義
	18	第2部 現状認識と正義について(現代のビジネス倫理)	テキストを使った講義
	19	第2部 現状認識と正義について(現代のビジネス倫理)	テキストを使った講義
	20	第2部 現状認識と正義について(現代のビジネス倫理)	テキストを使った講義
	21	第2部 現状認識と正義について(現代のビジネス倫理)	テキストを使った講義
	22	第2部 現状認識と正義について(現代のビジネス倫理)	テキストを使った講義
	23	第2部 現状認識と正義について(現代のビジネス倫理)	テキストを使った講義
	24	第2部 現状認識と正義について(現代のビジネス倫理)	テキストを使った講義
	25	第2部 現状認識と正義について(現代のビジネス倫理)	テキストを使った講義
	26	第2部 現状認識と正義について(現代のビジネス倫理)	テキストを使った講義
	27	第2部 現状認識と正義について(現代のビジネス倫理)	テキストを使った講義
	28	第2部 現状認識と正義について(現代のビジネス倫理)	テキストを使った講義
	29	第2部 現状認識と正義について(現代のビジネス倫理)	テキストを使った講義
	30	第2部 現状認識と正義について(現代のビジネス倫理)	テキストを使った講義

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 ビジネス倫理

W	時間	授業内容	授業方法
	61	評価テスト	事例発表・レポート作成
	62	評価テスト	事例発表・レポート作成
	63	評価テスト	事例発表・レポート作成
	64	評価テスト	事例発表・レポート作成
	65		
	66		
	67		
	68		
	69		
	70		
	71		
	72		
	73		
	74		
	75		
	76		
	77		
	78		
	79		
	80		
	81		
	82		
	83		
	84		
	85		
	86		
	87		
	88		
	89		
	90		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
プレゼンテーション I	必修	64
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科3年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
田中 史歩	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

(3) 授業概要

<p>本授業は、プレゼンテーション能力を高めるために、テキストを用いての講義および、発表や発声練習などの実技、グループワークや動画の視聴からの気づきの促しなど、様々な教具と手法を用いて授業を展開していく。</p>
--

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<p>本授業は、ビジネスにおいて重要視されるコミュニケーション能力の中にあつて、協働するために必要不可欠となるプレゼンテーション能力を高めることを目的としている。そのために、自らのメッセージが相手に伝わるための論理的な流れ、話題作りの仕方、表現手段の一つとなるPowerPointの活用方法、発表者としてあるべき姿勢と発声などを身につける。</p>
--

(5) 成績評価方法・基準

<p>当授業への出席率80%以上を前提とし、検定の取得状況、平素の授業態度、出席状況、課題の提出状況を総合的に評価する。なかでも中間期発表と期末発表の成績を重視(配分は30%)して評価を行う。</p>
--

(6) 使用教材・教具

<p>テキスト、パソコン、筆記用具（パソコンについては必要な場合、担当者から事前連絡がある）</p>
--

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 プレゼンテーション I

W	時間	授業内容	授業方法
	1	プレゼンテーションとは	補助プリントを使用しての講義
	2	二つの理解、伝達ゲーム、意図と解釈	ワークショップ(実技)を実施
	3	自分自身の魅力度について	補助プリントを使用して自己分析をおこなう。
	4	課題解決型 ワークショップ	情報交流を行い、問題を解決していくグループワークを実施。
	5	課題解決型 ワークショップ	情報交流を行い、問題を解決していくグループワークを実施。
	6	課題解決型 ワークショップ	情報交流を行い、問題を解決していくグループワークを実施。
	7	よい話とは	補助プリント
	8	自己PRを使って話の構成を考える(主-話-主)	自己PR文を作らせ、発表。これをスマホで撮影。話の構成についてヒントを与えた後再作成を行う。
	9	自己PRを使って話の構成を考える(主-話-主)	
	10	何を話すのか(話の構成)	補助プリントを使ってのワーク
	11	何を話すのか(話の構成)	補助プリントを使ってのワーク
	12	何を話すのか(話の構成)	補助プリントを使ってのワーク
	13	何を話すのか(話の構成)	補助プリントを使ってのワーク
	14	何を話すのか(話の構成)	補助プリントを使ってのワーク
	15	何を話すのか(話の構成)	補助プリントを使ってのワーク
	16	どのように話すのか(おとしとつかみ)	補助プリントを使ってのワーク
	17	どのように話すのか(おとしとつかみ)	補助プリントを使ってのワーク
	18	どのように話すのか(おとしとつかみ)	補助プリントを使ってのワーク
	19	中間発表資料作成 (売り込みたいもの)	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	20	中間発表資料作成 (売り込みたいもの)	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	21	中間発表資料作成 (売り込みたいもの)	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	22	中間発表資料作成 (売り込みたいもの)	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	23	中間発表資料作成 (売り込みたいもの)	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	24	中間発表資料作成 (売り込みたいもの)	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	25	中間発表	発表を行う。発表待ちの学生はプレゼンシートを記入。
	26	中間発表	発表を行う。発表待ちの学生はプレゼンシートを記入。
	27	中間発表	発表を行う。発表待ちの学生はプレゼンシートを記入。
	28	何を使って話すのか(発声と姿勢)	補助プリントを使って早口言葉など
	29	何を使って話すのか(発声と姿勢)	補助プリントを使って早口言葉など
	30	何を使って話すのか(発声と姿勢)	補助プリントを使って早口言葉など

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 プレゼンテーション I

W	時間	授業内容	授業方法
	31	効果的な視覚資料の作り方	PCを使っでの資料作成
	32	効果的な視覚資料の作り方	PCを使っでの資料作成
	33	効果的な視覚資料の作り方	PCを使っでの資料作成
	34	効果的な視覚資料の作り方	PCを使っでの資料作成
	35	効果的な視覚資料の作り方	PCを使っでの資料作成
	36	効果的な視覚資料の作り方	PCを使っでの資料作成
	37	どうすれば心が動くか	補助プリントを使っでのワークショップ
	38	どうすれば心が動くか	補助プリントを使っでのワークショップ
	39	どうすれば心が動くか	補助プリントを使っでのワークショップ
	40	期末発表資料作成（売り込みたいものⅡ）	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	41	期末発表資料作成（売り込みたいものⅡ）	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	42	期末発表資料作成（売り込みたいものⅡ）	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	43	期末発表資料作成（売り込みたいものⅡ）	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	44	期末発表資料作成（売り込みたいものⅡ）	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	45	期末発表資料作成（売り込みたいものⅡ）	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	46	期末発表資料作成（売り込みたいものⅡ）	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	47	期末発表資料作成（売り込みたいものⅡ）	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	48	期末発表	発表を行う。発表待ちの学生はプレゼンシートを記入。
	49	期末発表	発表を行う。発表待ちの学生はプレゼンシートを記入。
	50	期末発表	発表を行う。発表待ちの学生はプレゼンシートを記入。
	51	期末発表	発表を行う。発表待ちの学生はプレゼンシートを記入。
	52	期末発表	発表を行う。発表待ちの学生はプレゼンシートを記入。
	53	期末発表	発表を行う。発表待ちの学生はプレゼンシートを記入。
	54	期末発表	発表を行う。発表待ちの学生はプレゼンシートを記入。
	55	期末発表	発表を行う。発表待ちの学生はプレゼンシートを記入。
	56	期末発表	発表を行う。発表待ちの学生はプレゼンシートを記入。
	57	期末発表	発表を行う。発表待ちの学生はプレゼンシートを記入。
	58	期末発表	発表を行う。発表待ちの学生はプレゼンシートを記入。
	59	期末発表	発表を行う。発表待ちの学生はプレゼンシートを記入。
	60	期末発表	発表を行う。発表待ちの学生はプレゼンシートを記入。

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
プレゼンテーション実習	必修	72
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科2年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
田中 史歩	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

(3) 授業概要

<p>本授業は、プレゼンテーション能力を高めるために、テキストを用いての講義および、発表や発声練習などの実技、グループワークや動画の視聴からの気づきの促しなど、様々な教具と手法を用いて授業を展開していく。</p>
--

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<p>本授業は、ビジネスにおいて重要視されるコミュニケーション能力の中にあつて、協働するために必要不可欠となるプレゼンテーション能力を高めることを目的としている。そのために、自らのメッセージが相手に伝わるための論理的な流れ、話題作りの仕方、表現手段の一つとなるPowerPointの活用方法、発表者としてあるべき姿勢と発声などを身につける。</p>
--

(5) 成績評価方法・基準

<p>当授業への出席率80%以上を前提とし、検定の取得状況、平素の授業態度、出席状況、課題の提出状況を総合的に評価する。なかでも中間期発表と期末発表の成績を重視(配分は30%)して評価を行う。</p>
--

(6) 使用教材・教具

<p>テキスト、パソコン、筆記用具（パソコンについては必要な場合、担当者から事前連絡がある）</p>
--

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 プレゼンテーション実習

W	時間	授業内容	授業方法
	1	プレゼンテーションとは	補助プリントを使用しての講義
	2	二つの理解、伝達ゲーム、意図と解釈	ワークショップ(実技)を実施
	3	自分自身の魅力度について	補助プリントを使用して自己分析をおこなう。
	4	課題解決型 ワークショップ	情報交流を行い、問題を解決していくグループワークを実施。
	5	課題解決型 ワークショップ	情報交流を行い、問題を解決していくグループワークを実施。
	6	課題解決型 ワークショップ	情報交流を行い、問題を解決していくグループワークを実施。
	7	課題解決型 ワークショップ	情報交流を行い、問題を解決していくグループワークを実施。
	8	課題解決型 ワークショップ	情報交流を行い、問題を解決していくグループワークを実施。
	9	課題解決型 ワークショップ	情報交流を行い、問題を解決していくグループワークを実施。
	10	課題解決型 ワークショップ	情報交流を行い、問題を解決していくグループワークを実施。
	11	課題解決型 ワークショップ	情報交流を行い、問題を解決していくグループワークを実施。
	12	課題解決型 ワークショップ	情報交流を行い、問題を解決していくグループワークを実施。
	13	課題解決型 ワークショップ	情報交流を行い、問題を解決していくグループワークを実施。
	14	課題解決型 ワークショップ	情報交流を行い、問題を解決していくグループワークを実施。
	15	課題解決型 ワークショップ	情報交流を行い、問題を解決していくグループワークを実施。
	16	よい話とは	補助プリント
	17	よい話とは	補助プリント
	18	よい話とは	補助プリント
	19	自己PRを使って話の構成を考える(主-話-主)	自己PR文を作らせ、発表。これをスマホで撮影。話の構成についてヒントを与えた後再作成を行う。
	20	自己PRを使って話の構成を考える(主-話-主)	
	21	自己PRを使って話の構成を考える(主-話-主)	自己PR文を作らせ、発表。これをスマホで撮影。話の構成についてヒントを与えた後再作成を行う。
	22	自己PRを使って話の構成を考える(主-話-主)	
	23	自己PRを使って話の構成を考える(主-話-主)	自己PR文を作らせ、発表。これをスマホで撮影。話の構成についてヒントを与えた後再作成を行う。
	24	自己PRを使って話の構成を考える(主-話-主)	
	25	何を話すのか(話の構成)	補助プリントを使ってのワーク
	26	何を話すのか(話の構成)	補助プリントを使ってのワーク
	27	何を話すのか(話の構成)	補助プリントを使ってのワーク
	28	何を話すのか(話の構成)	補助プリントを使ってのワーク
	29	何を話すのか(話の構成)	補助プリントを使ってのワーク
	30	何を話すのか(話の構成)	補助プリントを使ってのワーク

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 プレゼンテーション実習

W	時間	授業内容	授業方法
	31	どのように話すのか(おとしとつかみ)	補助プリントを使っのワーク
	32	どのように話すのか(おとしとつかみ)	補助プリントを使っのワーク
	33	どのように話すのか(おとしとつかみ)	補助プリントを使っのワーク
	34	どのように話すのか(おとしとつかみ)	補助プリントを使っのワーク
	35	どのように話すのか(おとしとつかみ)	補助プリントを使っのワーク
	36	どのように話すのか(おとしとつかみ)	補助プリントを使っのワーク
	37	中間発表資料作成 (売り込みたいもの)	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	38	中間発表資料作成 (売り込みたいもの)	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	39	中間発表資料作成 (売り込みたいもの)	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	40	中間発表資料作成 (売り込みたいもの)	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	41	中間発表資料作成 (売り込みたいもの)	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	42	中間発表資料作成 (売り込みたいもの)	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	43	中間発表資料作成 (売り込みたいもの)	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	44	中間発表資料作成 (売り込みたいもの)	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	45	中間発表資料作成 (売り込みたいもの)	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	46	中間発表資料作成 (売り込みたいもの)	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	47	中間発表資料作成 (売り込みたいもの)	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	48	中間発表資料作成 (売り込みたいもの)	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	49	中間発表資料作成 (売り込みたいもの)	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	50	中間発表資料作成 (売り込みたいもの)	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	51	中間発表資料作成 (売り込みたいもの)	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	52	中間発表資料作成 (売り込みたいもの)	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	53	中間発表資料作成 (売り込みたいもの)	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	54	中間発表資料作成 (売り込みたいもの)	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	55	中間発表	発表を行う。発表待ちの学生はプレゼンシートを記入。
	56	中間発表	発表を行う。発表待ちの学生はプレゼンシートを記入。
	57	中間発表	発表を行う。発表待ちの学生はプレゼンシートを記入。
	58	何を使って話すのか(発声と姿勢)	補助プリントを使って早口言葉など
	59	何を使って話すのか(発声と姿勢)	補助プリントを使って早口言葉など
	60	何を使って話すのか(発声と姿勢)	補助プリントを使って早口言葉など

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
マーケティング	必修	45
対象学科・学年	授業形態	
イベントビジネス学科1年、ゲーム・eスポーツビジネス学科1年、事業創造学科1年、大学併修事業創造学科1年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
小山 直久	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
中小企業診断士として総合経営コンサルティングと経営幹部に対するエグゼクティブ・コーチングを行っている。詳細は別紙の業務案内をご参照ください。	

(3) 授業概要

<p>本講義では、マーケティングの基本概念、フレームワークを具体的な事例をもとに理解・体感できるように工夫を凝らします。</p> <p>どのようにして商品やサービスが売れるのか、基本理論及びアイデアの発想の仕方を学びます。</p> <p>必要に応じて動画視聴や実際の企業の実例、グループワークを採り入れ、興味関心が深まる授業を行います。</p> <p>商品・サービス開発や各種フレームワークのフォーマットを提供します。</p> <p>※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照</p>
--

(4) 到達目標

<p>当授業を通じて、マーケティング分野の基礎を学ぶとともに、自ら考え、熟考し、視点の選択肢を増やし、行動する契機を生み出すことを目標とします。</p>
--

(5) 成績評価方法・基準

<p>当授業への出席率80%以上を前提として、①最終テスト、②情意・授業態度を5対5の比率で総合的に評価します。</p>
--

(6) 使用教材・教具

<p>補助プリント(レジュメ)、筆記用具</p>

(7) 授業にあたっての留意点

<p></p>

(8) その他

<p>授業において必要な備品は必要に応じて相談させてください。</p> <p>講義内容については、学生の学び進捗度合いに応じて一部変更する場合がございます。</p>
--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 マーケティング

W	時間	授業内容	授業方法
	1	マーケティングの概略を知る 令和と平成バブルのヒット商品	スライド、レジュメ
	2	マーケティングマネジメントプロセス 分析フレーム(SWOT、PEST、3C)	スライド、レジュメ
	3	マーケティングマネジメントプロセス 目標設定、分析フレーム(VRIO)	スライド、レジュメ
	4	環境分析から戦略の方向性を探る ワーク	スライド、レジュメ
	5	市場細分化、ターゲティング、 ポジショニング	スライド、レジュメ
	6	4P全体像、AIDMAとAISAS	スライド、レジュメ
	7	9つの点、高い建物、 最悪こそ最高	スライド、コピー用紙500枚音響チェック！
	8	本質を定義する、信は力なり	スライドのみ音響チェック！
	9	製品の分類、ラインとアイテム、 製品ライフサイクル	スライド、レジュメ
	10	ブランドハニカムモデル、 サービスマーケティング	スライド、レジュメ
	11	価格設定政策、テクノロジーライフサイクル、価格設定方法各種	スライド、レジュメ
	12	チャネルの設計	スライド、レジュメ
	13	プロモーションの基本 セールスプロモーション活動	スライド、レジュメ
	14	Webマーケティング CRM活動	スライド、レジュメ
	15	前半講義のまとめ、補講	スライド、レジュメ
	16	7つのポイント デモンストレーション	ホワイトボード1枚(5人G×1枚)、ペン5本
	17	チームごとに実践と発表	ホワイトボード8枚(5人G×8枚)、ペン40本
	18	チームごとに実践と発表	ホワイトボード8枚(5人G×8枚)、ペン40本
	19	解説とワーク	ホワイトボード8枚(5人G×8枚)、ペン40本
	20	ワーク	ホワイトボード8枚(5人G×8枚)、ペン40本
	21	プレゼンテーション、シェア	ホワイトボード8枚(5人G×8枚)、ペン40本
	22	解説とワーク	ホワイトボード8枚(5人G×8枚)、ペン40本
	23	ワーク	ホワイトボード8枚(5人G×8枚)、ペン40本
	24	プレゼンテーション、シェア	ホワイトボード8枚(5人G×8枚)、ペン40本
	25	解説とワーク	ホワイトボード8枚(5人G×8枚)、ペン40本
	26	ワーク	ホワイトボード8枚(5人G×8枚)、ペン40本
	27	プレゼンテーション、シェア	ホワイトボード8枚(5人G×8枚)、ペン40本
	28	まとめ講義、補講	スライド、レジュメ
	29	プリントによるテスト	テストプリント
	30	プリントによるテスト	テストプリント

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 マーケティング

W	時間	授業内容	授業方法
	31	評価テスト	スライド、レジュメ
	32	テスト解説	スライド、レジュメ
	33	テスト解説	スライド、レジュメ
	34	経済新聞の読み方講座	講義
	35	経済新聞の読み方講座	講義
	36	経済新聞の読み方講座	講義
	37	上半期流行商品の解説	講義
	38	上半期流行商品の解説	講義
	39	上半期流行商品の解説	講義
	40	グループワーク(テーマに対する課題)	スライド
	41	グループワーク(テーマに対する課題)	スライド
	42	グループワーク(テーマに対する課題)	スライド
	43	グループ発表	スライド
	44	グループ発表	スライド
	45	グループ発表	スライド
	46		
	47		
	48		
	49		
	50		
	51		
	52		
	53		
	54		
	55		
	56		
	57		
	58		
	59		
	60		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
マーケティング論	選択	64
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科3年	遠隔授業のみ実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
長谷川 慎一	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
税理士補助/経営指導、記帳代行	

(3) 授業概要

マーケティングは、「モノを売る仕組み」といわれるが、相互作用しながら、価値を創造する活動でもある。その活動は、企業と顧客、病院と患者、学校と生徒など、歩み寄りで築くどの関係性でもいえることである。本科目では、マーケティングの基本的な内容とその体系を把握できるようになることを狙いとす。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

- ①マーケティングの基本的な知識と基本的な用語の意味を理解し、説明できる。
- ②重要なポイントについての理解が十分にでき、説明できる。
- ③応用が利くまで十分な理解がなされ、活用できる。

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①最終テスト ②意欲、授業態度 を5:5の比率で総合的に評価する。□

(6) 使用教材・教具

『Marketing Essence』寺嶋 正尚(監),産業能率大学,2016年

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 マーケティング論

W	時間	授業内容	授業方法
	1	1.マーケティング概念と体系	テキストを使った講義
	2	1.マーケティング概念と体系	テキストを使った講義
	3	1.マーケティング概念と体系	テキストを使った講義
	4	1.マーケティング概念と体系	テキストを使った講義
	5	1.マーケティング概念と体系	テキストを使った講義
	6	1.マーケティング概念と体系	テキストを使った講義
	7	1.マーケティング概念と体系	テキストを使った講義
	8	1.マーケティング概念と体系	テキストを使った講義
	9	2.環境分析	テキストを使った講義
	10	2.環境分析	テキストを使った講義
	11	2.環境分析	テキストを使った講義
	12	2.環境分析	テキストを使った講義
	13	2.環境分析	テキストを使った講義
	14	2.環境分析	テキストを使った講義
	15	2.環境分析	テキストを使った講義
	16	2.環境分析	テキストを使った講義
	17	3.ターゲット市場の選択	テキストを使った講義
	18	3.ターゲット市場の選択	テキストを使った講義
	19	3.ターゲット市場の選択	テキストを使った講義
	20	3.ターゲット市場の選択	テキストを使った講義
	21	3.ターゲット市場の選択	テキストを使った講義
	22	3.ターゲット市場の選択	テキストを使った講義
	23	3.ターゲット市場の選択	テキストを使った講義
	24	3.ターゲット市場の選択	テキストを使った講義
	25	4.データ分析	テキストを使った講義
	26	4.データ分析	テキストを使った講義
	27	4.データ分析	テキストを使った講義
	28	4.データ分析	テキストを使った講義
	29	4.データ分析	テキストを使った講義
	30	4.データ分析	テキストを使った講義

【別紙】

授業計画書

科目名 マーケティング論

W	時間	授業内容	授業方法
	31	5.商品戦略	テキストを使った講義
	32	5.商品戦略	テキストを使った講義
	33	5.商品戦略	テキストを使った講義
	34	5.商品戦略	テキストを使った講義
	35	5.商品戦略	テキストを使った講義
	36	5.商品戦略	テキストを使った講義
	37	5.商品戦略	テキストを使った講義
	38	5.商品戦略	テキストを使った講義
	39	6.価格戦略	テキストを使った講義
	40	6.価格戦略	テキストを使った講義
	41	6.価格戦略	テキストを使った講義
	42	6.価格戦略	テキストを使った講義
	43	6.価格戦略	テキストを使った講義
	44	6.価格戦略	テキストを使った講義
	45	6.価格戦略	テキストを使った講義
	46	6.価格戦略	テキストを使った講義
	47	7.流通戦略	テキストを使った講義
	48	7.流通戦略	テキストを使った講義
	49	7.流通戦略	テキストを使った講義
	50	7.流通戦略	テキストを使った講義
	51	7.流通戦略	テキストを使った講義
	52	7.流通戦略	テキストを使った講義
	53	7.流通戦略	テキストを使った講義
	54	7.流通戦略	テキストを使った講義
	55	8.コミュニケーション戦略	テキストを使った講義
	56	8.コミュニケーション戦略	テキストを使った講義
	57	8.コミュニケーション戦略	テキストを使った講義
	58	8.コミュニケーション戦略	テキストを使った講義
	59	8.コミュニケーション戦略	テキストを使った講義
	60	8.コミュニケーション戦略	テキストを使った講義

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 マーケティング論

W	時間	授業内容	授業方法
	61	評価テスト	事例発表・レポート作成
	62	評価テスト	事例発表・レポート作成
	63	評価テスト	事例発表・レポート作成
	64	評価テスト	事例発表・レポート作成
	65		
	66		
	67		
	68		
	69		
	70		
	71		
	72		
	73		
	74		
	75		
	76		
	77		
	78		
	79		
	80		
	81		
	82		
	83		
	84		
	85		
	86		
	87		
	88		
	89		
	90		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
マネジメント演習 I	選択	93
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科1年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
榎 祐香	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

(3) 授業概要

事例研究や各種調査、経営に必要な知識演習を通して、事業計画作成やポスター作成のためのスキルを養う

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

経営の体系的な知識・スキルを「経験」を通して身につける

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①各種成果物 ②意欲、授業態度 を総合的に評価する。

(6) 使用教材・教具

参考文献 宝島社 経営学見るだけノート

(7) 授業にあたっての留意点

(8) その他

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 マネジメント実習 I

W	時間	授業内容	授業方法
前期	1	演習、事例研究、プラン作成の進め方	PowerPointによる講義
	2	演習、事例研究、プラン作成の進め方	PowerPointによる講義
	3	演習、事例研究、プラン作成の進め方	PowerPointによる講義
前期	4	ケーススタディ紹介	PowerPointによる講義
	5	ケーススタディ紹介	PowerPointによる講義
	6	ケーススタディ紹介	PowerPointによる講義
前期	7	事業構想の展開	PowerPointによる講義
	8	事業構想の展開	PowerPointによる講義
	9	事業構想の展開	PowerPointによる講義
前期	10	ケーススタディ:指定テーマから調査, プレゼン	PowerPointによる講義
	11	ケーススタディ:指定テーマから調査, プレゼン	調査
	12	ケーススタディ:指定テーマから調査, プレゼン	プレゼンテーション
前期	13	ケーススタディ:指定テーマから調査, プレゼン	PowerPointによる講義
	14	ケーススタディ:指定テーマから調査, プレゼン	調査
	15	ケーススタディ:指定テーマから調査, プレゼン	プレゼンテーション
前期	16	ケーススタディ:指定の題材についてディスカッション	PowerPointによる講義
	17	ケーススタディ:指定の題材についてディスカッション	ディスカッション
	18	ケーススタディ:指定の題材についてディスカッション	プレゼンテーション
前期	19	ケーススタディ:指定の題材についてディスカッション	PowerPointによる講義
	20	ケーススタディ:指定の題材についてディスカッション	ディスカッション
	21	ケーススタディ:指定の題材についてディスカッション	プレゼンテーション
前期	22	経営理念について	PowerPointによる講義
	23	経営理念について	調査
	24	経営理念について	プレゼンテーション
前期	25	BMC	PowerPointによる講義
	26	BMC	調査
	27	BMC	調査
前期	28	BMC	調査
	29	BMC	プレゼンテーション
	30	BMC	プレゼンテーション

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 マネジメント実習 I

W	時間	授業内容	授業方法	
前期	31	商品選定	PowerPointによる講義	
	12	32	商品選定	PowerPointによる講義
		33	商品選定	グループワーク
前期	34	商品選定	グループワーク	
	13	35	商品選定	グループワーク
		36	商品選定	グループワーク
前期	37	商品選定	グループワーク	
	14	38	商品選定	グループワーク
		39	商品選定	グループワーク
前期	40	地域活性化事例研究	PowerPointによる講義	
	15	41	地域活性化事例研究	グループワーク
		42	地域活性化事例研究	グループワーク
前期	43	地域活性化事例研究	グループワーク	
	17	44	地域活性化事例研究	グループワーク
		45	地域活性化事例研究	グループワーク
前期	46	市場調査	PowerPointによる講義	
	18	47	市場調査	PowerPointによる講義
		48	市場調査	グループワーク
後期	49	市場調査	グループワーク	
	1	50	市場調査	グループワーク
		51	市場調査	グループワーク
後期	52	市場調査	グループワーク	
	2	53	市場調査	グループワーク
		54	市場調査	グループワーク
後期	55	販売戦略の策定	PowerPointによる講義	
	3	56	販売戦略の策定	PowerPointによる講義
		57	販売戦略の策定	PowerPointによる講義
後期	58	販売戦略の策定	PowerPointによる講義	
	4	59	販売戦略の策定	PowerPointによる講義
		60	販売戦略の策定	PowerPointによる講義

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 マネジメント実習 I

W	時間	授業内容	授業方法
後期 5	61	販売戦略の策定	PowerPointによる講義
	62	販売戦略の策定	PowerPointによる講義
	63	販売戦略の策定	PowerPointによる講義
後期 6	64	販売戦略の策定	PowerPointによる講義
	65	事業計画のアイデア作成①	調査、作成
	66	事業計画のアイデア作成①	調査、作成
後期 7	67	事業計画のアイデア作成①	調査、作成
	68	事業計画のアイデア作成①	プレゼンテーション
	69	事業計画のアイデア作成①	プレゼンテーション
後期 8	70	事業計画のアイデア作成①	プレゼンテーション
	71	事業計画のアイデア作成②	調査、作成
	72	事業計画のアイデア作成②	調査、作成
後期 9	73	事業計画のアイデア作成②	調査、作成
	74	事業計画のアイデア作成②	プレゼンテーション
	75	事業計画のアイデア作成②	プレゼンテーション
後期 10	76	事業計画のアイデア作成②	プレゼンテーション
	77	事業計画のアイデア作成③	調査、作成
	78	事業計画のアイデア作成③	調査、作成
後期 11	79	事業計画のアイデア作成③	調査、作成
	80	事業計画のアイデア作成③	プレゼンテーション
	81	事業計画のアイデア作成③	プレゼンテーション
後期 12	82	事業計画のアイデア作成③	プレゼンテーション
	83	ポスター・サマリー・注釈の作成について	PowerPointによる講義
	84	ポスター・サマリー・注釈の作成について	作成
後期 13	85	SDGsについて事例研究	PowerPointによる講義
	86	SDGsについて事例研究	グループワーク
	87	SDGsについて事例研究	グループワーク
後期 14	88	SDGsについて事例研究	グループワーク
	89	SDGsについて事例研究	グループワーク
	90	SDGsについて事例研究	グループワーク

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
リスクマネジメントの基本	選択	64
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科4年	遠隔授業のみ実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
長谷川 慎一	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
税理士補助/経営指導、記帳代行	

(3) 授業概要

報道などで事故や不祥事の情報を聞いたとき、「自分の会社は大丈夫」と考えがちである。しかし、本来すべての企業人が積極的に自分の会社のリスクを見直し、事前にその対策を講ずることが求められているはずである。

本科目では、現場感覚のリスクマネジメントを理解し、職場で実行するための知恵を身につける。さらに、積極的にリスクを発見し、その対策を講じようとする手法、「逆転発想アプローチ」について学び、職場におけるリスクマネジメントの実践力を養う

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

- ①組織において、リスクに遭遇した際、遺憾なく実力を発揮して対処できる。
- ②リスクマネジメントの各用語を理解し、それをを用いて事例を解析できる。あわせてリスクマネジメントを巡る今日的な問題について、自分で考え、自分なりに構成できる。

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①最終テスト ②意欲、授業態度 を5:5の比率で総合的に評価する。□

(6) 使用教材・教具

『リスクマネジメントの基本』澤口 学 他,産業能率大学,2013年
『ケースで学ぶ職場のリスクマネジメント』澤口 学 他,産業能率大学,2006年

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 リスクマネジメントの基本

W	時間	授業内容	授業方法
	1	第1部 リスクマネジメント—基礎編	テキストを使った講義
	2	第1部 リスクマネジメント—基礎編	テキストを使った講義
	3	第1部 リスクマネジメント—基礎編	テキストを使った講義
	4	第1部 リスクマネジメント—基礎編	テキストを使った講義
	5	第1部 リスクマネジメント—基礎編	テキストを使った講義
	6	第1部 リスクマネジメント—基礎編	テキストを使った講義
	7	第1部 リスクマネジメント—基礎編	テキストを使った講義
	8	第1部 リスクマネジメント—基礎編	テキストを使った講義
	9	第1部 リスクマネジメント—基礎編	テキストを使った講義
	10	第1部 リスクマネジメント—基礎編	テキストを使った講義
	11	企業経営とリスクマネジメント	テキストを使った講義
	12	企業経営とリスクマネジメント	テキストを使った講義
	13	企業経営とリスクマネジメント	テキストを使った講義
	14	企業経営とリスクマネジメント	テキストを使った講義
	15	企業経営とリスクマネジメント	テキストを使った講義
	16	企業経営レベルのリスクマネジメント活動	テキストを使った講義
	17	企業経営レベルのリスクマネジメント活動	テキストを使った講義
	18	企業経営レベルのリスクマネジメント活動	テキストを使った講義
	19	企業経営レベルのリスクマネジメント活動	テキストを使った講義
	20	企業経営レベルのリスクマネジメント活動	テキストを使った講義
	21	職場レベルのリスクマネジメント活動	テキストを使った講義
	22	職場レベルのリスクマネジメント活動	テキストを使った講義
	23	職場レベルのリスクマネジメント活動	テキストを使った講義
	24	職場レベルのリスクマネジメント活動	テキストを使った講義
	25	職場レベルのリスクマネジメント活動	テキストを使った講義
	26	ヒューマンエラーとリスクマネジメント	テキストを使った講義
	27	ヒューマンエラーとリスクマネジメント	テキストを使った講義
	28	ヒューマンエラーとリスクマネジメント	テキストを使った講義
	29	ヒューマンエラーとリスクマネジメント	テキストを使った講義
	30	ヒューマンエラーとリスクマネジメント	テキストを使った講義

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 リスクマネジメントの基本

W	時間	授業内容	授業方法
	31	第2部 逆転発想による創造的リスクマネジメント—実践編	テキストを使った講義
	32	第2部 逆転発想による創造的リスクマネジメント—実践編	テキストを使った講義
	33	第2部 逆転発想による創造的リスクマネジメント—実践編	テキストを使った講義
	34	第2部 逆転発想による創造的リスクマネジメント—実践編	テキストを使った講義
	35	第2部 逆転発想による創造的リスクマネジメント—実践編	テキストを使った講義
	36	第2部 逆転発想による創造的リスクマネジメント—実践編	テキストを使った講義
	37	第2部 逆転発想による創造的リスクマネジメント—実践編	テキストを使った講義
	38	第2部 逆転発想による創造的リスクマネジメント—実践編	テキストを使った講義
	39	第2部 逆転発想による創造的リスクマネジメント—実践編	テキストを使った講義
	40	第2部 逆転発想による創造的リスクマネジメント—実践編	テキストを使った講義
	41	逆転発想アプローチ概論	テキストを使った講義
	42	逆転発想アプローチ概論	テキストを使った講義
	43	逆転発想アプローチ概論	テキストを使った講義
	44	逆転発想アプローチ概論	テキストを使った講義
	45	逆転発想アプローチ概論	テキストを使った講義
	46	逆転発想アプローチによるリスクマネジメント	テキストを使った講義
	47	逆転発想アプローチによるリスクマネジメント	テキストを使った講義
	48	逆転発想アプローチによるリスクマネジメント	テキストを使った講義
	49	逆転発想アプローチによるリスクマネジメント	テキストを使った講義
	50	逆転発想アプローチによるリスクマネジメント	テキストを使った講義
	51	IT系サービスのリスクマネジメント	テキストを使った講義
	52	IT系サービスのリスクマネジメント	テキストを使った講義
	53	IT系サービスのリスクマネジメント	テキストを使った講義
	54	IT系サービスのリスクマネジメント	テキストを使った講義
	55	IT系サービスのリスクマネジメント	テキストを使った講義
	56	業務オペレーションのリスクマネジメント	テキストを使った講義
	57	業務オペレーションのリスクマネジメント	テキストを使った講義
	58	業務オペレーションのリスクマネジメント	テキストを使った講義
	59	業務オペレーションのリスクマネジメント	テキストを使った講義
	60	業務オペレーションのリスクマネジメント	テキストを使った講義

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 リスクマネジメントの基本

W	時間	授業内容	授業方法
	61	評価テスト	事例発表・レポート作成
	62	評価テスト	事例発表・レポート作成
	63	評価テスト	事例発表・レポート作成
	64	評価テスト	事例発表・レポート作成
	65		
	66		
	67		
	68		
	69		
	70		
	71		
	72		
	73		
	74		
	75		
	76		
	77		
	78		
	79		
	80		
	81		
	82		
	83		
	84		
	85		
	86		
	87		
	88		
	89		
	90		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
異文化研究	必修／選択	32
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科1年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
田中 史歩	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

(3) 授業概要

学生が選択した国・都市の文化を理解することが主目的となる。選択する国や都市に関して事前に情報収集を行い、渡航する場合の行動計画もグループ単位で作成する。また、所属する学科と関連するテーマをグループごとに設定し、事前研究や現地でのリサーチを行う。内容に関してPowerPointに資料としてまとめる。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

当校の運営理念である「世界的視野を持った学生の輩出」が目標となる。

(5) 成績評価方法・基準

出席率、授業態度(現地滞在中の行動も含む)、グループワークへの貢献度、提出課題の内容などを総合的に判断する。

(6) 使用教材・教具

NBC作成の独自教材、業者から配布される資料等

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 異文化研究

W	時間	授業内容	授業方法
	1	異文化研究、海外研修の目的、概要など	講義(引率担当者による説明)
	2	国の概要調べ	グループワーク
	3	国の概要調べ	グループワーク
	4	国の概要調べ	グループワーク
	5	国の概要調べ	グループワーク
	6	国の概要調べ	グループワーク
	7	名所調べ、学科別テーマ検討	グループワーク
	8	名所調べ、学科別テーマ検討	グループワーク
	9	名所調べ、学科別テーマ検討	グループワーク
	10	名所調べ、学科別テーマ検討	グループワーク
	11	名所調べ、学科別テーマ検討	グループワーク
	12	名所調べ、学科別テーマ検討	グループワーク
	13	名所調べ、学科別テーマ検討	グループワーク
	14	名所調べ、学科別テーマ検討	グループワーク
	15	名所調べ、学科別テーマ検討	グループワーク
	16	会話の基礎	グループワーク
	17	会話の基礎	グループワーク
	18	会話の基礎	グループワーク
	19	留学生交流会	ゲスト(留学生)との会話
	20	留学生交流会	ゲスト(留学生)との会話
	21	留学生交流会	ゲスト(留学生)との会話
	22	行動計画作成	グループワーク
	23	行動計画作成	グループワーク
	24	行動計画作成	グループワーク
	25	行動計画作成	グループワーク
	26	行動計画作成	グループワーク
	27	行動計画作成	グループワーク
	28	行動計画作成	グループワーク
	29	行動計画作成	グループワーク
	30	行動計画作成	グループワーク

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 異文化研究

W	時間	授業内容	授業方法
	31	グループ資料の作成	グループワーク
	32	グループ資料の作成	グループワーク
	33		
	34		
	35		
	36		
	37		
	38		
	39		
	40		
	41		
	42		
	43		
	44		
	45		
	46		
	47		
	48		
	49		
	50		
	51		
	52		
	53		
	54		
	55		
	56		
	57		
	58		
	59		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
課外研修活動 I	必修	16
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科 1年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
田中 史歩	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

(3) 授業概要

1年次に学校内外で実施される各種研修、イベント等を包括的に一つの科目とみなし、単位認定する。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

学校運営理念である「誠実、明朗、進取の精神をもった、チャレンジ精神旺盛な社会人を育成する」ことを到達目標とし、実施される研修、イベントのすべてがその土台となるものとする。

(5) 成績評価方法・基準

出席を最も重要視し、各内容への貢献度、参加姿勢などを加味して評価する。

(6) 使用教材・教具

(7) 授業にあたっての留意点

(8) その他

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 課外研修活動 I

W	時間	授業内容	授業方法
	1	チームビルディング研修	複合施設にて課外授業を受講
	2	チームビルディング研修	複合施設にて課外授業を受講
	3	チームビルディング研修	複合施設にて課外授業を受講
	4	大運動会	競技場にて、他校との交流を図る
	5	大運動会	競技場にて、他校との交流を図る
	6	大運動会	競技場にて、他校との交流を図る
	7	大運動会	競技場にて、他校との交流を図る
	8	大運動会	競技場にて、他校との交流を図る
	9	大運動会	競技場にて、他校との交流を図る
	10	スポーツ大会	球技、チームスポーツ
	11	スポーツ大会	球技、チームスポーツ
	12	スポーツ大会	球技、チームスポーツ
	13	アルビレックス新潟応援	地域スポーツ振興
	14	アルビレックス新潟応援	地域スポーツ振興
	15	クラス親睦会	コミュニケーション、ゲーム
	16	クラス親睦会	コミュニケーション、ゲーム
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
環境論入門	選択	64
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科3年	遠隔授業のみ実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
長谷川 慎一	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
税理士補助/経営指導、記帳代行	

(3) 授業概要

「環境学」は、学術分野としてまだ新しい分野である。現在では、「予防」の観点を取り入れることが積極的に行われており、地球温暖化原因物質の排出権取引や環境商品の開発が経営戦略の中に取り込まれている。すなわち環境戦略が企業経営において極めて重要性を増しているといえる。本科目では、環境分野の基礎的な「知識(理論)」と社会的な動向である「フィールド」を組み合わせ、学習を進めていく

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

- ①環境問題の体系を理解し、その解決のためにはどのような行動が求められているかを説明できる。
- ②国内外で行われている環境問題対策について、実際の動向を理論的に考察することができる

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①最終テスト ②意欲、授業態度 を5:5の比率で総合的に評価する。□

(6) 使用教材・教具

環境概論 勝田 悟

(7) 授業にあたっての留意点

(8) その他

【別紙】

授業計画書

科目名 環境論入門

W	時間	授業内容	授業方法
	1	第1章 環境の基礎	テキストを使った講義
	2	第1章 環境の基礎	テキストを使った講義
	3	第1章 環境の基礎	テキストを使った講義
	4	第1章 環境の基礎	テキストを使った講義
	5	第1章 環境の基礎	テキストを使った講義
	6	第1章 環境の基礎	テキストを使った講義
	7	第1章 環境の基礎	テキストを使った講義
	8	第1章 環境の基礎	テキストを使った講義
	9	第1章 環境の基礎	テキストを使った講義
	10	第1章 環境の基礎	テキストを使った講義
	11	第2章 環境の捉え方	テキストを使った講義
	12	第2章 環境の捉え方	テキストを使った講義
	13	第2章 環境の捉え方	テキストを使った講義
	14	第2章 環境の捉え方	テキストを使った講義
	15	第2章 環境の捉え方	テキストを使った講義
	16	第2章 環境の捉え方	テキストを使った講義
	17	第2章 環境の捉え方	テキストを使った講義
	18	第2章 環境の捉え方	テキストを使った講義
	19	第2章 環境の捉え方	テキストを使った講義
	20	第2章 環境の捉え方	テキストを使った講義
	21	第3章 公害から地球環境問題—技術開発と環境	テキストを使った講義
	22	第3章 公害から地球環境問題—技術開発と環境	テキストを使った講義
	23	第3章 公害から地球環境問題—技術開発と環境	テキストを使った講義
	24	第3章 公害から地球環境問題—技術開発と環境	テキストを使った講義
	25	第3章 公害から地球環境問題—技術開発と環境	テキストを使った講義
	26	第3章 公害から地球環境問題—技術開発と環境	テキストを使った講義
	27	第3章 公害から地球環境問題—技術開発と環境	テキストを使った講義
	28	第3章 公害から地球環境問題—技術開発と環境	テキストを使った講義
	29	第3章 公害から地球環境問題—技術開発と環境	テキストを使った講義
	30	第3章 公害から地球環境問題—技術開発と環境	テキストを使った講義

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 環境論入門

W	時間	授業内容	授業方法
	31	第4章 エネルギーの利用	テキストを使った講義
	32	第4章 エネルギーの利用	テキストを使った講義
	33	第4章 エネルギーの利用	テキストを使った講義
	34	第4章 エネルギーの利用	テキストを使った講義
	35	第4章 エネルギーの利用	テキストを使った講義
	36	第4章 エネルギーの利用	テキストを使った講義
	37	第4章 エネルギーの利用	テキストを使った講義
	38	第4章 エネルギーの利用	テキストを使った講義
	39	第4章 エネルギーの利用	テキストを使った講義
	40	第4章 エネルギーの利用	テキストを使った講義
	41	第5章 自然・文化と環境	テキストを使った講義
	42	第5章 自然・文化と環境	テキストを使った講義
	43	第5章 自然・文化と環境	テキストを使った講義
	44	第5章 自然・文化と環境	テキストを使った講義
	45	第5章 自然・文化と環境	テキストを使った講義
	46	第5章 自然・文化と環境	テキストを使った講義
	47	第5章 自然・文化と環境	テキストを使った講義
	48	第5章 自然・文化と環境	テキストを使った講義
	49	第5章 自然・文化と環境	テキストを使った講義
	50	第5章 自然・文化と環境	テキストを使った講義
	51	第6章 循環型社会の構築	テキストを使った講義
	52	第6章 循環型社会の構築	テキストを使った講義
	53	第6章 循環型社会の構築	テキストを使った講義
	54	第6章 循環型社会の構築	テキストを使った講義
	55	第6章 循環型社会の構築	テキストを使った講義
	56	第6章 循環型社会の構築	テキストを使った講義
	57	第6章 循環型社会の構築	テキストを使った講義
	58	第6章 循環型社会の構築	テキストを使った講義
	59	第6章 循環型社会の構築	テキストを使った講義
	60	第6章 循環型社会の構築	テキストを使った講義

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 環境論入門

W	時間	授業内容	授業方法
	61	評価テスト	事例発表・レポート作成
	62	評価テスト	事例発表・レポート作成
	63	評価テスト	事例発表・レポート作成
	64	評価テスト	事例発表・レポート作成
	65		
	66		
	67		
	68		
	69		
	70		
	71		
	72		
	73		
	74		
	75		
	76		
	77		
	78		
	79		
	80		
	81		
	82		
	83		
	84		
	85		
	86		
	87		
	88		
	89		
	90		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
起業スタディー	必修	18
対象学科・学年	授業形態	
事業創造学科1年、大学併修事業創造学科1年	対面授業のみ実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
長谷川 慎一	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
税理士補助/経営指導、記帳代行	

(3) 授業概要

起業に向けての必要書類や手続きなどをケースに合わせて学ぶ

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

起業に関する、ノウハウを理解し、必要書類を作成できる

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①課題提出 ②意欲、授業態度 を6:4の比率で総合的に評価する。

(6) 使用教材・教具

パソコン、筆記用具

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
基礎英語 I	必修	16
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科1年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
田中 史歩	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

(3) 授業概要

<p>株式会社リクルートマーケティングパートナーズが提供する「スタディサプリ」というアプリを活用して、eラーニング形式を進める。学生はスタディサプリをスマートフォンやタブレットにダウンロードし、各自で学習を進めていく。問題は基礎英語 I の範囲内では720レッスンあるが、どのレベルを選択するかは自由。1レッスン10～15分程度で終わるよう設計されている。</p>
--

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<p>グローバル社会という言葉が用いられてからしばらくが経過しているが日本人の英語力は世界水準よりも下回ったままである。そこで日常会話で用いられる、中学・高校で学んだ英語学習の定着、および基礎知識・技能と英語における知識量を増やすことを目的として実施する。第1段階としては一般的な日常表現や言い回しを理解し、自己紹介などのやりとりができるようになることを目標とする。次の段階では家族や仕事のことなど日常的に使われる表現を理解し、情報交換ができるようになることを目標とする。</p>
--

(5) 成績評価方法・基準

<p>教職員は管理画面を確認することで進捗状況や学習状況の把握ができる。こうした積極性や主体性を成績評価の軸としながらも、成績評価テストにより学習の習熟度を評価する。</p>

(6) 使用教材・教具

<p>スタディサプリ(アプリ)、スマートフォンまたはタブレット、ノート、筆記用具</p>
--

(7) 授業にあたっての留意点

<p>スタディサプリは自主的な学習を進めるeラーニングアプリであるため、日々の学習計画を定めて、これに基づいて計画的に学習を進めること。</p>
--

(8) その他

<p></p>

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 基礎英語 I

W	時間	授業内容	授業方法
	1	Week1 簡単なあいさつや呼びかけをしたり、それに答えたりできる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	2	Week2 私やあなたについての簡単な紹介ができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	3	Week3 あるものの名前・色・形などを言ったり、たずねたり、答えたりできる 言語材料 be動詞(現在形)	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	4	Week4 喜びや歓迎の気持ちを表現することができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	5	Week5 様子をたずねたり、答えたりできる 言語材料 be動詞(現在形)	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	6	Week6 連絡先をたずねたり、教えたりできる 言語材料 be動詞(現在形)	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	7	Week7 4桁までの数字が数えられる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	8	Week8 いろいろな場面で別れのあいさつができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	9	Week9 相手の話に対して、共感したあいづちを打つことができ	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	10	Week10 簡単なClassroom Englishを使える	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	11	Week11 好ききらいをたずねたり、答えたりできる 言語材料 一般動詞(現在形)	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	12	Week12 日本の年中行事について、簡単に説明することができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	13	Week13 相手を誘ったり、誘いに答えたりできる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	14	Week14 簡単な計算式を言い表すことができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	15	Week15 簡単な提案(命令形)をすることができる 言語材料 命令文	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	16	Week16 相手に聞き直すことができたり、相手の間違いを訂正したりできる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
基礎英語Ⅱ	必修	48
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科2年、3年、4年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
長谷川 慎一	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
税理士補助/経営指導、記帳代行	

(3) 授業概要

株式会社リクルートマーケティングパートナーズが提供する「スタディサプリ」というアプリを活用して、eラーニング形式で進める。学生はスタディサプリをスマートフォンやタブレットにダウンロードし、各自で学習を進めていく。問題は基礎英語Ⅰの範囲内では720レッスンあるが、どのレベルを選択するかは自由。1レッスン10～15分程度で終わるよう設計されている。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

グローバル社会という言葉が用いられてからしばらくが経過しているが日本人の英語力は世界水準よりも下回ったままである。そこで日常会話で用いられる、中学・高校で学んだ英語学習の定着、および基礎知識・技能と英語における知識量を増やすことを目的として実施する。第1段階としては一般的な日常表現や言い回しを理解し、自己紹介などのやりとりができるようになることを目標とする。次の段階では家族や仕事のことなど日常的に使われる表現を理解し、情報交換ができるようになることを目標とする。

(5) 成績評価方法・基準

教職員は管理画面を確認することで進捗状況や学習状況の把握ができる。こうした積極性や主体性を成績評価の軸としながらも、成績評価テストにより学習の習熟度を評価する。

(6) 使用教材・教具

スタディサプリ(アプリ)、スマートフォンまたはタブレット、ノート、筆記用具

(7) 授業にあたっての留意点

スタディサプリは自主的な学習を進めるeラーニングアプリであるため、日々の学習計画を定めて、これに基づいて計画的に学習を進めること。

(8) その他

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 基礎英語Ⅱ

W	時間	授業内容	授業方法
	1	Week17 住んでいる街についてたずねたり、説明したりできる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	2	Week18 色やサイズについてたずねたり、答えたり	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	3	Week19 人やものの場所をたずねたり、答えたりできる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	4	Week20 ある人物のことについてたずねたり、答え	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	5	Week21 会話の中であいづちを打つことができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	6	Week22 体調・身長・年齢をたずねたり、それに答えたりできる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	7	Week23 数や値段をたずねたり、答えたりできる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	8	Week24 感想や考え方をたずねたり、答えたりでき	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	9	Week25 交通手段をたずねたり、答えたりできる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	10	Week26 相手の行動や考えについて、理由を尋ね	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	11	Week27 誰のものか／どちらかを説明できる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	12	Week28 基本的な慣用表現を使って友人と電話でやりとりができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	13	Week29 相手の話にいろいろな表現で反応できる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	14	Week30 相手が電話に出ない場合に、簡単な表現	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	15	Week31 イラストや写真を描写したり、自分や他人の状況や行動を説明したりすることができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	16	Week32 人や物の現在の動作について尋ねることができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	1	確認テスト	
	2	確認テスト	
	3	確認テスト	
	4	確認テスト	
	5	確認テスト	
	6	確認テスト	
	7	確認テスト	
	8	確認テスト	
	9	確認テスト	
	10	確認テスト	
	11	確認テスト	
	12	確認テスト	
	13	確認テスト	
	14	確認テスト	

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
基礎演習	必修	16
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科1年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
田中 史歩	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

(3) 授業概要

就活、内定後に活かせる一般常識を実施する。誤った箇所は解説を確認し、繰り返し解く。進捗状況を学年教員で把握し管理する。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

学生の基礎学力の習熟状況が様々であるため、専門学校等に入学後、専門知識修得が難しい学生存在する。こうした学生だけでなく、全入学生に対して、基礎問題に取り組ませることで、全学生の基礎学力を底上げし、専門知識を養う授業へとスムーズに移行することを目指す。

(5) 成績評価方法・基準

授業態度：管理画面による進捗状況の把握で主体性・積極性などを評価する。また、期末にテストを行い成績評価の判断材料とする。

(6) 使用教材・教具

実教出版 一般常識&SPI、実況教育出版 SPI基礎から始める問題集

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 基礎演習

W	時間	授業内容	授業方法
	1	損益算	演習
	2	料金の割引	演習
	3	分割払い	演習
	4	代金の精算	演習
	5	方程式と不等式	演習
	6	長文の読み取り(英語)	演習
	7	英単語①	演習
	8	英単語②	演習
	9	漢字の読み書き	演習
	10	漢字の読み書き	演習
	11	慣用表現・単位・陰暦の呼称	演習
	12	受賞者・ベストセラーなど	演習
	13	日本地理	演習
	14	世界地理	演習
	15	日本の地形・県庁所在地・世界遺産・伝統工芸	演習
	16	世界の地形・主な国の首都	演習
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
起業家マインドと発想法	選択	64
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科4年	遠隔授業のみ実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
長谷川 慎一	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
税理士補助/経営指導、記帳代行	

(3) 授業概要

起業は、人生をかけたチャレンジ。そこに“失敗”の2文字は許されない。失敗しないための起業のポイントは“綿密な予測と準備”である。本科目では、起業を志す人にとって絶対必要なポイントを5つ(①人をうまく使うこと、②豊かな発想、③ビジネスモデルの構築とプレゼンテーション、④資金繰り計算、⑤法令遵守)にまとめ、それぞれについて事例を交えて解説し、起業のために必要な知識を習得する。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

- ①起業準備期、スタートアップ期における基礎知識や起業家に必要な3要素(主体性・独自性・創造性)が理解できる。
②損益分岐点売上高や所要運転資金の計算ができ、起業に関する自分自身の考え方や意見を確立できる。

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①最終テスト ②意欲、授業態度 を5:5の比率で総合的に評価する。□

(6) 使用教材・教具

『成功への設計図 超起業読本』齊藤 聡,産業能率大学出版部,2013年

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 起業家マインドと発想法

W	時間	授業内容	授業方法
	1	序章 起業するために	テキストを使った講義
	2	序章 起業するために	テキストを使った講義
	3	序章 起業するために	テキストを使った講義
	4	序章 起業するために	テキストを使った講義
	5	序章 起業するために	テキストを使った講義
	6	序章 起業するために	テキストを使った講義
	7	序章 起業するために	テキストを使った講義
	8	序章 起業するために	テキストを使った講義
	9	序章 起業するために	テキストを使った講義
	10	序章 起業するために	テキストを使った講義
	11	第1章 経営学の基本	テキストを使った講義
	12	第1章 経営学の基本	テキストを使った講義
	13	第1章 経営学の基本	テキストを使った講義
	14	第1章 経営学の基本	テキストを使った講義
	15	第1章 経営学の基本	テキストを使った講義
	16	第1章 経営学の基本	テキストを使った講義
	17	第1章 経営学の基本	テキストを使った講義
	18	第1章 経営学の基本	テキストを使った講義
	19	第1章 経営学の基本	テキストを使った講義
	20	第1章 経営学の基本	テキストを使った講義
	21	第2章 ビジネスプランを考える	テキストを使った講義
	22	第2章 ビジネスプランを考える	テキストを使った講義
	23	第2章 ビジネスプランを考える	テキストを使った講義
	24	第2章 ビジネスプランを考える	テキストを使った講義
	25	第2章 ビジネスプランを考える	テキストを使った講義
	26	第2章 ビジネスプランを考える	テキストを使った講義
	27	第2章 ビジネスプランを考える	テキストを使った講義
	28	第2章 ビジネスプランを考える	テキストを使った講義
	29	第2章 ビジネスプランを考える	テキストを使った講義
	30	第2章 ビジネスプランを考える	テキストを使った講義

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 起業家マインドと発想法

W	時間	授業内容	授業方法
	31	第3章 発想法	テキストを使った講義
	32	第3章 発想法	テキストを使った講義
	33	第3章 発想法	テキストを使った講義
	34	第3章 発想法	テキストを使った講義
	35	第3章 発想法	テキストを使った講義
	36	第3章 発想法	テキストを使った講義
	37	第3章 発想法	テキストを使った講義
	38	第3章 発想法	テキストを使った講義
	39	第3章 発想法	テキストを使った講義
	40	第3章 発想法	テキストを使った講義
	41	第4章 役に立つ基本的な課題と参考事例	テキストを使った講義
	42	第4章 役に立つ基本的な課題と参考事例	テキストを使った講義
	43	第4章 役に立つ基本的な課題と参考事例	テキストを使った講義
	44	第4章 役に立つ基本的な課題と参考事例	テキストを使った講義
	45	第4章 役に立つ基本的な課題と参考事例	テキストを使った講義
	46	第4章 役に立つ基本的な課題と参考事例	テキストを使った講義
	47	第4章 役に立つ基本的な課題と参考事例	テキストを使った講義
	48	第4章 役に立つ基本的な課題と参考事例	テキストを使った講義
	49	第4章 役に立つ基本的な課題と参考事例	テキストを使った講義
	50	第4章 役に立つ基本的な課題と参考事例	テキストを使った講義
	51	第5章 起業資金と運転資金	テキストを使った講義
	52	第5章 起業資金と運転資金	テキストを使った講義
	53	第5章 起業資金と運転資金	テキストを使った講義
	54	第5章 起業資金と運転資金	テキストを使った講義
	55	第5章 起業資金と運転資金	テキストを使った講義
	56	第5章 起業資金と運転資金	テキストを使った講義
	57	第5章 起業資金と運転資金	テキストを使った講義
	58	第5章 起業資金と運転資金	テキストを使った講義
	59	第5章 起業資金と運転資金	テキストを使った講義
	60	第5章 起業資金と運転資金	テキストを使った講義

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 起業家マインドと発想法

W	時間	授業内容	授業方法
	61	評価テスト	事例発表・レポート作成
	62	評価テスト	事例発表・レポート作成
	63	評価テスト	事例発表・レポート作成
	64	評価テスト	事例発表・レポート作成
	65		
	66		
	67		
	68		
	69		
	70		
	71		
	72		
	73		
	74		
	75		
	76		
	77		
	78		
	79		
	80		
	81		
	82		
	83		
	84		
	85		
	86		
	87		
	88		
	89		
	90		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
経営学概論	選択	63
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科1年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
長谷川 慎一	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
税理士補助/経営指導、記帳代行	

(3) 授業概要

経営やマネジメントの歴史や現状を学び、
経営の基本的な在り方や、進め方、発展のさせ方を身に着ける

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

経営学の基礎を学び、基本的な用語の意味や理解ができる。

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①課題提出 ②意欲、授業態度 を6:4の比率で総合的に評価する。

(6) 使用教材・教具

大学4年間の経営学見るだけノート、筆記用具

(7) 授業にあたっての留意点

(8) その他

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 経営学概論

W	時間	授業内容	授業方法
	1	経営とは？	講義
	2	経営とは？	講義
	3	経営とは？	講義
	4	企業と経営	テキストを使った講義
	5	〃	テキストを使った講義
	6	企業・会社の概念と諸形態	テキストを使った講義
	7	〃	テキストを使った講義
	8	所有・経営・支配と経営目的	テキストを使った講義
	9	〃	テキストを使った講義
	10	会社機関とコーポレートガバナンス	テキストを使った講義
	11	〃	テキストを使った講義
	12	日本型企业システム	テキストを使った講義
	13	〃	テキストを使った講義
	14	経営戦略の体系と理論	テキストを使った講義
	15	〃	テキストを使った講義
	16	全社経営	テキストを使った講義
	17	〃	テキストを使った講義
	18	事業戦略	テキストを使った講義
	19	〃	テキストを使った講義
	20	機能別戦略	テキストを使った講義
	21	〃	テキストを使った講義
	22	組織に関する基礎理論	テキストを使った講義
	23	〃	テキストを使った講義
	24	経営組織のの基本形態	テキストを使った講義
	25	〃	テキストを使った講義
	26	企業組織の諸形態	テキストを使った講義
	27	〃	テキストを使った講義
	28	組織の制度・管理・文化	テキストを使った講義
	29	〃	テキストを使った講義
	30	経営管理の基礎理論	テキストを使った講義

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 経営学概論

W	時間	授業内容	授業方法
	31		テキストを使った講義
	32	マネジメントの階層とプロセス	テキストを使った講義
	33		テキストを使った講義
	34	経営計画	テキストを使った講義
	35		テキストを使った講義
	36	コントロール	テキストを使った講義
	37		テキストを使った講義
	38	M&Aと買収防衛策	テキストを使った講義
	39		テキストを使った講義
	40	経営のグローバル化	テキストを使った講義
	41		テキストを使った講義
	42	企業経営と情報化	テキストを使った講義
	43		テキストを使った講義
	44	企業倫理	テキストを使った講義
	45		テキストを使った講義
	46	環境経営	テキストを使った講義
	47		テキストを使った講義
	48	経営戦略の立て方	テキストを使った講義と事例研究
	49	経営戦略の立て方	テキストを使った講義と事例研究
	50	経営戦略の立て方	テキストを使った講義と事例研究
	51	経営戦略の立て方	テキストを使った講義と事例研究
	52	経営戦略の立て方	テキストを使った講義と事例研究
	53	経営戦略の立て方	テキストを使った講義と事例研究
	54	経営戦略の立て方	テキストを使った講義と事例研究
	55	経営戦略の立て方	テキストを使った講義と事例研究
	56	経営戦略の立て方	テキストを使った講義と事例研究
	57	経営戦略の立て方	テキストを使った講義と事例研究
	58	マーケティングの進め方	テキストを使った講義と事例研究
	59	マーケティングの進め方	テキストを使った講義と事例研究
	60	マーケティングの進め方	テキストを使った講義と事例研究

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 経営学概論

W	時間	授業内容	授業方法
	61	評価テスト	事例発表・レポート作成
	62	評価テスト	事例発表・レポート作成
	63	評価テスト	事例発表・レポート作成
	64		
	65		
	66		
	67		
	68		
	69		
	70		
	71		
	72		
	73		
	74		
	75		
	76		
	77		
	78		
	79		
	80		
	81		
	82		
	83		
	84		
	85		
	86		
	87		
	88		
	89		
	90		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
経営管理論	選択	128
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科3年	遠隔授業のみ実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
長谷川 慎一	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
税理士補助/経営指導、記帳代行	

(3) 授業概要

経営管理は、組織の継続的な成長や存続に欠かせないものであり、組織で活動するすべての人が、これを理解しそれぞれの立場・役割で活かすことが大切である。
 本科目では、経営管理の基本的な考え方・理論、技法についての理解を深めるとともに、その知識を実践にどのように活用するかについて考察する。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

- ①経営管理の基本概念を説明できる。
- ②経営戦略から、ヒト、モノ、カネ、情報といった経営資源のマネジメント・ノウハウに至り、経営学の全体像を体系的に把握することができる。

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①最終テスト ②意欲、授業態度 を5:5の比率で総合的に評価する。□

(6) 使用教材・教具

『基礎からわかる経営管理』欧陽 菲,産業能率大学出版部,2015年

(7) 授業にあたっての留意点

(8) その他

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
経営戦略	選択	64
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科1年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
長谷川 慎一	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
税理士補助/経営指導、記帳代行	

(3) 授業概要

近代経営学の歴史もテイラーがその第一歩を印して以来約130年が経過している。その間企業経営に関する有用な理論や考え方がさまざま生まれた。本科目は現在に至るこの経営学の史的展開の中で、その歴史を彩った代表的な思想と偉人の足跡をたどるものである。また、それは戦略思想の歴史であると言うこともできるので、中心は戦略やマネジメントに関する思想ということになる。著名な経営思想に触れることで、経営の理論と実践をより深く理解できるはずである。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

- ①経営戦略や経営管理を中心とした代表的な経営思想を正しく理解し、経営学の歴史の流れを概観することで、今後の経営学の学習を促進させることができる。
- ②経営思想の流れをつかむことで、経営の理論的側面の理解を強化するとともに、それをもとに実際の企業を分析できる能力をさらに高めることができる

(5) 成績評価方法・基準

- ①レポート課題(基本・応用)を提出し、それぞれ60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、4単位を修得できる。または、②基本レポートを提出し、60点以上であれば合格となり、スクーリングを受講できる。スクーリングに合格すると、評価が確定し、4単位を修得できる。この場合、応用レポートの提出は不要

(6) 使用教材・教具

『経営戦略全史』三谷 宏治,ディスカヴァー・トゥエンティワン,2013年

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 経営戦略

W	時間	授業内容	授業方法
	1	はじめに	テキストを使った講義
	2	第1章 近代マネジメントの3つの源流	テキストを使った講義
	3	第1章 近代マネジメントの3つの源流	テキストを使った講義
	4	第1章 近代マネジメントの3つの源流	テキストを使った講義
	5	第1章 近代マネジメントの3つの源流	テキストを使った講義
	6	第1章 近代マネジメントの3つの源流	テキストを使った講義
	7	第1章 近代マネジメントの3つの源流	テキストを使った講義
	8	第1章 近代マネジメントの3つの源流	テキストを使った講義
	9	第1章 近代マネジメントの3つの源流	テキストを使った講義
	10	第1章 近代マネジメントの3つの源流	テキストを使った講義
	11	第1章 近代マネジメントの3つの源流	テキストを使った講義
	12	第2章 近代マネジメントの創世	テキストを使った講義
	13	第2章 近代マネジメントの創世	テキストを使った講義
	14	第2章 近代マネジメントの創世	テキストを使った講義
	15	第2章 近代マネジメントの創世	テキストを使った講義
	16	第2章 近代マネジメントの創世	テキストを使った講義
	17	第2章 近代マネジメントの創世	テキストを使った講義
	18	第2章 近代マネジメントの創世	テキストを使った講義
	19	第2章 近代マネジメントの創世	テキストを使った講義
	20	第2章 近代マネジメントの創世	テキストを使った講義
	21	第3章 ポジショニング派の大発展	テキストを使った講義
	22	第3章 ポジショニング派の大発展	テキストを使った講義
	23	第3章 ポジショニング派の大発展	テキストを使った講義
	24	第3章 ポジショニング派の大発展	テキストを使った講義
	25	第3章 ポジショニング派の大発展	テキストを使った講義
	26	第3章 ポジショニング派の大発展	テキストを使った講義
	27	第3章 ポジショニング派の大発展	テキストを使った講義
	28	第3章 ポジショニング派の大発展	テキストを使った講義
	29	第3章 ポジショニング派の大発展	テキストを使った講義
	30	第3章 ポジショニング派の大発展	テキストを使った講義

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 経営戦略

W	時間	授業内容	授業方法
	31	第4章 ケイパビリティ派の群雄割拠	テキストを使った講義
	32	第4章 ケイパビリティ派の群雄割拠	テキストを使った講義
	33	第4章 ケイパビリティ派の群雄割拠	テキストを使った講義
	34	第4章 ケイパビリティ派の群雄割拠	テキストを使った講義
	35	第4章 ケイパビリティ派の群雄割拠	テキストを使った講義
	36	第4章 ケイパビリティ派の群雄割拠	テキストを使った講義
	37	第4章 ケイパビリティ派の群雄割拠	テキストを使った講義
	38	第4章 ケイパビリティ派の群雄割拠	テキストを使った講義
	39	第4章 ケイパビリティ派の群雄割拠	テキストを使った講義
	40	第4章 ケイパビリティ派の群雄割拠	テキストを使った講義
	41	第5章 ポジショニングとケイパビリティの統合と整合	テキストを使った講義
	42	第5章 ポジショニングとケイパビリティの統合と整合	テキストを使った講義
	43	第5章 ポジショニングとケイパビリティの統合と整合	テキストを使った講義
	44	第5章 ポジショニングとケイパビリティの統合と整合	テキストを使った講義
	45	第5章 ポジショニングとケイパビリティの統合と整合	テキストを使った講義
	46	第5章 ポジショニングとケイパビリティの統合と整合	テキストを使った講義
	47	第5章 ポジショニングとケイパビリティの統合と整合	テキストを使った講義
	48	第5章 ポジショニングとケイパビリティの統合と整合	テキストを使った講義
	49	第5章 ポジショニングとケイパビリティの統合と整合	テキストを使った講義
	50	第5章 ポジショニングとケイパビリティの統合と整合	テキストを使った講義
	51	第6章 21世紀の経営環境と戦略緒論	テキストを使った講義
	52	第6章 21世紀の経営環境と戦略緒論	テキストを使った講義
	53	第6章 21世紀の経営環境と戦略緒論	テキストを使った講義
	54	第6章 21世紀の経営環境と戦略緒論	テキストを使った講義
	55	第6章 21世紀の経営環境と戦略緒論	テキストを使った講義
	56	第6章 21世紀の経営環境と戦略緒論	テキストを使った講義
	57	第6章 21世紀の経営環境と戦略緒論	テキストを使った講義
	58	第6章 21世紀の経営環境と戦略緒論	テキストを使った講義
	59	第6章 21世紀の経営環境と戦略緒論	テキストを使った講義
	60	第6章 21世紀の経営環境と戦略緒論	テキストを使った講義

【別紙】

授業計画書

科目名 経営戦略

W	時間	授業内容	授業方法
	61	評価テスト	事例発表・レポート作成
	62	評価テスト	事例発表・レポート作成
	63	評価テスト	事例発表・レポート作成
	64	評価テスト	事例発表・レポート作成
	65		
	66		
	67		
	68		
	69		
	70		
	71		
	72		
	73		
	74		
	75		
	76		
	77		
	78		
	79		
	80		
	81		
	82		
	83		
	84		
	85		
	86		
	87		
	88		
	89		
	90		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
経営戦略 実践論	選択	128
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科4年	遠隔授業のみ実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
長谷川 慎一	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
税理士補助/経営指導、記帳代行	

(3) 授業概要

本科目では、利潤追求活動の指針となる経営戦略概念全般を学んでいく。扱われる戦略概念は、成長戦略から競争戦略、組織による戦略の実行、そして戦略を実行する組織の特性やその具体的事例までも様々に言及する。
テキストでは、学ぶべき理論や概念の内容が単に説明されるだけでなく、その理論や概念の有効性の論理的根拠にまでさかのぼって説明される

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

- ①企業活動を戦略の観点から理解でき、戦略概念を利用して活動ポイントを説明できる。
- ②企業の活動実態から、当該企業がどのような論理に基づいて戦略を構築・実行しているかが判断できる。

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①最終テスト ②意欲、授業態度 を5:5の比率で総合的に評価する。□

(6) 使用教材・教具

『使える！経営戦略111 第2版』平田 譲二/岸本 太一,中央経済社,2022年

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 経営戦略 実践論

W	時間	授業内容	授業方法
	1	経営戦略を学ぶ前に	テキストを使った講義
	2	経営戦略を学ぶ前に	テキストを使った講義
	3	経営戦略を学ぶ前に	テキストを使った講義
	4	経営戦略を学ぶ前に	テキストを使った講義
	5	経営戦略の基本概念	テキストを使った講義
	6	経営戦略の基本概念	テキストを使った講義
	7	経営戦略の基本概念	テキストを使った講義
	8	経営戦略の基本概念	テキストを使った講義
	9	経営戦略の基本概念	テキストを使った講義
	10	経営戦略の基本概念	テキストを使った講義
	11	経営戦略の基本概念	テキストを使った講義
	12	経営戦略の基本概念	テキストを使った講義
	13	経営戦略の基本概念	テキストを使った講義
	14	経営戦略の基本概念	テキストを使った講義
	15	経営戦略の基本概念	テキストを使った講義
	16	経営戦略の基本概念	テキストを使った講義
	17	経営戦略の基本概念	テキストを使った講義
	18	経営戦略の基本概念	テキストを使った講義
	19	経営戦略の基本概念	テキストを使った講義
	20	経営戦略の基本概念	テキストを使った講義
	21	成長戦略	テキストを使った講義
	22	成長戦略	テキストを使った講義
	23	成長戦略	テキストを使った講義
	24	成長戦略	テキストを使った講義
	25	成長戦略	テキストを使った講義
	26	成長戦略	テキストを使った講義
	27	成長戦略	テキストを使った講義
	28	成長戦略	テキストを使った講義
	29	成長戦略	テキストを使った講義
	30	成長戦略	テキストを使った講義

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 経営戦略 実践論

W	時間	授業内容	授業方法
	31	成長戦略	テキストを使った講義
	32	成長戦略	テキストを使った講義
	33	成長戦略	テキストを使った講義
	34	成長戦略	テキストを使った講義
	35	成長戦略	テキストを使った講義
	36	成長戦略の論理	テキストを使った講義
	37	成長戦略の論理	テキストを使った講義
	38	成長戦略の論理	テキストを使った講義
	39	成長戦略の論理	テキストを使った講義
	40	成長戦略の論理	テキストを使った講義
	41	成長戦略の論理	テキストを使った講義
	42	成長戦略の論理	テキストを使った講義
	43	成長戦略の論理	テキストを使った講義
	44	成長戦略の論理	テキストを使った講義
	45	成長戦略の論理	テキストを使った講義
	46	成長戦略の論理	テキストを使った講義
	47	成長戦略の論理	テキストを使った講義
	48	成長戦略の論理	テキストを使った講義
	49	成長戦略の論理	テキストを使った講義
	50	成長戦略の論理	テキストを使った講義
	51	グローバル化の戦略	テキストを使った講義
	52	グローバル化の戦略	テキストを使った講義
	53	グローバル化の戦略	テキストを使った講義
	54	グローバル化の戦略	テキストを使った講義
	55	グローバル化の戦略	テキストを使った講義
	56	グローバル化の戦略	テキストを使った講義
	57	グローバル化の戦略	テキストを使った講義
	58	グローバル化の戦略	テキストを使った講義
	59	グローバル化の戦略	テキストを使った講義
	60	グローバル化の戦略	テキストを使った講義

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 経営戦略 実践論

W	時間	授業内容	授業方法
	61	グローバル化の戦略	テキストを使った講義
	62	グローバル化の戦略	テキストを使った講義
	63	グローバル化の戦略	テキストを使った講義
	64	グローバル化の戦略	テキストを使った講義
	65	グローバル化の戦略	テキストを使った講義
	66	ポジショニングの戦略	テキストを使った講義
	67	ポジショニングの戦略	テキストを使った講義
	68	ポジショニングの戦略	テキストを使った講義
	69	ポジショニングの戦略	テキストを使った講義
	70	ポジショニングの戦略	テキストを使った講義
	71	ポジショニングの戦略	テキストを使った講義
	72	ポジショニングの戦略	テキストを使った講義
	73	ポジショニングの戦略	テキストを使った講義
	74	ポジショニングの戦略	テキストを使った講義
	75	ポジショニングの戦略	テキストを使った講義
	76	ポジショニングの戦略	テキストを使った講義
	77	ポジショニングの戦略	テキストを使った講義
	78	ポジショニングの戦略	テキストを使った講義
	79	ポジショニングの戦略	テキストを使った講義
	80	ポジショニングの戦略	テキストを使った講義
	81	ポジショニングの戦略への批判	テキストを使った講義
	82	ポジショニングの戦略への批判	テキストを使った講義
	83	ポジショニングの戦略への批判	テキストを使った講義
	84	ポジショニングの戦略への批判	テキストを使った講義
	85	ポジショニングの戦略への批判	テキストを使った講義
	86	ポジショニングの戦略への批判	テキストを使った講義
	87	ポジショニングの戦略への批判	テキストを使った講義
	88	ポジショニングの戦略への批判	テキストを使った講義
	89	ポジショニングの戦略への批判	テキストを使った講義
	90	ポジショニングの戦略への批判	テキストを使った講義

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 経営戦略 実践論

W	時間	授業内容	授業方法
	91	ポジショニングの戦略への批判	テキストを使った講義
	92	ポジショニングの戦略への批判	テキストを使った講義
	93	ポジショニングの戦略への批判	テキストを使った講義
	94	ポジショニングの戦略への批判	テキストを使った講義
	95	ポジショニングの戦略への批判	テキストを使った講義
	96	市場適合の戦略	テキストを使った講義
	97	市場適合の戦略	テキストを使った講義
	98	市場適合の戦略	テキストを使った講義
	99	市場適合の戦略	テキストを使った講義
	100	市場適合の戦略	テキストを使った講義
	101	ビジネスシステムと技術	テキストを使った講義
	102	ビジネスシステムと技術	テキストを使った講義
	103	ビジネスシステムと技術	テキストを使った講義
	104	ビジネスシステムと技術	テキストを使った講義
	105	ビジネスシステムと技術	テキストを使った講義
	106	ビジネスシステムと技術	テキストを使った講義
	107	ビジネスシステムと技術	テキストを使った講義
	108	ビジネスシステムと技術	テキストを使った講義
	109	ビジネスシステムと技術	テキストを使った講義
	110	ビジネスシステムと技術	テキストを使った講義
	111	製品の構造と差別化〔ほか〕	テキストを使った講義
	112	製品の構造と差別化〔ほか〕	テキストを使った講義
	113	製品の構造と差別化〔ほか〕	テキストを使った講義
	114	製品の構造と差別化〔ほか〕	テキストを使った講義
	115	製品の構造と差別化〔ほか〕	テキストを使った講義
	116	製品の構造と差別化〔ほか〕	テキストを使った講義
	117	製品の構造と差別化〔ほか〕	テキストを使った講義
	118	製品の構造と差別化〔ほか〕	テキストを使った講義
	119	製品の構造と差別化〔ほか〕	テキストを使った講義
	120	製品の構造と差別化〔ほか〕	テキストを使った講義

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 経営学概論

W	時間	授業内容	授業方法
	121	製品の構造と差別化〔ほか	テキストを使った講義
	122	製品の構造と差別化〔ほか	テキストを使った講義
	123	製品の構造と差別化〔ほか	テキストを使った講義
	124	製品の構造と差別化〔ほか	テキストを使った講義
	125	評価テスト	事例発表・レポート作成
	126	評価テスト	事例発表・レポート作成
	127	評価テスト	事例発表・レポート作成
	128	評価テスト	事例発表・レポート作成

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
経営戦略論	選択	64
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科3年	遠隔授業のみ実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
長谷川 慎一	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
税理士補助/経営指導、記帳代行	

(3) 授業概要

経営戦略は、あらゆる企業で策定されており、企業がさらなる発展・成長をするには、経営幹部のみならず、すべての構成員が経営戦略の枠組みを共有化することが重要である。
 本科目では、経営戦略が企業経営上どのような意義をもつのかを理解するとともに、具体的な事例に触れながら戦略を概説し、戦略的発想をもって実践に取り組める知識・スキルを習得する

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

- ①テキストに出てくる経営戦略の基本的な考え方やキーワードについて理解し、大まかなフレームワークを説明することができる。
- ②現実の動きと照らし合わせながら、各企業の経営戦略の基本を推察し、意見を述べることができる。

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①最終テスト ②意欲、授業態度 を5:5の比率で総合的に評価する。□

(6) 使用教材・教具

経営戦略論 石井 淳像蔵 他

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 経営戦略論

W	時間	授業内容	授業方法
	1	1 経営戦略とは何か	テキストを使った講義
	2	1 経営戦略とは何か	テキストを使った講義
	3	1 経営戦略とは何か	テキストを使った講義
	4	1 経営戦略とは何か	テキストを使った講義
	5	1 経営戦略とは何か	テキストを使った講義
	6	1 経営戦略とは何か	テキストを使った講義
	7	1 経営戦略とは何か	テキストを使った講義
	8	1 経営戦略とは何か	テキストを使った講義
	9	2 競争戦略	テキストを使った講義
	10	2 競争戦略	テキストを使った講義
	11	2 競争戦略	テキストを使った講義
	12	2 競争戦略	テキストを使った講義
	13	2 競争戦略	テキストを使った講義
	14	2 競争戦略	テキストを使った講義
	15	2 競争戦略	テキストを使った講義
	16	2 競争戦略	テキストを使った講義
	17	3 事業システム戦略	テキストを使った講義
	18	3 事業システム戦略	テキストを使った講義
	19	3 事業システム戦略	テキストを使った講義
	20	3 事業システム戦略	テキストを使った講義
	21	3 事業システム戦略	テキストを使った講義
	22	3 事業システム戦略	テキストを使った講義
	23	3 事業システム戦略	テキストを使った講義
	24	3 事業システム戦略	テキストを使った講義
	25	4 ドメインの定義	テキストを使った講義
	26	4 ドメインの定義	テキストを使った講義
	27	4 ドメインの定義	テキストを使った講義
	28	4 ドメインの定義	テキストを使った講義
	29	4 ドメインの定義	テキストを使った講義
	30	4 ドメインの定義	テキストを使った講義

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 経営戦略論

W	時間	授業内容	授業方法
	31	4 ドメインの定義	テキストを使った講義
	32	4 ドメインの定義	テキストを使った講義
	33	5 経営資源展開の戦略	テキストを使った講義
	34	5 経営資源展開の戦略	テキストを使った講義
	35	5 経営資源展開の戦略	テキストを使った講義
	36	5 経営資源展開の戦略	テキストを使った講義
	37	5 経営資源展開の戦略	テキストを使った講義
	38	5 経営資源展開の戦略	テキストを使った講義
	39	5 経営資源展開の戦略	テキストを使った講義
	40	5 経営資源展開の戦略	テキストを使った講義
	41	6 経営戦略と組織	テキストを使った講義
	42	6 経営戦略と組織	テキストを使った講義
	43	6 経営戦略と組織	テキストを使った講義
	44	6 経営戦略と組織	テキストを使った講義
	45	6 経営戦略と組織	テキストを使った講義
	46	6 経営戦略と組織	テキストを使った講義
	47	6 経営戦略と組織	テキストを使った講義
	48	6 経営戦略と組織	テキストを使った講義
	49	7 企業革新	テキストを使った講義
	50	7 企業革新	テキストを使った講義
	51	7 企業革新	テキストを使った講義
	52	7 企業革新	テキストを使った講義
	53	7 企業革新	テキストを使った講義
	54	7 企業革新	テキストを使った講義
	55	7 企業革新	テキストを使った講義
	56	7 企業革新	テキストを使った講義
	57	8 経営戦略のパラダイム	テキストを使った講義
	58	8 経営戦略のパラダイム	テキストを使った講義
	59	8 経営戦略のパラダイム	テキストを使った講義
	60	8 経営戦略のパラダイム	テキストを使った講義

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 経営戦略論

W	時間	授業内容	授業方法
	61	評価テスト	事例発表・レポート作成
	62	評価テスト	事例発表・レポート作成
	63	評価テスト	事例発表・レポート作成
	64	評価テスト	事例発表・レポート作成
	65		
	66		
	67		
	68		
	69		
	70		
	71		
	72		
	73		
	74		
	75		
	76		
	77		
	78		
	79		
	80		
	81		
	82		
	83		
	84		
	85		
	86		
	87		
	88		
	89		
	90		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
経済学	選択	128
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科2年	遠隔授業のみ実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
長谷川 慎一	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
税理士補助/経営指導、記帳代行	

(3) 授業概要

本科目では、いくつかある経済学の中で、スタンダードなものを学んでいく。いわゆる、ミクロ経済学・マクロ経済学と言われているものである。標準的な個人あるいは家計および企業は、与えられた条件の下で、どのように合理的な消費や選択をするものなのか、あるいはしていけばいいのか、という消費行動と企業活動の理論がミクロ経済学である。また、広く大きく一国全体として、生産と消費は国を挟んでどのようになっているのか、政府の経済政策はどうなっているのか、これらを見ていくのがマクロ経済学である。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

- ①経済学の基礎知識を基に経済現象の相互関連や因果関係について説明できる。
- ②経済のグローバル化と今後のわが国の経済政策について考察できる。

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①最終テスト ②意欲、授業態度 を5:5の比率で総合的に評価する。□

(6) 使用教材・教具

『入門経済学 第4版』井堀 利宏,新世社,2021年

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 経済学

W	時間	授業内容	授業方法
	1	経済学とは何か	テキストを使った講義
	2	経済学とは何か	テキストを使った講義
	3	経済学とは何か	テキストを使った講義
	4	経済学とは何か	テキストを使った講義
	5	経済学とは何か	テキストを使った講義
	6	経済学とは何か	テキストを使った講義
	7	経済学とは何か	テキストを使った講義
	8	経済学とは何か	テキストを使った講義
	9	経済学とは何か	テキストを使った講義
	10	経済学とは何か	テキストを使った講義
	11	家計	テキストを使った講義
	12	家計	テキストを使った講義
	13	家計	テキストを使った講義
	14	家計	テキストを使った講義
	15	家計	テキストを使った講義
	16	家計	テキストを使った講義
	17	家計	テキストを使った講義
	18	家計	テキストを使った講義
	19	家計	テキストを使った講義
	20	家計	テキストを使った講義
	21	企業	テキストを使った講義
	22	企業	テキストを使った講義
	23	企業	テキストを使った講義
	24	企業	テキストを使った講義
	25	企業	テキストを使った講義
	26	企業	テキストを使った講義
	27	企業	テキストを使った講義
	28	企業	テキストを使った講義
	29	企業	テキストを使った講義
	30	企業	テキストを使った講義

【別紙】

授業計画書

科目名 経済学

W	時間	授業内容	授業方法
	31	政府	テキストを使った講義
	32	政府	テキストを使った講義
	33	政府	テキストを使った講義
	34	政府	テキストを使った講義
	35	政府	テキストを使った講義
	36	政府	テキストを使った講義
	37	政府	テキストを使った講義
	38	政府	テキストを使った講義
	39	政府	テキストを使った講義
	40	政府	テキストを使った講義
	41	金融	テキストを使った講義
	42	金融	テキストを使った講義
	43	金融	テキストを使った講義
	44	金融	テキストを使った講義
	45	金融	テキストを使った講義
	46	金融	テキストを使った講義
	47	金融	テキストを使った講義
	48	金融	テキストを使った講義
	49	金融	テキストを使った講義
	50	金融	テキストを使った講義
	51	ミクロ市場	テキストを使った講義
	52	ミクロ市場	テキストを使った講義
	53	ミクロ市場	テキストを使った講義
	54	ミクロ市場	テキストを使った講義
	55	ミクロ市場	テキストを使った講義
	56	ミクロ市場	テキストを使った講義
	57	ミクロ市場	テキストを使った講義
	58	ミクロ市場	テキストを使った講義
	59	ミクロ市場	テキストを使った講義
	60	ミクロ市場	テキストを使った講義

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 経済学

W	時間	授業内容	授業方法
	61	ミクロ政策	テキストを使った講義
	62	ミクロ政策	テキストを使った講義
	63	ミクロ政策	テキストを使った講義
	64	ミクロ政策	テキストを使った講義
	65	ミクロ政策	テキストを使った講義
	66	ミクロ政策	テキストを使った講義
	67	ミクロ政策	テキストを使った講義
	68	ミクロ政策	テキストを使った講義
	69	ミクロ政策	テキストを使った講義
	70	ミクロ政策	テキストを使った講義
	71	マクロ市場	テキストを使った講義
	72	マクロ市場	テキストを使った講義
	73	マクロ市場	テキストを使った講義
	74	マクロ市場	テキストを使った講義
	75	マクロ市場	テキストを使った講義
	76	マクロ市場	テキストを使った講義
	77	マクロ市場	テキストを使った講義
	78	マクロ市場	テキストを使った講義
	79	マクロ市場	テキストを使った講義
	80	マクロ市場	テキストを使った講義
	81	マクロ政策	テキストを使った講義
	82	マクロ政策	テキストを使った講義
	83	マクロ政策	テキストを使った講義
	84	マクロ政策	テキストを使った講義
	85	マクロ政策	テキストを使った講義
	86	マクロ政策	テキストを使った講義
	87	マクロ政策	テキストを使った講義
	88	マクロ政策	テキストを使った講義
	89	マクロ政策	テキストを使った講義
	90	マクロ政策	テキストを使った講義

【別紙】

授業計画書

科目名 経済学

W	時間	授業内容	授業方法
	91	日本経済	テキストを使った講義
	92	日本経済	テキストを使った講義
	93	日本経済	テキストを使った講義
	94	日本経済	テキストを使った講義
	95	日本経済	テキストを使った講義
	96	日本経済	テキストを使った講義
	97	日本経済	テキストを使った講義
	98	日本経済	テキストを使った講義
	99	日本経済	テキストを使った講義
	100	日本経済	テキストを使った講義
	101	国際経済	テキストを使った講義
	102	国際経済	テキストを使った講義
	103	国際経済	テキストを使った講義
	104	国際経済	テキストを使った講義
	105	国際経済	テキストを使った講義
	106	国際経済	テキストを使った講義
	107	国際経済	テキストを使った講義
	108	国際経済	テキストを使った講義
	109	国際経済	テキストを使った講義
	110	国際経済	テキストを使った講義
	111	経済学の諸問題	テキストを使った講義
	112	経済学の諸問題	テキストを使った講義
	113	経済学の諸問題	テキストを使った講義
	114	経済学の諸問題	テキストを使った講義
	115	経済学の諸問題	テキストを使った講義
	116	経済学の諸問題	テキストを使った講義
	117	経済学の諸問題	テキストを使った講義
	118	経済学の諸問題	テキストを使った講義
	119	経済学の諸問題	テキストを使った講義
	120	経済学の諸問題	テキストを使った講義

【別紙】

授業計画書

科目名 経済学

W	時間	授業内容	授業方法
	121	評価テスト	事例発表・レポート作成
	122	評価テスト	事例発表・レポート作成
	123	評価テスト	事例発表・レポート作成
	124	評価テスト	事例発表・レポート作成
	125	評価テスト	事例発表・レポート作成
	126	評価テスト	事例発表・レポート作成
	127	評価テスト	事例発表・レポート作成
	128	評価テスト	事例発表・レポート作成

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
計算実務	必修	55
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科1年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
長谷川 慎一	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
税理士補助/経営指導、記帳代行	

(3) 授業概要

電卓を使用して、乗算、除算、見取算、複合残、伝票残を正確かつ迅速に計算できるよう、計算方法や電卓技術を習得する。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

目標検定：電卓技能検定2級以上

(5) 成績評価方法・基準

当該授業への出席率80%以上を基本として、①検定試験の結果、②模擬試験の結果、③課題・演習の提出を2:4:4で評価する。

(6) 使用教材・教具

説明・演習用問題プリント、筆記用具、電卓

(7) 授業にあたっての留意点

特になし

(8) その他

特になし

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 計算実務

W	時間	授業内容	授業方法
	1	電卓検定について	動機付け
	2	電卓機能説明	講義
	3	計算練習	講義・演習
	4	計算練習(見取算)	講義・演習
	5	計算練習(見取算)	講義・演習
	6	計算練習(見取算)	講義・演習
	7	計算練習(乗算)	講義・演習
	8	計算練習(乗算)	講義・演習
	9	計算練習(乗算)	講義・演習
	10	計算練習(除算)	講義・演習
	11	計算練習(除算)	講義・演習
	12	計算練習(除算)	講義・演習
	13	計算練習(複合算)	講義・演習
	14	計算練習(複合算)	講義・演習
	15	計算練習(複合算)	講義・演習
	16	計算練習(伝票算)	講義・演習
	17	計算練習(伝票算)	講義・演習
	18	計算練習(伝票算)	講義・演習
	19	模擬練習(電卓検定3級問題)	講義・演習
	20	模擬練習(電卓検定3級問題)	講義・演習
	21	模擬練習(電卓検定3級問題)	講義・演習
	22	模擬練習(電卓検定3級問題)	講義・演習
	23	模擬練習(電卓検定3級問題)	講義・演習
	24	模擬練習(電卓検定3級問題)	講義・演習
	25	模擬練習(電卓検定3級問題)	講義・演習
	26	模擬練習(電卓検定3級問題)	講義・演習
	27	模擬練習(電卓検定3級問題)	講義・演習
	28	模擬練習(電卓検定3級問題)	講義・演習
	29	模擬練習(電卓検定3級問題)	講義・演習
	30	模擬練習(電卓検定3級問題)	講義・演習

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 計算実務

W	時間	授業内容	授業方法
	31	模擬練習(電卓検定2級問題)	講義・演習
	32	模擬練習(電卓検定2級問題)	講義・演習
	33	模擬練習(電卓検定2級問題)	講義・演習
	34	模擬練習(電卓検定2級問題)	講義・演習
	35	模擬練習(電卓検定2級問題)	講義・演習
	36	模擬練習(電卓検定2級問題)	講義・演習
	37	模擬練習(電卓検定2級問題)	講義・演習
	38	模擬練習(電卓検定2級問題)	講義・演習
	39	模擬練習(電卓検定2級問題)	講義・演習
	40	模擬練習(電卓検定2級問題)	講義・演習
	41	模擬練習(電卓検定2級問題)	講義・演習
	42	模擬練習(電卓検定2級問題)	講義・演習
	43	模擬練習(電卓検定2級問題)	講義・演習
	44	模擬練習(電卓検定2級問題)	講義・演習
	45	模擬練習(電卓検定2級問題)	講義・演習
	46	模擬練習(電卓検定2級問題)	講義・演習
	47	模擬練習(電卓検定2級問題)	講義・演習
	48	模擬練習(電卓検定2級問題)	講義・演習
	49	模擬練習(電卓検定2級問題)	講義・演習
	50	模擬練習(電卓検定2級問題)	講義・演習
	51	模擬練習(電卓検定2級問題)	講義・演習
	52	模擬練習(電卓検定2級問題)	講義・演習
	53	模擬練習(電卓検定2級問題)	講義・演習
	54	模擬練習(電卓検定2級問題)	講義・演習
	55	模擬練習(電卓検定2級問題)	講義・演習
	56		
	57		
	58		
	59		
	60		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
現代企業にみる日本経済	選択	32
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科1年	遠隔授業のみ実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
長谷川 慎一	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
税理士補助/経営指導、記帳代行	

(3) 授業概要

日本経済の「成長の奇跡」を引き起こした、終身雇用や年功序列といった日本企業の独自性とその優位性を失いかけている。
 本科目では、企業の形態、組織構造、経営の仕組み、戦略、政府との関係などの様々な観点から、現代の企業とは何かについて明らかにしていく。また、企業の社会的責任、DX、グローバル化などの今日的課題についても学習する。このような現代企業の取り組みを通じて、日本経済がさらに発展するための可能性を探る。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

- ①テキストに記載されている専門用語を説明でき、現代企業の仕組みと主な理論を理解できる。
 ②現代企業の経営課題に関心を持ち、課題を設定して、その解決に向けた方策を考えることができる。

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①最終テスト ②意欲、授業態度 を5:5の比率で総合的に評価する。□

(6) 使用教材・教具

『現代企業にみる日本経済』齊藤 聡,産業能率大学出版部,2022年

(7) 授業にあたっての留意点

(8) その他

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 現代企業にみる日本経済

W	時間	授業内容	授業方法
	1	はじめに	テキストを使った講義
	2	第1章 現代企業の形成	テキストを使った講義
	3	第1章 現代企業の形成	テキストを使った講義
	4	第1章 現代企業の形成	テキストを使った講義
	5	第1章 現代企業の形成	テキストを使った講義
	6	第2章 企業の定義	テキストを使った講義
	7	第2章 企業の定義	テキストを使った講義
	8	第2章 企業の定義	テキストを使った講義
	9	第2章 企業の定義	テキストを使った講義
	10	第2章 企業の定義	テキストを使った講義
	11	第3章 企業の統治	テキストを使った講義
	12	第3章 企業の統治	テキストを使った講義
	13	第3章 企業の統治	テキストを使った講義
	14	第3章 企業の統治	テキストを使った講義
	15	第3章 企業の統治	テキストを使った講義
	16	第4章 企業グループ	テキストを使った講義
	17	第4章 企業グループ	テキストを使った講義
	18	第4章 企業グループ	テキストを使った講義
	19	第4章 企業グループ	テキストを使った講義
	20	第4章 企業グループ	テキストを使った講義
	21	第5章 会社の仕組み	テキストを使った講義
	22	第5章 会社の仕組み	テキストを使った講義
	23	第5章 会社の仕組み	テキストを使った講義
	24	第5章 会社の仕組み	テキストを使った講義
	25	第5章 会社の仕組み	テキストを使った講義
	26	第6章 企業の戦略	テキストを使った講義
	27	第6章 企業の戦略	テキストを使った講義
	28	第6章 企業の戦略	テキストを使った講義
	29	第6章 企業の戦略	テキストを使った講義
	30	第6章 企業の戦略	テキストを使った講義

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
社会学概論	選択	64
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科2年	遠隔授業のみ実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
長谷川 慎一	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
税理士補助/経営指導、記帳代行	

(3) 授業概要

社会学は「社会秩序はいかにして可能か」を問う学問である。本科目では、まず、社会学の誕生から現代の社会学者たちの学説を学習する。次に、身近な社会問題を取り上げて、それらを社会学的な視点で考察することで理解を深めていく。この学習を通じて、現代社会の構造と機能について、社会学の様々な観点から問い直せる力を身につけてほしい

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

- ①古典から現代社会学までの学説を理解し、現代社会で生じる様々な現象を社会学的視点から考えられる。
- ②社会学者たちの思考を学び、現代社会の諸問題について社会学の用語を用いて観察できる

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①最終テスト ②意欲、授業態度 を5:5の比率で総合的に評価する。□

(6) 使用教材・教具

『社会学概論』小林 孝雄,産業能率大学出版部,2023年

(7) 授業にあたっての留意点

(8) その他

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 社会学概論

W	時間	授業内容	授業方法
	1	「社会」学のガイダンス	テキストを使った講義
	2	「社会」学のガイダンス	テキストを使った講義
	3	「社会」学のガイダンス	テキストを使った講義
	4	社会秩序はいかにして可能か	テキストを使った講義
	5	社会秩序はいかにして可能か	テキストを使った講義
	6	社会秩序はいかにして可能か	テキストを使った講義
	7	社会秩序はいかにして可能か	テキストを使った講義
	8	社会秩序はいかにして可能か	テキストを使った講義
	9	社会秩序はいかにして可能か	テキストを使った講義
	10	社会秩序はいかにして可能か	テキストを使った講義
	11	社会集団と組織	テキストを使った講義
	12	社会集団と組織	テキストを使った講義
	13	社会集団と組織	テキストを使った講義
	14	社会集団と組織	テキストを使った講義
	15	社会集団と組織	テキストを使った講義
	16	地位と役割	テキストを使った講義
	17	地位と役割	テキストを使った講義
	18	地位と役割	テキストを使った講義
	19	地位と役割	テキストを使った講義
	20	地位と役割	テキストを使った講義
	21	アイデンティティ	テキストを使った講義
	22	アイデンティティ	テキストを使った講義
	23	アイデンティティ	テキストを使った講義
	24	アイデンティティ	テキストを使った講義
	25	アイデンティティ	テキストを使った講義
	26	意図せざる結果	テキストを使った講義
	27	意図せざる結果	テキストを使った講義
	28	意図せざる結果	テキストを使った講義
	29	意図せざる結果	テキストを使った講義
	30	意図せざる結果	

【別紙】

授業計画書

科目名 社会学概論

W	時間	授業内容	授業方法
	31	社会問題の社会学	テキストを使った講義
	32	社会問題の社会学	テキストを使った講義
	33	社会問題の社会学	テキストを使った講義
	34	社会問題の社会学	テキストを使った講義
	35	社会問題の社会学	テキストを使った講義
	36	社会的包摂と社会的排除	テキストを使った講義
	37	社会的包摂と社会的排除	テキストを使った講義
	38	社会的包摂と社会的排除	テキストを使った講義
	39	社会的包摂と社会的排除	テキストを使った講義
	40	社会的包摂と社会的排除	テキストを使った講義
	41	エゴイズムとアノミー	テキストを使った講義
	42	エゴイズムとアノミー	テキストを使った講義
	43	エゴイズムとアノミー	テキストを使った講義
	44	エゴイズムとアノミー	テキストを使った講義
	45	エゴイズムとアノミー	テキストを使った講義
	46	行為・相互作用・システム	テキストを使った講義
	47	行為・相互作用・システム	テキストを使った講義
	48	行為・相互作用・システム	テキストを使った講義
	49	行為・相互作用・システム	テキストを使った講義
	50	行為・相互作用・システム	テキストを使った講義
	51	行政と政治	テキストを使った講義
	52	行政と政治	テキストを使った講義
	53	行政と政治	テキストを使った講義
	54	行政と政治	テキストを使った講義
	55	行政と政治	テキストを使った講義
	56	自由と平等	テキストを使った講義
	57	自由と平等	テキストを使った講義
	58	自由と平等	テキストを使った講義
	59	自由と平等	テキストを使った講義
	60	自由と平等	テキストを使った講義

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 社会学概論

W	時間	授業内容	授業方法
	61	評価テスト	事例発表・レポート作成
	62	評価テスト	事例発表・レポート作成
	63	評価テスト	事例発表・レポート作成
	64	評価テスト	事例発表・レポート作成
	65		
	66		
	67		
	68		
	69		
	70		
	71		
	72		
	73		
	74		
	75		
	76		
	77		
	78		
	79		
	80		
	81		
	82		
	83		
	84		
	85		
	86		
	87		
	88		
	89		
	90		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
社会人常識マナー	必修	42
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科1年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
田中 史歩	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

(3) 授業概要

社会人常識マナー検定テキストを使用。学習範囲を提示し、学習とテストを時間内に行う。章ごとにポイントを説明し理解したうえで、確認テストを実施し、解説を行う。全範囲が終了した後、過去問題による答案作成練習を実施していく。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

- ①社会人常識マナー検定3級の合格
- ②ビジネスマナー、コミュニケーション能力向上
- ③就職筆記試験対応

※①については、1月15日に行われる検定試験に向けて、出題頻度の高い問題を解く。
②については、テーマを設定したうえでの実技やディスカッションなどを盛り込んでいく。

(5) 成績評価方法・基準

科目総時間数の80%以上の出席を前提とし、検定結果および習熟度:90% 日頃の授業態度:10%

(6) 使用教材・教具

テキスト(全経公式テキスト 社会人常識マナー 検定テキスト2・3級)

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

 科目名 社会人常識マナー

W	時間	授業内容	授業方法
	1	社会常識 第1章 社会と組織	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	2	社会常識 第2章 仕事と成果	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	3	社会常識 第3章 一般知識(社会常識、日本語)	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	4	確認テスト	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	5	社会常識 第3章 一般知識(基礎用語、計算)	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	6	確認テスト	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	7	コミュニケーション 第1章 ビジネスコミュニケ～	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	8	確認テスト	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	9	コミュニケーション 第2章 社会人にふさわしい～	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	10	確認テスト	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	11	コミュニケーション 第2章 ビジネス文書の活用	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	12	確認テスト	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	13	ビジネスマナー 第1章 職場のマナー	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	14	確認テスト	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	15	ビジネスマナー 第1、2章 職場のマナー、来客応	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	16	確認テスト	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	17	ビジネスマナー 第3、4章 電話対応、交際業務	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	18	確認テスト	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	19	ビジネスマナー 第5、6章 文書類の受取、会議	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	20	確認テスト	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	21	ビジネスマナー 第7章 ファイリング・他	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	22	確認テスト	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	23	過去問題①	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	24	過去問題②	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	25	過去問題③	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	26	過去問題④	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	27	過去問題⑤	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	28	過去問題⑥	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	29	過去問題⑦	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	30	過去問題⑧	講義形式、テキストと問題プリントを使用

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 社会人常識マナー

W	時間	授業内容	授業方法
	31	過去問題⑨	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	32	過去問題⑩	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	33	過去問題⑪	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	34	過去問題⑫	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	35	過去問題⑬	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	36	過去問題⑭	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	37	過去問題⑮	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	38	過去問題⑯	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	39	過去問題⑰	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	40	過去問題⑱	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	41	過去問題⑲	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	42	過去問題⑳	講義形式、テキストと問題プリントを使用
	43		
	44		
	45		
	46		
	47		
	48		
	49		
	50		
	51		
	52		
	53		
	54		
	55		
	56		
	57		
	58		
	59		
	60		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
就職実務 I	必修	96
対象学科・学年		
大学併修事業創造学科3年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
田中 史歩	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

(3) 授業概要

<p>社会人としての心構えから始まり、就職活動スタートに向けての準備をしていく。就職動画教材を中心として、アウトプットとしてのワークを活用して理解と体得を目指す。</p>

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<p>就職活動スタートまでに準備を整える。ディスカッションやワークを通して自己の考え方に他者目線を取り入れて成長を促し、求職登録合格を目指す。</p>

(5) 成績評価方法・基準

<p>当授業への出席率80%を前提として、レポートとしてワークシートの提出と求職登録の可否により評価</p>
--

(6) 使用教材・教具

<p>筆記用具、ノートPC</p>

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 就職実務 I

W	時間	授業内容	授業方法
	1	社会人としての心構え	
	2	学生との違いの理解	
	3	コミュニケーション能力の必要性理解	
	4	就職動画教材「これから、どう生きていくのか」	動画教材
	5		ディスカッションシート
	6	就職動画教材「一生でどのくらい稼げるか」	動画教材
	7		ディスカッションシート
	8	就職動画教材「どんな生活を送りたいか」	動画教材
	9		ディスカッションシート
	10	就職動画教材「社会はどんな人材を求めているか」	動画教材
	11		ディスカッションシート
	12	就職動画教材「チャンスを逃さない」	動画教材
	13		ディスカッションシート
	14	就職動画教材「働く理由を考える」	動画教材
	15		ディスカッションシート
	16	就職動画教材「BtoBとBtoCの違いを知る」	動画教材
	17		ワークシート
	18	就職動画教材「業種について考える」	動画教材
	19		ワークシート
	20	就職動画教材「職種について考える」	動画教材
	21		ワークシート
	22	就職動画教材「企業研究の仕方」	動画教材
	23		ワークシート
	24	就職動画教材「伝わる文章の書き方」	動画教材
	25		ワークシート
	26	就職動画教材「相手を納得させる論理力」	動画教材
	27		ワークシート
	28	就職動画教材「構成を考える」	動画教材
	29		ワークシート
	30	就職動画教材「自己PRネタを探す」	動画教材

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 就職実務Ⅰ

W	時間	授業内容	授業方法
	31	就職動画教材「自己PRネタを探す」	ワークシート
	32		ワークシート
	33		ワークシート
	34		ワークシート
	35	就職動画教材「自己PRの骨格をつくる」	動画教材
	36		ワークシート
	37		ワークシート
	38	就職動画教材「説得力のある自己PRをつくる」	動画教材
	39		ワークシート
	40		ワークシート
	41		ワークシート
	42	就職動画教材「志望動機をつくる」	動画教材
	43		ワークシート
	44	就職動画教材「履歴書・エントリーシートの書き方」	動画教材
	45		ワークシート
	46		ワークシート
	47	就職動画教材「コミュニケーションは「きく」から始まる」	動画教材・ワークシート
	48	就職動画教材「「話す」は「全身表現」」	動画教材・ワークシート
	49	就職動画教材「日本語の発声法」	動画教材・ワークシート
	50	就職動画教材「緊張は友達」	動画教材・ワークシート
	51	就職動画教材「リズムカルに話す」	動画教材・ワークシート
	52	求職登録の説明と求職登録の流れ	
	53	就職動画教材「身だしなみ」	動画教材・ワークシート
	54	就職動画教材「面接のマナー」	動画教材・ワークシート
	55	就職動画教材「面接試験対策」	動画教材・ワークシート
	56	就職動画教材「ディスカッションの基礎」	動画教材・ワークシート
	57	・ 就職に向けた意識を再確認	担任からの動機付け
	58		企業が求める人材像、身だしなみを確認
	59		就職活動の流れ
	60	・ 自己分析により適性、強みを認識する	ライフスタイルと自己分析の重要性

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 就職実務 I

W	時間	授業内容	授業方法
	61	・ 強みや適性から自己PRの種を確認	自己分析で考えるポイント
	62		自分史作成の続き
	63	・ 強みや適性から初期の自己PRを作成	卒業生の自己PR(長所)を確認
	64		自己PR文作成
	65		自己PR文作成
	66	・ 業種と職種の違いを知る	業種・職種の説明
	67	・ 希望企業を想定して作成	志望動機の作成方法
	68		
	69	・ 企業研究のやり方を学ぶ①	情報収集のポイントと活用方法
	70		就職情報サイトの登録
	71		情報サイトの使用方法を確認
	72	・ 企業研究のやり方を学ぶ②	前回の続き
	73		資料請求、お礼状の書き方
	74		
	75	・ 求人票の内容を理解できるようになる	求人票の見方
	76	・ インターンシップの意義を再確認	仕組みを理解する
	77	・ 在校生(内定者)質問形式の座談会	在校生による就職活動全般の座談会
	78	・ エントリーシートの作成	エントリーシートの確認と記入
	79	・ 履歴書の作成	履歴書の確認と記入
	80		添え状の作成
	81	・ 企業訪問の仕方を学ぶ	企業訪問の目的を理解する
	82		アポイントの台本を作成
	83		お礼状の作成
	84	・ 面接時の所作を身につける	面接入室、退室時の所作
	85		面接試験の形式、試験対策
	86		受け答えの方法／スピーチの訓練
	87	・ オンライン面接のチェックポイント、筆記試験対策	事前チェックポイント、適性検査の種類と確認
	88	・ 内定(内々定)後の報告	内定(内々定)後の流れを確認
	89	・ 入社承諾書、内定御礼状の提出	書き方、提出方法の確認
	90	・ よく面接で聞かれる質問事項	受け答え内容の整理

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 就職実務 I

W	時間	授業内容	授業方法
	91	求職登録	求職登録の説明
	92	求職登録	求職票の作成
	93	・ 求職登録準備	面接練習
	94	・ 求職登録準備	面接練習
	95	・ 求職登録準備	面接練習
	96	・ 求職登録準備	面接練習
	97		
	98		
	99		
	100		
	101		
	102		
	103		
	104		
	105		
	106		
	107		
	108		
	109		
	110		
	111		
	112		
	113		
	114		
	115		
	116		
	117		
	118		
	119		
	120		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
就職実務Ⅱ	必修	142
対象学科・学年		
大学併修事業創造学科4年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
長谷川 慎一	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
税理士補助/経営指導、記帳代行	

(3) 授業概要

<p>就職活動を中心に内定獲得のための試験対策を行う。 また、社会人としての心構えや人生設計などを含めて、卒業後の準備を行う。</p>

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<p>就職内定、あるいは進路確定。 企業着任後にスムーズな社会人生活を送ることができるように準備をする。</p>
--

(5) 成績評価方法・基準

<p>当授業への出席率80%以上を前提とし、①各種成果物 ②意欲、授業態度 を総合的に評価する。</p>
--

(6) 使用教材・教具

<p>各自のノートPC、プロジェクター、テレビ電話ツール</p>

(7) 授業にあたっての留意点

<p></p>

(8) その他

<p></p>

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 就職実務Ⅱ

W	時間	授業内容	授業方法
1	1	オリエンテーション	講義
	2	オリエンテーション	講義
	3	就職活動のスケジュール + 先駆者の講義	講義
	4	就職活動のスケジュール作成	講義、ワーク
2	5	就職活動のスケジュール作成	講義、ワーク
	6	就職活動のスケジュール作成	講義、ワーク
	7	採用試験準備:履歴書作成	個人ワーク
	8	採用試験準備:履歴書作成	個人ワーク
3	9	採用試験準備:履歴書作成	個人ワーク
	10	採用試験準備:履歴書作成	個人ワーク
	11	採用試験準備:履歴書作成	個人ワーク
	12	採用試験準備:履歴書作成	個人ワーク
4	13	採用試験準備:履歴書作成	個人ワーク
	14	採用試験準備:履歴書作成	個人ワーク
	15	採用試験準備:履歴書作成	個人ワーク
	16	採用試験準備:履歴書作成	個人ワーク
5	17	採用試験準備:グループディスカッション(自由討論)	グループディスカッション
	18	採用試験準備:グループディスカッション(自由討論)	プレゼンテーション
	19	採用試験準備:グループディスカッション(課題解決)	グループディスカッション
	20	採用試験準備:グループディスカッション(課題解決)	プレゼンテーション
6	21	採用試験準備:グループディスカッション(自由討論)	グループディスカッション
	22	採用試験準備:グループディスカッション(自由討論)	プレゼンテーション
	23	採用試験準備:グループディスカッション(課題解決)	グループディスカッション
	24	採用試験準備:グループディスカッション(課題解決)	プレゼンテーション
7	25	採用試験準備:面接練習	模擬面接
	26	採用試験準備:面接練習	模擬面接
	27	採用試験準備:面接練習	模擬面接
	28	採用試験準備:面接練習	模擬面接
8	29	採用試験準備:面接練習	模擬面接
	30	採用試験準備:面接練習	模擬面接

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 就職実務Ⅱ

W	時間	授業内容	授業方法
8	31	採用試験準備:面接練習	模擬面接
	32	採用試験準備:面接練習	模擬面接
9	33	採用試験準備:面接練習	模擬面接
	34	採用試験準備:面接練習	模擬面接
	35	採用試験準備:面接練習	模擬面接
	36	採用試験準備:面接練習	模擬面接
10	37	採用試験準備:面接練習	模擬面接
	38	採用試験準備:面接練習	模擬面接
	39	採用試験準備:面接練習	模擬面接
	40	採用試験準備:面接練習	模擬面接
11	41	採用試験準備:面接練習	模擬面接
	42	採用試験準備:面接練習	模擬面接
	43	採用試験準備:面接練習	模擬面接
	44	採用試験準備:面接練習	模擬面接
12	45	採用試験準備:面接練習	模擬面接
	46	採用試験準備:面接練習	模擬面接
	47	採用試験準備:面接練習	模擬面接
	48	採用試験準備:面接練習	模擬面接
13	49	採用試験準備:面接練習	模擬面接
	50	採用試験準備:面接練習	模擬面接
	51	採用試験準備:面接練習	模擬面接
	52	採用試験準備:面接練習	模擬面接
14	53	採用試験準備:面接練習	模擬面接
	54	採用試験準備:面接練習	模擬面接
	55	実践行動学 Part3	講義、ワーク
	56	実践行動学 Part3	講義、ワーク
15	57	実践行動学 Part3	講義、ワーク
	58	実践行動学 Part3	講義、ワーク
	59	実践行動学 Part3	講義、ワーク
	60	実践行動学 Part3	講義、ワーク

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 就職実務Ⅱ

W	時間	授業内容	授業方法
16	61	実践行動学 ステップアップシート	講義、ワーク
	62	実践行動学 まとめ	講義
	63	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	64	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
17	65	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	66	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	67	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	68	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
18	69	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	70	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	71	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	72	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
1	73	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	74	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	75	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
2	76	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	77	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	78	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
3	79	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	80	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	81	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
4	82	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	83	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	84	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
5	85	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	86	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	87	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
6	88	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	89	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	90	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 就職実務Ⅱ

W	時間	授業内容	授業方法
7	91	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	92	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	93	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
8	94	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	95	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	96	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
9	97	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	98	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	99	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
10	100	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	101	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	102	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
11	103	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	104	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	105	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
12	106	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	107	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	108	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
13	109	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	110	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	111	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
14	112	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	113	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	114	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
15	115	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	116	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	117	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
16	118	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	119	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	120	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 就職実務Ⅱ

W	時間	授業内容	授業方法
17	121	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	122	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	123	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
18	124	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	125	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	126	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
19	127	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	128	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	129	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
20	130	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	131	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	132	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
21	133	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	134	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	135	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
22	136	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	137	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	138	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
23	139	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	140	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
	141	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク
24	142	内定者…内定先で役立つ課題 就活者…面談	講義、ワーク

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
情報分析力を鍛える	選択	64
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科3年	遠隔授業のみ実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
長谷川 慎一	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
税理士補助/経営指導、記帳代行	

(3) 授業概要

たくさんの情報を収集できるようになったのに対して、収集した情報を上手に活用することは簡単ではない。職場・家族・地域社会などの組織や共同体においては、関係者を説得し理解・納得を得なければ、種々の課題解決も行えない。的確な情報分析力は、円滑なコミュニケーションを生みだし、話を前に進ませる大切な基礎となる。

本科目では、社会人として情報を上手に活用するためのカギとなる情報分析力の考え方を理解し、その高め方を学ぶ

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

- ①情報の入手と利用に関する基本的手法および情報の解釈についての基本的な考え方を説明できる。
- ②テキストに記載された事例を応用し、現実社会の事例に当てはめて考えることができる。

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①最終テスト ②意欲、授業態度 を5:5の比率で総合的に評価する。□

(6) 使用教材・教具

『情報分析力を鍛える』生方 正也,産業能率大学,2016年

(7) 授業にあたっての留意点

(8) その他

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 情報分析力を鍛える

W	時間	授業内容	授業方法
	1	はじめに	テキストを使った講義
	2	第1章 情報分析力の基本	テキストを使った講義
	3	第1章 情報分析力の基本	テキストを使った講義
	4	第1章 情報分析力の基本	テキストを使った講義
	5	第1章 情報分析力の基本	テキストを使った講義
	6	第1章 情報分析力の基本	テキストを使った講義
	7	第1章 情報分析力の基本	テキストを使った講義
	8	第1章 情報分析力の基本	テキストを使った講義
	9	第1章 情報分析力の基本	テキストを使った講義
	10	第1章 情報分析力の基本	テキストを使った講義
	11	第2章 定量データの分析	テキストを使った講義
	12	第2章 定量データの分析	テキストを使った講義
	13	第2章 定量データの分析	テキストを使った講義
	14	第2章 定量データの分析	テキストを使った講義
	15	第2章 定量データの分析	テキストを使った講義
	16	第2章 定量データの分析	テキストを使った講義
	17	第2章 定量データの分析	テキストを使った講義
	18	第2章 定量データの分析	テキストを使った講義
	19	第2章 定量データの分析	テキストを使った講義
	20	第2章 定量データの分析	テキストを使った講義
	21	第3章 定性データの分析	テキストを使った講義
	22	第3章 定性データの分析	テキストを使った講義
	23	第3章 定性データの分析	テキストを使った講義
	24	第3章 定性データの分析	テキストを使った講義
	25	第3章 定性データの分析	テキストを使った講義
	26	第3章 定性データの分析	テキストを使った講義
	27	第3章 定性データの分析	テキストを使った講義
	28	第3章 定性データの分析	テキストを使った講義
	29	第3章 定性データの分析	テキストを使った講義
	30	第3章 定性データの分析	テキストを使った講義

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 情報分析力を鍛える

W	時間	授業内容	授業方法
	31	第4章 情報の見方、捉え方	テキストを使った講義
	32	第4章 情報の見方、捉え方	テキストを使った講義
	33	第4章 情報の見方、捉え方	テキストを使った講義
	34	第4章 情報の見方、捉え方	テキストを使った講義
	35	第4章 情報の見方、捉え方	テキストを使った講義
	36	第4章 情報の見方、捉え方	テキストを使った講義
	37	第4章 情報の見方、捉え方	テキストを使った講義
	38	第4章 情報の見方、捉え方	テキストを使った講義
	39	第4章 情報の見方、捉え方	テキストを使った講義
	40	第4章 情報の見方、捉え方	テキストを使った講義
	41	第5章 情報分析の実践	テキストを使った講義
	42	第5章 情報分析の実践	テキストを使った講義
	43	第5章 情報分析の実践	テキストを使った講義
	44	第5章 情報分析の実践	テキストを使った講義
	45	第5章 情報分析の実践	テキストを使った講義
	46	第5章 情報分析の実践	テキストを使った講義
	47	第5章 情報分析の実践	テキストを使った講義
	48	第5章 情報分析の実践	テキストを使った講義
	49	第5章 情報分析の実践	テキストを使った講義
	50	第5章 情報分析の実践	テキストを使った講義
	51	第5章 情報分析の実践	テキストを使った講義
	52	第5章 情報分析の実践	テキストを使った講義
	53	第5章 情報分析の実践	テキストを使った講義
	54	第5章 情報分析の実践	テキストを使った講義
	55	第5章 情報分析の実践	テキストを使った講義
	56	第5章 情報分析の実践	テキストを使った講義
	57	第5章 情報分析の実践	テキストを使った講義
	58	第5章 情報分析の実践	テキストを使った講義
	59	第5章 情報分析の実践	テキストを使った講義
	60	第5章 情報分析の実践	テキストを使った講義

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 情報分析力を鍛える

W	時間	授業内容	授業方法
	61	評価テスト	事例発表・レポート作成
	62	評価テスト	事例発表・レポート作成
	63	評価テスト	事例発表・レポート作成
	64	評価テスト	事例発表・レポート作成
	65		
	66		
	67		
	68		
	69		
	70		
	71		
	72		
	73		
	74		
	75		
	76		
	77		
	78		
	79		
	80		
	81		
	82		
	83		
	84		
	85		
	86		
	87		
	88		
	89		
	90		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
職場マネジメント論	選択	64
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科4年	遠隔授業のみ実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
長谷川 慎一	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
税理士補助/経営指導、記帳代行	

(3) 授業概要

<p>「職場マネジメント」とは、職場の目的を実現するために、仕事と人と集団とを成長させる活動である。この職場の目的は所与のものではなく、目的そのものを問い直すことも、職場マネジメントを実践する上での重要な機能の1つである。この科目では、職場マネジャーとして職場マネジメントを実践していくための考え方やスキルを学ぶ。そのため本科目は、職場での実務経験があり(業種、職位等は問わない)、職場マネジメントの実践知の習得を目指す人を主な受講対象とする。</p>
--

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<p>①組織マネジメントの理論や原則を知るだけでなく、職場マネジャーという観点からその意味を理解できる。 ②現実の職場マネジメントで遭遇する様々な事象に適切に対処でき、職場マネジャーとして実践可能な基本的な知識を習得できる。</p>
--

(5) 成績評価方法・基準

<p>当授業への出席率80%以上を前提とし、①最終テスト ②意欲、授業態度 を5:5の比率で総合的に評価する。□</p>
--

(6) 使用教材・教具

<p>『変革期におけるマネジメントの教科書』産業能率大学総合研究所マネジメント研究プロジェクト(編著),産業能率大学出版部,2011年</p>

(7) 授業にあたっての留意点

<p></p>

(8) その他

<p></p>

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 職場マネジメント論

W	時間	授業内容	授業方法
	1	第1部 マネジメントプロセスを回す	テキストを使った講義
	2	“マネジャー”について考えてみよう	テキストを使った講義
	3	“マネジャー”について考えてみよう	テキストを使った講義
	4	“マネジャー”について考えてみよう	テキストを使った講義
	5	“マネジャー”について考えてみよう	テキストを使った講義
	6	職場構想を描く	テキストを使った講義
	7	職場構想を描く	テキストを使った講義
	8	職場構想を描く	テキストを使った講義
	9	職場構想を描く	テキストを使った講義
	10	職場構想を描く	テキストを使った講義
	11	職場のしくみづくり	テキストを使った講義
	12	職場のしくみづくり	テキストを使った講義
	13	職場のしくみづくり	テキストを使った講義
	14	職場のしくみづくり	テキストを使った講義
	15	職場のしくみづくり	テキストを使った講義
	16	職場活動の実践	テキストを使った講義
	17	職場活動の実践	テキストを使った講義
	18	職場活動の実践	テキストを使った講義
	19	職場活動の実践	テキストを使った講義
	20	職場活動の実践	テキストを使った講義
	21	職場の問題解決	テキストを使った講義
	22	職場の問題解決	テキストを使った講義
	23	職場の問題解決	テキストを使った講義
	24	職場の問題解決	テキストを使った講義
	25	職場の問題解決	テキストを使った講義
	26	メンバーの支援	テキストを使った講義
	27	メンバーの支援	テキストを使った講義
	28	メンバーの支援	テキストを使った講義
	29	メンバーの支援	テキストを使った講義
	30	メンバーの支援	テキストを使った講義

【別紙】

授業計画書

科目名 職場マネジメント論

W	時間	授業内容	授業方法
	31	活動を振り返る	テキストを使った講義
	32	活動を振り返る	テキストを使った講義
	33	活動を振り返る	テキストを使った講義
	34	活動を振り返る	テキストを使った講義
	35	活動を振り返る	テキストを使った講義
	36	第2部 エネルギーを創り出す	テキストを使った講義
	37	エネルギーはどこからくるのか	テキストを使った講義
	38	エネルギーはどこからくるのか	テキストを使った講義
	39	エネルギーはどこからくるのか	テキストを使った講義
	40	エネルギーはどこからくるのか	テキストを使った講義
	41	エネルギーはどこからくるのか	テキストを使った講義
	42	エネルギーはどこからくるのか	テキストを使った講義
	43	チームのエネルギーを創り出す	テキストを使った講義
	44	チームのエネルギーを創り出す	テキストを使った講義
	45	チームのエネルギーを創り出す	テキストを使った講義
	46	チームのエネルギーを創り出す	テキストを使った講義
	47	チームのエネルギーを創り出す	テキストを使った講義
	48	チームのエネルギーを創り出す	テキストを使った講義
	49	チームのエネルギーを創り出す	テキストを使った講義
	50	チームのエネルギーを創り出す	テキストを使った講義
	51	魅力的でタフなマネジャーを目指して	テキストを使った講義
	52	魅力的でタフなマネジャーを目指して	テキストを使った講義
	53	魅力的でタフなマネジャーを目指して	テキストを使った講義
	54	魅力的でタフなマネジャーを目指して	テキストを使った講義
	55	魅力的でタフなマネジャーを目指して	テキストを使った講義
	56	魅力的でタフなマネジャーを目指して	テキストを使った講義
	57	魅力的でタフなマネジャーを目指して	テキストを使った講義
	58	魅力的でタフなマネジャーを目指して	テキストを使った講義
	59	魅力的でタフなマネジャーを目指して	テキストを使った講義
	60	魅力的でタフなマネジャーを目指して	テキストを使った講義

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 職場マネジメント論

W	時間	授業内容	授業方法
	61	評価テスト	事例発表・レポート作成
	62	評価テスト	事例発表・レポート作成
	63	評価テスト	事例発表・レポート作成
	64	評価テスト	事例発表・レポート作成
	65		
	66		
	67		
	68		
	69		
	70		
	71		
	72		
	73		
	74		
	75		
	76		
	77		
	78		
	79		
	80		
	81		
	82		
	83		
	84		
	85		
	86		
	87		
	88		
	89		
	90		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
人材マネジメント論	選択	64
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科3年	遠隔授業のみ実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
長谷川 慎一	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
税理士補助/経営指導、記帳代行	

(3) 授業概要

人材マネジメントとは、組織が経営目的を達成するために、人材を育て活用する仕組みをつくり、運用していく活動全般を指す。企業活動においては人事労務管理あるいは人的資源管理(HRM: Human Resource Management)として意識される領域であるが、組織の中の人間行動の側面(行動科学)にも焦点を当てた構成となっている。また、ワーク・ライフ・バランスや次世代リーダーの育成など今日的な課題についても理解を深めていく。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

- ①経営学をベースとした人材マネジメントの枠組みを理解し、説明できる。
- ②人的資源管理の制度と施策を理解し、説明できる。
- ③組織の中の人間行動を理解し、説明できる

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①最終テスト ②意欲、授業態度 を5:5の比率で総合的に評価する。□

(6) 使用教材・教具

人材マネジメント論—儲かる仕組みの崩壊で変わる人材マネジメント(新版)
高橋 俊介【著】

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 人材マネジメント論

W	時間	授業内容	授業方法
	61	評価テスト	事例発表・レポート作成
	62	評価テスト	事例発表・レポート作成
	63	評価テスト	事例発表・レポート作成
	64	評価テスト	事例発表・レポート作成
	65		
	66		
	67		
	68		
	69		
	70		
	71		
	72		
	73		
	74		
	75		
	76		
	77		
	78		
	79		
	80		
	81		
	82		
	83		
	84		
	85		
	86		
	87		
	88		
	89		
	90		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
選択科目〔CR〕	選択	90
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科2年	対面授業のみ実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
小竹 咲良	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

(3) 授業概要

オンライングラフィックデザインツール「Canva」を制作ツールの中心とし、コンピュータグラフィックスを利用したデザインの基礎表現方法と技術を学ぶ。SNSの投稿やプレゼンテーション、ポスター、動画などに活かせる視覚的表現の知識を身につけてもらう。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

デザインの社会的ニーズが急速に高まっている中で、オリジナリティある視覚的表現がいかに重要かについて理解する。グラフィックデザインの基礎から実際の制作までの流れ、またそれぞれの留意点やポイントについてを理解する。

(5) 成績評価方法・基準

出席率80%以上を前提とし、個人、グループでの制作物のクオリティ90%/日頃の授業態度10%

(6) 使用教材・教具

各自ノートパソコン

(7) 授業にあたっての留意点

デザインがどのような場面で必要とされ、どういった効果を望めるのか、アンテナを張っておく。

(8) その他

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 選択科目〔CR〕

W	時間	授業内容	授業方法
	1	オリエンテーション	講義
	2	オリエンテーション	講義
	3	オリエンテーション	講義
	4	Canva 実習	講義 + 実習
	5	Canva 実習	講義 + 実習
	6	Canva 実習	講義 + 実習
	7	撮影実習	講義 + 校内/校外撮影
	8	撮影実習	講義 + 校内/校外撮影
	9	撮影実習	講義 + 校内/校外撮影
	10	作品制作	制作
	11	作品制作	制作
	12	作品制作	制作
	13	作品制作	制作
	14	作品制作	制作
	15	作品制作	制作
	16	Canva 実習	講義 + 実習
	17	Canva 実習	講義 + 実習
	18	Canva 実習	講義 + 実習
	19	撮影実習	講義 + 校内/校外撮影
	20	撮影実習	講義 + 校内/校外撮影
	21	撮影実習	講義 + 校内/校外撮影
	22	作品制作	制作
	23	作品制作	制作
	24	作品制作	制作
	25	作品制作	制作
	26	作品制作	制作
	27	作品制作	制作
	28	Canva 実習	講義 + 実習
	29	Canva 実習	講義 + 実習
	30	Canva 実習	講義 + 実習

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 選択科目〔CR〕

W	時間	授業内容	授業方法
	31	撮影実習	講義 + 校内/校外撮影
	32	撮影実習	講義 + 校内/校外撮影
	33	撮影実習	講義 + 校内/校外撮影
	34	作品制作	制作
	35	作品制作	制作
	36	作品制作	制作
	37	作品制作	制作
	38	作品制作	制作
	39	作品制作	制作
	40	Canva 実習	講義 + 実習
	41	Canva 実習	講義 + 実習
	42	Canva 実習	講義 + 実習
	43	撮影実習	講義 + 校内/校外撮影
	44	撮影実習	講義 + 校内/校外撮影
	45	撮影実習	講義 + 校内/校外撮影
	46	作品制作	制作
	47	作品制作	制作
	48	作品制作	制作
	49	作品制作	制作
	50	作品制作	制作
	51	作品制作	制作
	52	Canva 実習	講義 + 実習
	53	Canva 実習	講義 + 実習
	54	Canva 実習	講義 + 実習
	55	撮影実習	講義 + 校内/校外撮影
	56	撮影実習	講義 + 校内/校外撮影
	57	撮影実習	講義 + 校内/校外撮影
	58	作品制作	制作
	59	作品制作	制作
	60	作品制作	制作

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 選択科目〔CR〕

W	時間	授業内容	授業方法
	61	作品制作	制作
	62	作品制作	制作
	63	作品制作	制作
	64	Canva 実習	講義 + 実習
	65	Canva 実習	講義 + 実習
	66	Canva 実習	講義 + 実習
	67	撮影実習	講義 + 校内/校外撮影
	68	撮影実習	講義 + 校内/校外撮影
	69	撮影実習	講義 + 校内/校外撮影
	70	作品制作	制作
	71	作品制作	制作
	72	作品制作	制作
	73	作品制作	制作
	74	作品制作	制作
	75	作品制作	制作
	76	Canva 実習	講義 + 実習
	77	Canva 実習	講義 + 実習
	78	Canva 実習	講義 + 実習
	79	撮影実習	講義 + 校内/校外撮影
	80	撮影実習	講義 + 校内/校外撮影
	81	撮影実習	講義 + 校内/校外撮影
	82	作品制作	制作
	83	作品制作	制作
	84	作品制作	制作
	85	作品制作	制作
	86	作品制作	制作
	87	作品制作	制作
	88	制作発表	発表
	89	制作発表	発表
	90	制作発表	発表

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
選択科目〔FP〕	選択	90
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科2年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
中島 由紀子	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
事務(小口処理業務、仕入れ業務、納品書・請求書作成業務等)、パソコンインストラクター、プログラマー	

(3) 授業概要

顧客の個人資産に関する情報を収集・分析し、顧客のライフプランやニーズに合わせたプランの立案や資産相談に必要とされる技能の習得をする。
--

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

ファイナンシャル・プランニング技能士3級の取得を目指す

(5) 成績評価方法・基準

科目総時間数の80%以上の出席を前提とし、普段の授業の取り組み姿勢、検定結果を総合的に判断し、評価する。
--

(6) 使用教材・教具

みんなが欲しかった！ FPの教科書3級

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

 科目名 選択科目〔FP〕

W	時間	授業内容	授業方法
	1	科目内容説明、検定内容説明	講義
	2	A分野 ライフプランニングと資金計画	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	3	A分野 ライフプランニングと資金計画	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	4	A分野 ライフプランニングと資金計画	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	5	A分野 ライフプランニングと資金計画	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	6	A分野 ライフプランニングと資金計画	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	7	A分野 ライフプランニングと資金計画	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	8	A分野 ライフプランニングと資金計画	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	9	A分野 ライフプランニングと資金計画	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	10	A分野 ライフプランニングと資金計画	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	11	A分野 ライフプランニングと資金計画	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	12	A分野 ライフプランニングと資金計画	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	13	A分野 ライフプランニングと資金計画	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	14	A分野 ライフプランニングと資金計画	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	15	A分野 ライフプランニングと資金計画	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	16	B分野 リスク管理	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	17	B分野 リスク管理	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	18	B分野 リスク管理	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	19	B分野 リスク管理	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	20	B分野 リスク管理	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	21	B分野 リスク管理	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	22	B分野 リスク管理	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	23	B分野 リスク管理	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	24	B分野 リスク管理	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	25	B分野 リスク管理	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	26	B分野 リスク管理	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	27	B分野 リスク管理	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	28	C分野 金融資産運用	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	29	C分野 金融資産運用	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	30	C分野 金融資産運用	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 選択科目〔FP〕

W	時間	授業内容	授業方法
	31	C分野 金融資産運用	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	32	C分野 金融資産運用	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	33	C分野 金融資産運用	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	34	C分野 金融資産運用	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	35	C分野 金融資産運用	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	36	C分野 金融資産運用	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	37	C分野 金融資産運用	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	38	C分野 金融資産運用	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	39	C分野 金融資産運用	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	40	D分野 タックスプランニング	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	41	D分野 タックスプランニング	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	42	D分野 タックスプランニング	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	43	D分野 タックスプランニング	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	44	D分野 タックスプランニング	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	45	D分野 タックスプランニング	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	46	D分野 タックスプランニング	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	47	D分野 タックスプランニング	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	48	D分野 タックスプランニング	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	49	D分野 タックスプランニング	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	50	D分野 タックスプランニング	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	51	D分野 タックスプランニング	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	52	D分野 タックスプランニング	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	53	D分野 タックスプランニング	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	54	D分野 タックスプランニング	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	55	E分野 不動産	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	56	E分野 不動産	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	57	E分野 不動産	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	58	E分野 不動産	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	59	E分野 不動産	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	60	E分野 不動産	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 選択科目〔FP〕

W	時間	授業内容	授業方法
	61	E分野 不動産	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	62	E分野 不動産	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	63	E分野 不動産	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	64	E分野 不動産	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	65	E分野 不動産	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	66	E分野 不動産	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	67	F分野 相続・事業承継	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	68	F分野 相続・事業承継	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	69	F分野 相続・事業承継	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	70	F分野 相続・事業承継	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	71	F分野 相続・事業承継	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	72	F分野 相続・事業承継	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	73	F分野 相続・事業承継	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	74	F分野 相続・事業承継	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	75	F分野 相続・事業承継	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	76	F分野 相続・事業承継	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	77	F分野 相続・事業承継	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	78	F分野 相続・事業承継	テキスト、プリントを使用しての講義、練習問題
	79	問題演習	プリントを使用しての問題演習・解説
	80	問題演習	プリントを使用しての問題演習・解説
	81	問題演習	プリントを使用しての問題演習・解説
	82	問題演習	プリントを使用しての問題演習・解説
	83	問題演習	プリントを使用しての問題演習・解説
	84	問題演習	プリントを使用しての問題演習・解説
	85	問題演習	プリントを使用しての問題演習・解説
	86	問題演習	プリントを使用しての問題演習・解説
	87	問題演習	プリントを使用しての問題演習・解説
	88	問題演習	プリントを使用しての問題演習・解説
	89	問題演習	プリントを使用しての問題演習・解説
	90	問題演習	プリントを使用しての問題演習・解説

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
卒業制作	選択	60
対象学科・学年	授業形態	
大学併修事業創造学科4年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
長谷川 慎一	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
税理士補助/経営指導、記帳代行	

(3) 授業概要

4年間で学んだことを中心に研究内容を決め、マーケティングを行い分析に至るまでを研究成果としてまとめ、全体発表をする。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

ビジネスモデルに活かせるマーケティング分析や財務分析を作成する

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①課題提出 ②意欲、授業態度 を6:4の比率で総合的に評価する。

(6) 使用教材・教具

--

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授業計画書

科目名 卒業制作

W	時間	授業内容	授業方法	
前期	1	卒業研究の概要説明	講義	
	17	2	テーマ決め	講義
		3	テーマ決め	講義
		4	課題制作	演習
		5	課題制作	演習
		6	課題制作	演習
前期	7	課題制作	演習	
	18	8	課題制作	演習
		9	課題制作	演習
		10	課題制作	演習
		11	課題制作	演習
		12	課題制作	演習
後期	13	課題制作	演習	
	1	14	課題制作	演習
		15	課題制作	演習
		16	課題制作	演習
		17	課題制作	演習
		18	課題制作	演習
後期	19	課題制作	演習	
	2	20	課題制作	演習
		21	課題制作	演習
		22	課題制作	演習
		23	課題制作	演習
		24	課題制作	演習
後期	25	課題制作	演習	
	3	26	課題制作	演習
		27	課題制作	演習
		28	中間発表	プレゼン
		29	中間発表	プレゼン
		30	中間発表	プレゼン

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 卒業制作

W	時間	授業内容	授業方法
	31	課題制作	演習
	32	課題制作	演習
	33	課題制作	演習
	34	課題制作	演習
	35	課題制作	演習
	36	課題制作	演習
	37	課題制作	演習
	38	課題制作	演習
	39	課題制作	演習
	40	課題制作	演習
	41	課題制作	演習
	42	課題制作	演習
	43	課題制作	演習
	44	課題制作	演習
	45	課題制作	演習
	46	課題制作	演習
	47	課題制作	演習
	48	課題制作	演習
	49	課題制作	演習
	50	課題制作	演習
	51	課題制作	演習
	52	課題制作	演習
	53	課題制作	演習
	54	課題制作	演習
	55	課題制作	演習
	56	課題制作	演習
	57	課題制作	演習
	58	最終発表	プレゼン・評価
	59	最終発表	プレゼン・評価
	60	最終発表	プレゼン・評価

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
簿記会計	必修	200
対象学科・学年		
大学併修事業創造学科	対面授業と遠隔授業の併用実施	

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
長谷川 慎一	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
税理士補助/経営指導、記帳代行	

(3) 授業概要

<p>企業会計における基本的な財務知識となる簿記を学ぶことで企業経営につなげていく。また、計算能力を高めることにより、経営力につなげていく。検定試験合格を目指していく。</p>
--

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<p>全国経理教育協会主催 簿記能力検定試験3級 合格</p>

(5) 成績評価方法・基準

<p>当授業への出席率80%を前提として、①検定試験の結果、②模擬試験結果を踏まえて総合的に評価していく。</p>

(6) 使用教材・教具

<p>全経簿記能力検定試験公式テキスト・問題集(ネットスクール出版)、電卓</p>

(7) 授業にあたっての留意点

<p>なし</p>

(8) その他

<p>なし</p>

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 簿記会計

W	時間	授業内容	授業方法
1	1	学習・検定動機付け	担当講師の自己紹介、運営方針、目標設定
	2	身の回りの簿記	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	3	身の回りの簿記	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
2	4	身の回りの簿記	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	5	身の回りの簿記	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	6	仕訳と転記	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
3	7	仕訳と転記	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	8	仕訳と転記	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	9	仕訳と転記	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
4	10	仕訳と転記	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	11	現金と預金	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	12	現金と預金	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
5	13	現金と預金	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	14	商品売買	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	15	商品売買	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
6	16	商品売買	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	17	その他の費用と収益	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	18	決算の手続き(1)	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
7	19	決算の手続き(1)	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	20	その他の債権債務	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	21	その他の債権債務	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
8	22	その他の債権債務	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	23	その他の債権債務	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	24	一時的な処理	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
9	25	一時的な処理	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	26	有価証券と有形固定資産	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	27	有価証券と有形固定資産	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
10	28	有価証券と有形固定資産	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	29	有価証券と有形固定資産	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	30	有価証券と有形固定資産	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 簿記会計

W	時間	授業内容	授業方法
11	31	株式の発行	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	32	株式の発行	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	33	決算の手続き(2)	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
12	34	決算の手続き(2)	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	35	決算の手続き(2)	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	36	決算の手続き(2)	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
13	37	決算の手続き(2)	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	38	決算の手続き(2)	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	39	精算表・財務諸表	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
14	40	精算表・財務諸表	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	41	精算表・財務諸表	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	42	精算表・財務諸表	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
15	43	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
	44	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
	45	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
16	46	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
	47	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
	48	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
17	49	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
	50	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
	51	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
18	52	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
	53	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
	54	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
19	55	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	56	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	57	解説	過去問題を使用して解説
20	58	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	59	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	60	解説	過去問題を使用して解説

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 簿記会計

W	時間	授業内容	授業方法
21	61	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	62	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	63	解説	過去問題を使用して解説
22	64	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	65	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	66	解説	過去問題を使用して解説
23	67	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	68	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	69	解説	過去問題を使用して解説
24	70	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	71	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	72	解説	過去問題を使用して解説
25	73	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	74	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	75	解説	過去問題を使用して解説
26	76	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	77	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	78	解説	過去問題を使用して解説
27	79	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	80	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	81	解説	過去問題を使用して解説
	82	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	83	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	84	解説	過去問題を使用して解説
	85	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	86	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	87	解説	過去問題を使用して解説
	88	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	89	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	90	解説	過去問題を使用して解説

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 簿記会計

W	時間	授業内容	授業方法
	1	学習・検定動機付け	担当講師の自己紹介、運営方針、目標設定
	2	商品売買	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	3	商品売買	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	4	商品売買	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	5	商品売買	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	6	当座預金とその他の預金	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	7	当座預金とその他の預金	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	8	当座預金とその他の預金	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	9	手形等の処理	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	10	手形等の処理	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	11	手形等の処理	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	12	手形等の処理	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	13	手形等の処理	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	14	有価証券	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	15	有価証券	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	16	固定資産	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	17	2級・固定資産の処理	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	18	2級・固定資産の処理	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	19	2級・固定資産の処理	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	20	2級・固定資産の処理	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	21	引当金	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	22	引当金	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	23	引当金	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	24	株式の発行	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	25	株式の発行	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	26	株式の発行	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	27	株式の発行	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	28	決算	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	29	決算	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	30	決算	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 簿記会計

W	時間	授業内容	授業方法
	31	決算	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	32	決算	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	33	決算	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	34	決算	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	35	決算	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	36	決算	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	37	決算	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	38	決算	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	39	決算	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	40	本支店会計	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	41	本支店会計	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	42	本支店会計	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	43	本支店会計	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	44	本支店会計	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	45	本支店会計	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	46	帳簿組織・伝票会計	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	47	帳簿組織・伝票会計	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	48	帳簿組織・伝票会計	テキスト・プリントを使用した講義、問題演習
	49	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
	50	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
	51	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
	52	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
	53	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
	54	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
	55	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
	56	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
	57	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
	58	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
	59	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
	60	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 簿記会計

W	時間	授業内容	授業方法
	61	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
	62	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
	63	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
	64	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
	65	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
	66	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
	67	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
	68	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
	69	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
	70	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
	71	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
	72	対策問題	対策プリントにて問題演習・解説
	73	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	74	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	75	解説	過去問題を使用して解説
	76	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	77	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	78	解説	過去問題を使用して解説
	79	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	80	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	81	解説	過去問題を使用して解説
	82	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	83	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	84	解説	過去問題を使用して解説
	85	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	86	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	87	解説	過去問題を使用して解説
	88	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	89	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	90	解説	過去問題を使用して解説

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 簿記会計

W	時間	授業内容	授業方法
	91	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	92	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	93	解説	過去問題を使用して解説
	94	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	95	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	96	解説	過去問題を使用して解説
	97	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	98	模擬試験	過去問題を使用して問題演習
	99	解説	過去問題を使用して解説
	100	総まとめ	
	101		
	102		
	103		
	104		
	105		
	106		
	107		
	108		
	109		
	110		
	111		
	112		
	113		
	114		
	115		
	116		
	117		
	118		
	119		
	120		